

Canon

PUB. DIJ-0434-000C

4K ビデオカメラ

XC10

使用説明書

Firmware ver. 1.0.3.0



はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生

接続

ネットワーク

メニュー

その他

4K

MP4

XF-AVC

HDMI

WiFi
CERTIFIED

本機の特長

XC10は、4K対応の1.0型単板CMOSセンサーを搭載。有効画素数は約1200万画素（4000 x 3000）。記録メディアにCFastカードとSDカードを採用し、4K映像の制作に適した機動性に優れた4Kビデオカメラです。

高画質4K記録システム

1.0型単板CMOSと高画質映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 5」を搭載

1.0型単板CMOSセンサーと映像処理プラットフォームDIGIC DV 5の組み合わせにより、低照度でも明るく、ノイズの少ない動画や静止画の撮影が可能です。

XF-AVCとMP4のマルチフォーマットに対応

4K動画記録にはXF-AVC Intra Frame*を、HD動画記録にはXF-AVC Long GOPとMPEG-4 AVC/H.264コーデックで記録するMP4に対応。ワークフローに応じて使い分けられます。

4K動画記録時には最大305Mbpsのビットレートで撮影が可能です。

* 1フレームごとに圧縮する方式。カット編集やフレームの切り出しに適している。

本格的な静止画カメラ

有効画素数約1200万画素の高画質で静止画を記録。ルック設定（[📖 72](#)）やEOS用EXシリーズスピードライトとの組み合わせで、本格的な静止画を撮影できます。

また、記録した4K動画から静止画を切り取ることもできます（4K フレームキャプチャー）（[📖 125](#)）。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ

映像表現の可能性を広げるCINEMA EOS SYSTEMシリーズのサブカメラとして、高性能を小型・軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。

プロの操作性を追求した撮影操作系

フォーカスリング、ズームリングを独立して操作可能。こだわりのマニュアル撮影が可能。また、

グリップは最大90°まで回転できます。チルト可能な液晶画面（3.0型 約103万ドット）を搭載することで、ハイアングルやローアングルなどの多彩なアングルからの撮影が可能です。また、誤操作防止のロック機構を備えたモードダイヤルを搭載。絞りやシャッタースピード、感度（ISO/ゲイン）を任意に合わせて設定したり、撮影シーンに合わせて設定を変えるなど、さまざまな撮影ができます。

CFastカードに4K動画を、SDカードにHD動画を記録可能

記録メディアにはCFastカードとSDカードを採用。CFastカードとSDカードの2つのスロットを搭載し、4K動画はCFastカードに、HD動画と静止画はSDカードに分けて記録できます。

Canon XF UtilityとCamera Window

4K動画とHD動画は、Canon XF Utilityで再生・管理可能。静止画は、CameraWindowを使ってパソコンに取り込み可能です。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な記録機能（[📖 102](#)、[104](#)、[105](#)）

スロー&ファストモーション記録では、撮影フレームレートを変更することにより、最低1/4倍速のスローモーション撮影や最大1200倍速のファストモーション撮影ができます。また、間隔を空けて静止画を記録するインターバル記録では、時間の経過に伴う変化を表現できます。

プレ記録では撮影開始時点の約5秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。

さらに、3段分のNDフィルター（ND8）を内蔵していますので、狙い通りの被写界深度で撮影できます。

映像表現にあわせて、多彩な画づくりを実現する**ルック設定** (☞ [72](#))

動画と静止画それぞれに多彩なルックを搭載。シャープネス、コントラスト、色の濃さなどの画質調整が可能です。あらかじめプリセットされたルックを使って撮影したり、プリセットのルックをベースとして、好みに合わせて調整するなど、自由な画づくりが実現できます。

業務用途に対応する柔軟性

Wi-Fiによるネットワーク機能 (☞ [143](#))

5 GHz帯、2.4 GHz帯に対応するWi-Fiを内蔵。ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、撮影した静止画をネットワーク機器のブラウザーで再生／保存するブラウザーレビュー、撮影した静止画をパソコンなどで再生するメディアサーバーを使用できます。

タイムコード生成と重畳出力 (☞ [86](#)、[88](#))

内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも重畳されます。また、HDMI出力にユーザービットを重畳することもできます。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 10種類の機能から使用頻度の高いものを3つのアサインボタンに割り当て可能 (☞ [114](#))。また、撮影時に設定する設定項目 (FUNC.メニュー) を左右に配置。ルックやセルフタイマーなど撮影前に設定する機能と、絞りやシャッタースピードなど撮影中に設定する機能を分けて配置 (☞ [113](#)、[163](#))。
- 4K動画再生中に、4Kの動画からHD動画を切り出して拡大再生が可能 (☞ [125](#))。

- リニアPCM 48KHz 16bit収録に対応した内蔵マイクを搭載。オーディオシーン (☞ [89](#)) は、内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べ、音にこだわった臨場感あふれる動画を撮影できます。
- 撮影をアシストする、ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターンなどの表示機能。
- マニュアルフォーカス時、ボタンを押している間だけ、AF動作となるPUSH AF (プッシュ AF) (☞ [81](#))。
- [FUNC.]メニューやメニュー設定をSDカードに保存／読み出しでき、複数のXC10と設定を共有可能 (☞ [116](#))。
- 明るい屋外撮影時などに適したファインダーユニットを同梱。液晶画面のチルト操作に連動し、ローアングル撮影にも対応。ファインダーユニット装着時には、ジョイスティックで本体を操作できます。
- 映像にGPS情報を付加するGPSレシーバーGP-E2 (別売)、EOS用EXシリーズスピードライトに対応。

Contents

本機の特長.....	2
本書の読みかた.....	8

はじめに

商品を確認する.....	10
各部の名称.....	11
本体の名称.....	11
ファインダーユニットの名称.....	16
リモートコントローラー RC-6の名称.....	16

準 備

バッテリーを充電する.....	18
バッテリーを充電する.....	18
カメラを準備する.....	21
レンズフードを取り付ける.....	21
ファインダーユニットを使う.....	21
液晶画面.....	24
グリップを使う.....	25
ショルダーストラップを取り付ける.....	26
本体を三脚に取り付ける.....	26
カメラを操作する.....	27
動画撮影または静止画撮影を切り換える.....	27
撮影モードを切り換える.....	27
タッチパネルで操作する.....	28
MENU(メニュー)ボタン/ジョイスティックで 操作する.....	30
日時を設定する.....	31

[FUNC.] メニュー/メニューの設定を変える.....	32
[FUNC.] メニューの設定を変える.....	32
メニューの設定を変える.....	34
記録メディアを準備する.....	36
使用可能なメモリーカード.....	36
CFastカードを入れる.....	37
CFastカードを取り出す.....	38
SDカードを入れる/出す.....	39
初期化する.....	40
クリップを修復する.....	41
リモート撮影の準備をする.....	42
リモコン(付属)を使う.....	42

撮 影

動画や静止画を撮影する.....	45
準備する.....	45
撮影の基本操作.....	45
動画カメラモード撮影中に静止画を記録する.....	47
静止画のサイズを選ぶ.....	48
ドライブモードを選択する.....	48
ブラウザーリモートで撮影する.....	49
撮影時の画面表示.....	50
冷却ファンの動作方法を選ぶ.....	53
映像の信号形式を選ぶ.....	54
動画形式を設定する.....	54
録画モードを設定する.....	54
撮影モードを切り換える.....	56
M (マニュアル露出).....	56
Av (絞り優先AE).....	58
Tv (シャッター優先AE).....	59
P (プログラムAE).....	60

「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください (193 ~ 198ページ)。

AUTO (オートモード)	60	時刻または日付を設定する	88
SCN (シーンモード)	61	ユーザービットを出力する	88
ISO感度やゲインのリミットを設定する (オートISOリミット / AGCリミット)	63	音声を記録する	89
設定可能な値	64	市販のマイクを使う	89
明るさを調整する	65	場面に合わせて音の設定を選択する (オーディオシーン)	89
露出を固定する (EXPロック)	65	マイクレベルを調整する	91
タッチした被写体に自動的に露出を合わせる (タッチ露出)	66	内蔵マイクウィンドカットを使う	92
露出を調整する (AEシフト)	67	内蔵マイクのアッテネーターを使う	93
明るさの調整のしかたを選ぶ (測光方式)	68	内蔵マイクの周波数特性を選ぶ	94
ホワイトバランスを調整する	69	内蔵マイクの指向性を切り換える	94
ホワイトバランスを選ぶ	69	外部マイクにアッテネーターを使う	95
好みの画質にする (ルック)	72	MICローカットを使う	96
ルックを設定する	72	MIC端子の入力信号を選ぶ	96
ズームを操作する	74	音声リミッター	97
ズームリングで操作する	74	音声コンプレッサー	98
フォーカスを調整する	75	ヘッドホンでモニターする	98
オートフォーカス (AF) で調整する	75	カラーバー / テストトーンを記録する	99
マニュアルフォーカスで調整する	77	カラーバーを記録する	99
PUSH AF (プッシュ AF) で調整する	81	テストトーンを記録する	99
顔を検出してフォーカスを合わせる (フェイスキャッチ & 追尾)	81	GPS情報を記録する	100
手ブレ補正を使う	83	GPSレシーバーを接続する	100
手ブレ補正を設定する	83	スロー & ファストモーション記録を行う	102
望遠撮影時の大きな手ブレを抑える (パワードIS)	83	設定する	102
マーカー / ゼブラパターンを表示する	84	スロー & ファストモーション記録モードで 撮影する	102
マーカーを表示する	84	プレ記録を行う	104
ゼブラパターンを表示する	85	インターバル記録を行う	105
タイムコードを設定する	86	セルフタイマー	106
カウントアップ方式を選ぶ	86	ポジションを検出する	107
ドロップフレーム / ノンドロップフレームを 切り換える	87	縦横自動回転	108
ユーザービットを設定する	88	ストロボを使用する	109
任意の16進数を設定する	88	ストロボを取り付ける	109
		ストロボ設定を行う	109

カスタマイズ

[FUNC.] メニューをカスタマイズする.....	113
アサインボタンの機能を変更する	114
機能を変更する.....	115
アサインボタンに割り当てた機能を使う	115
設定データの保存と読み出し.....	116
設定データをSDカードに保存する	116
設定データをSDカードから読み込む	116

再生

クリップや静止画を再生する	118
再生インデックス画面	118
再生する.....	119
カメラモードと再生モードの切り換えについて...	120
再生時の画面表示	121
クリップの詳細情報を表示する	124
4KクリップからHDクリップの切り出し再生を 行う	125
記録したクリップから静止画を切り取る (4Kフレームキャプチャー／あとからフォト)	125
静止画を拡大して見る.....	126
クリップや静止画を消去する	128
クリップや静止画を選んで消す	128
再生一時停止中のクリップを消去する	129
再生中の静止画を消す.....	129

接 続

出力信号形式	132
動画カメラモード時の記録信号形式と出力信号 形式	132
再生モードの出力信号形式	133
外部モニターを接続する	134
接続のしかた.....	134
クリップをパソコンに保存する.....	135
MXFクリップをパソコンに保存する.....	135
MP4クリップをパソコンに保存する.....	139
静止画をパソコンに保存する	140

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする	143
Wi-Fiで接続する	144
ネットワーク接続設定を表示／変更する	149
文字入力のしかた	152
ネットワーク機器でリモート撮影する (ブラウザーリモート)	153
リモート設定を行う.....	153
ブラウザーリモートを起動する	154
Webブラウザーで再生／保存する (ブラウザープレビュー)	159
パソコンなどで見る (メディアサーバー)	161

メニュー

[FUNC.] メニュー一覧	163
各撮影モードで使える機能一覧	163
[FUNC.] メニューの設定項目	164
メニュー一覧	166
メニューの設定項目	166

その他

トラブルシューティング	181
電源	181
撮影中	181
再生中	182
表示やランプ	182
画面や音	184
アクセサリ	184
他機	186
ネットワーク接続	186
エラーメッセージ	189
Wi-Fi 機能使用時	191
安全上のご注意	193
取り扱い上のご注意	195
ビデオカメラ本体	195
バッテリー	196
メモリーカード	197
充電式内蔵電池	197
その他のご注意	198
ボタン型リチウム電池 (CR2032)	198
日常のお手入れ	199
ビデオカメラ本体を清掃する	199
ファインダーユニットについて	199
アクセサリ紹介	200

主な仕様	201
XC10本体	201
付属品	203
静止画の記録可能枚数の目安	204
バッテリーの充電時間／使用時間の目安	204
索引	206
保証書と修理対応	209
修理について	210

本書の読みかた

映像の信号形式を選ぶ

カメラ 再生 MXF MP4 4K HD

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、ビットレート、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。

記録信号形式一覧

動画形式	録画モード (フレームレート/ビットレート)	解像度
MXF 4K動画	29.97P / 305 Mbps	3840×2160
	29.97P / 205 Mbps	
	23.98P / 305 Mbps	
	23.98P / 205 Mbps	
MXF HD動画	59.94P / 50 Mbps	1920×1080
	59.94P / 35 Mbps	
	29.97P / 35 Mbps	
	23.98P / 35 Mbps	
MP4 HD動画	59.94P / 35 Mbps	
	29.97P / 35 Mbps	
MP4 4K動画	29.97P / 35 Mbps	
	23.98P / 35 Mbps	

動画形式を設定する

- 1 「動画形式」を選ぶ
① 画面の **MXF**、**4K**、**MP4**、**HD** または **MP4** **HD** をタッチする。
② MENU ▶ ④ 1 記録設定 ▶ 「動画形式」でも設定できる。
③ 4K動画 (MXF) を撮影するときは「**MXF** 4K動画」を、HD動画 (MXF) を撮影するときは「**MP4** HD動画」、HD動画 (MP4) を撮影するときは「**MP4** HD動画」をタッチする。
④ ② または ③ をタッチする。

録画モードを設定する

- 1 「録画モード」を選ぶ
① MENU ボタンを押す。
② ④ 1 記録設定 ▶ 「**MXF** 4K録画モード」、**MP4** **HD** 録画モード または **MP4** **HD** 録画モード で録画モードをタッチする。
③ いずれかをタッチする。
④ X をタッチする。

MEMO

- HDMI OUT 端子からの信号については、「出力信号形式」(□ 132) をご覧ください。
- 「**MXF** 4K 動画」/ 設定時、● カメラ設定 ▶ 「Rolling Shutter」ひずみ軽減で「入出力」を選ぶと、ローリングシャッターひずみを軽減できます (□ 162)。

- カメラ 再生 カメラモード (□ 27、45) にする
カメラ 再生 再生モード (□ 118) にする
カメラ 再生 カメラモードか再生モードにする

動画/静止画切り換えレバーの (□ 27) 位置を示すマーク

- 動画にする
静止画にする
動画か静止画にする

対応する動画形式 (□ 54)

- MXF** **MP4** 動画形式MXFで使用可能。
MXF **MP4** 動画形式MP4で使用可能。
MXF **MP4** 動画形式MXFまたはMP4で使用可能。

対応する録画モード (□ 54)

- 4K** **HD** 4K録画モードで使用可能。
4K **HD** HD録画モードで使用可能。
4K **HD** 4K録画モードまたはHD録画モードで使用可能。

各章の最初のページにジャンプ。

コラムのマーク

- 注意 必ず守っていただきたいこと
● MEMO 知っておいていただきたいこと

54

Contents MENU MENU 索引

- Contents Contents (目次) にジャンプ。
MENU MENU 「メニューの紹介」(□ 162) にジャンプ。
索引 索引にジャンプ。

本文中の表記



参考 ▶▶

画面

SDカード

メモリーカード

カメラモード

参照ページを示す

参考になるページなどを示す

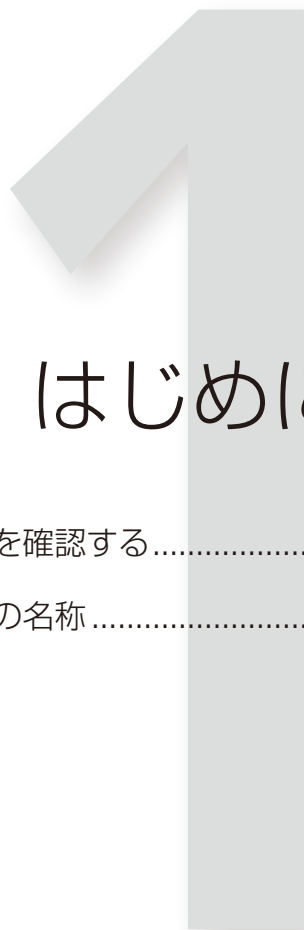
ファインダーユニットの画面、または液晶画面のこと

SD / SDHC / SDXC メモリーカードのこと

CFast カードまたはSDカードのこと

動画撮影モードや静止画撮影モードのこと。機能によっては、動画カメラモード、静止画カメラモード、と表記しています。

- 本書で使用している作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

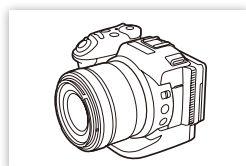


はじめに

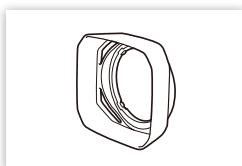
商品を確認する.....	10
各部の名称	11

商品を確認する

XC10には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



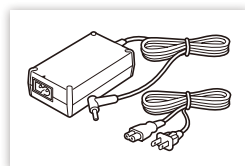
ビデオカメラ本体



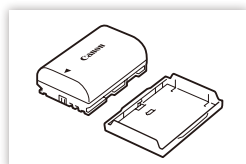
レンズフード



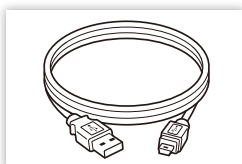
ファインダーユニット
(ファインダーユニットカバー付き)



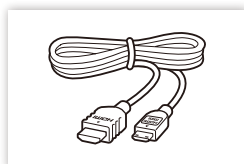
コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-570



バッテリーパック LP-E6N
(保護カバー付き)



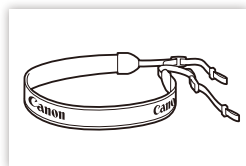
インターフェースケーブル
IFC-300PCU/S (USBケーブル)



ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100/S



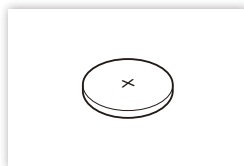
レンズキャップ



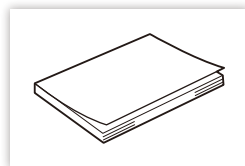
ショルダーストラップ



リモートコントローラー
RC-6



ボタン型リチウム電池 CR2032
(リモートコントローラー用)



クイックガイド

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

事前に、4K動画 (CFastカード) では、「**MXF** 4K録画モード」の「29.97P / 305 Mbps」または「23.98P / 305 Mbps」で約5分間、HD動画 (SDカード) では「**MXF** HD録画モード」の「59.94P / 50 Mbps」で約15分間試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」([181](#)) をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

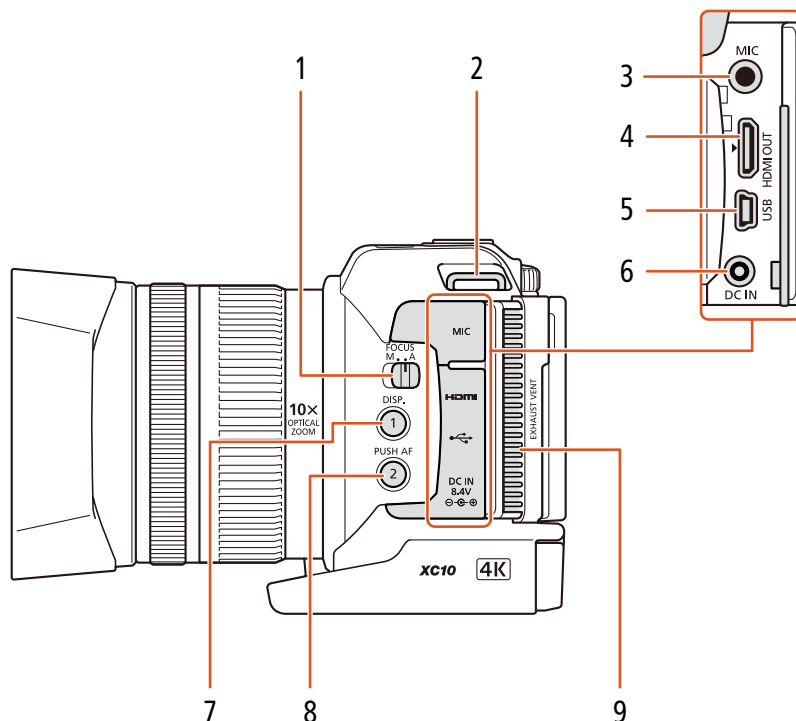
液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

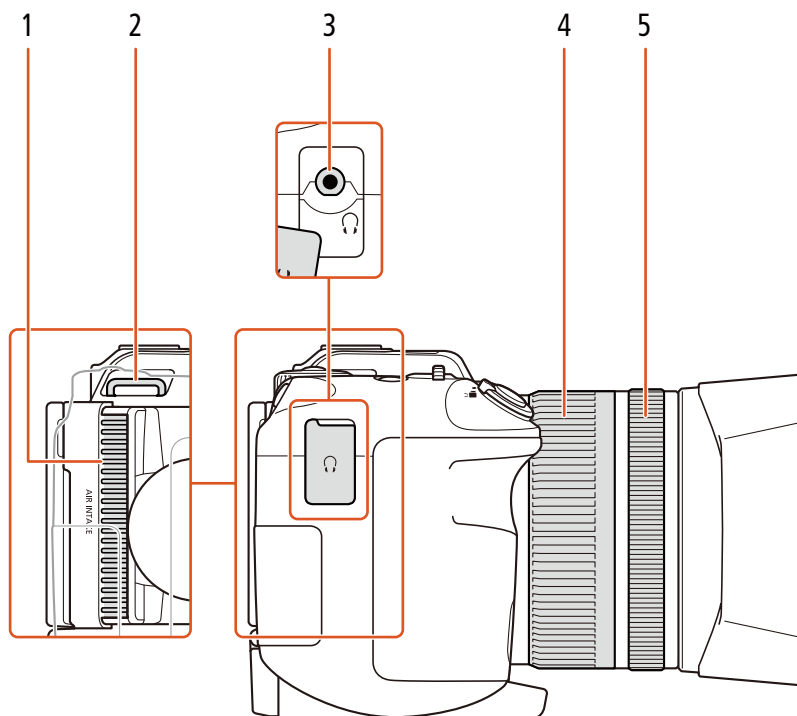
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶ ❷に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



- | | |
|---|--|
| 1 FOCUS(フォーカス)スイッチ ▶ ❷ 75 | 6 DC IN端子 ▶ ❷ 18 |
| 2 ショルダーストラップ取り付け部 ▶ ❷ 26 | 7 DISP.(ディスプレイ)／アサイン1ボタン ▶ ❷ 114 |
| 3 MIC(マイク)端子 ▶ ❷ 89 | 8 PUSH AF(プッシュ AF) ／アサイン2ボタン ▶ ❷ 114 |
| 4 HDMI OUT端子 ▶ ❷ 134 | 9 EXHAUST VENT(排気口) ▶ ❷ 53 |
| 5 USB端子 ▶ ❷ 100 、 140 | |



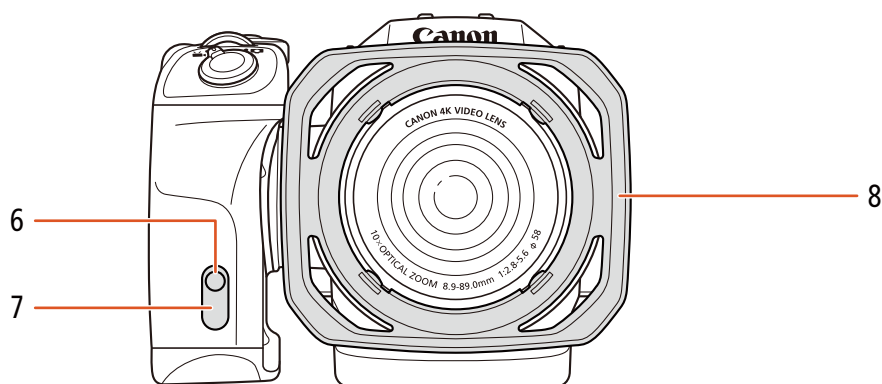
1 AIR INTAKE(吸気口) ▶ 53

2 ショルダーストラップ取り付け部 ▶ 26

3 3.5mm(ヘッドホン)端子 ▶ 98, 123

4 ズームリング ▶ 74

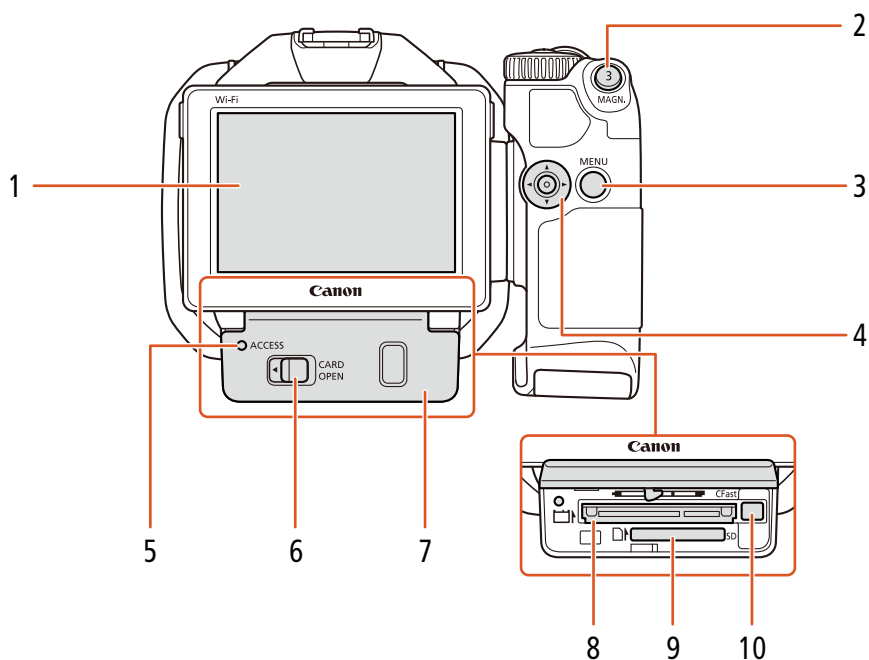
5 フォーカスリング ▶ 75



6 タリールンプ ▶ 171

7 リモコン受光部 ▶ 43

8 レンズフード ▶ 21



1 液晶画面 (タッチパネル) ▶▶ [24](#)、[28](#)

2 **MAGN.** (拡大) / アサイン3ボタン ▶▶ [114](#)

3 **MENU** (メニュー) ボタン ▶▶ [30](#)、[32](#)

4 ジョイスティック ▶▶ [30](#)

5 **ACCESS** (アクセス) ランプ ▶▶ [38](#)、[39](#)

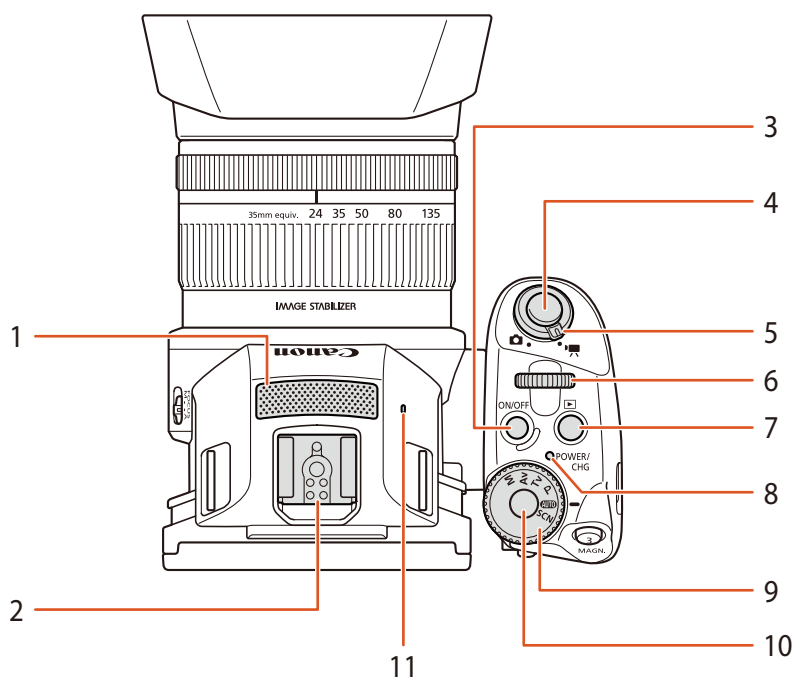
6 **CARD OPEN** (カードカバー開く) レバー ▶▶ [37](#)、[39](#)

7 カードカバー ▶▶ [37](#)、[39](#)

8 CFastカードスロット ▶▶ [37](#)

9 SDカードスロット ▶▶ [39](#)

10 CFastカード取り出しボタン ▶▶ [38](#)



1 内蔵マイク ▶▶ 89

2 アクセサリーシュー ▶▶ 100、109

別売のGPSレシーバー GP-E2*、EOS用EXシリーズスピードライトなどを取り付けます。取り付けかたや使い方などは、本書に加えて、それぞれの説明書もご覧ください。

* GP-E2付属の接続ケーブルを使ってUSB端子に接続します。

3 ON/OFF(電源)ボタン ▶▶ 46

4 START/STOP(スタート/ストップ) / PHOTO(フォト)ボタン ▶▶ 46

● 本書では、動画カメラモードのときは「START/STOPボタン」、静止画カメラモードのときは「PHOTOボタン」と呼びます。

5 動画／静止画切り換えレバー ▶▶ 27、46

6 電子ダイヤル ▶▶ 56

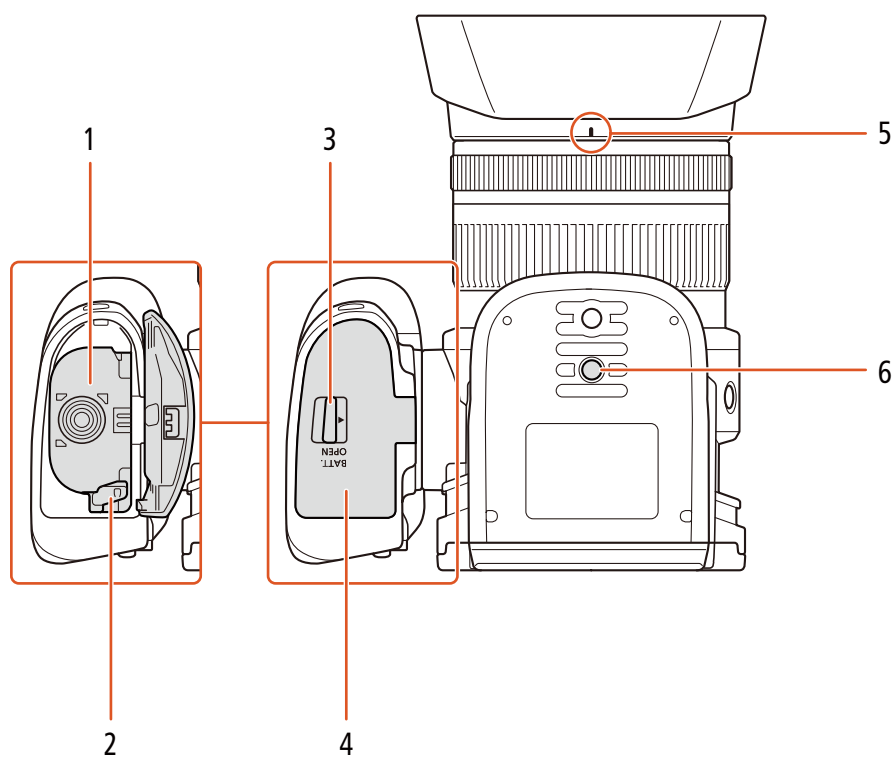
7 再生(再生)ボタン ▶▶ 118

8 電源ランプ / CHG(充電)ランプ ▶▶ 19

9 モードダイヤル ▶▶ 27

10 モードダイヤルロック解除ボタン ▶▶ 27、56

11 内蔵スピーカー ▶▶ 123



1 バッテリー装着部 ▶ 18

2 バッテリーロック ▶ 20

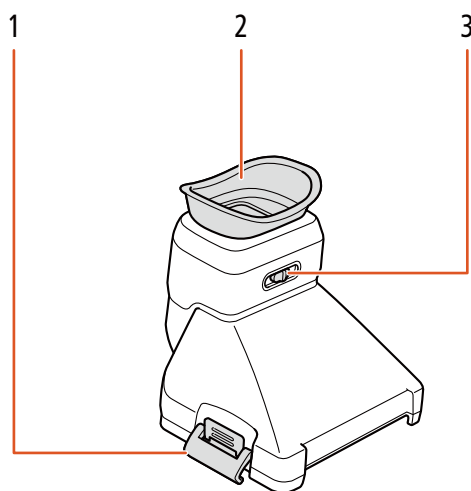
3 **BATT.OPEN**(バッテリーカバー開く)レバー
▶ 18、20

4 バッテリーカバー ▶ 18、20

5 フード取り付け指標 ▶ 21

6 三脚ねじ穴 ▶ 26

■ ファインダーユニットの名称

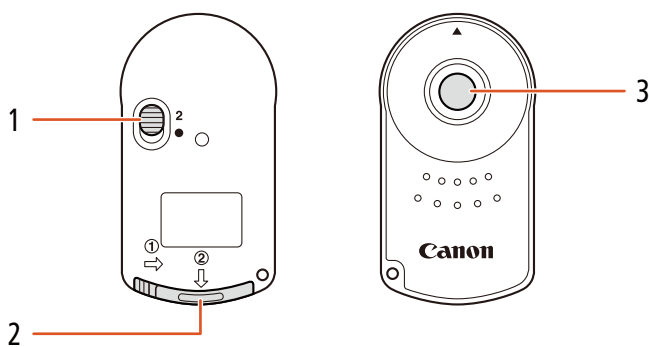


1 バックル ▶▶ [21](#)

2 アイカップ

3 視度調整レバー ▶▶ [23](#)

■ リモートコントローラー RC-6の名称



1 リリースモード切り換えスイッチ ▶▶ [42](#)

2 電池カバー ▶▶ [42](#)

3 送信ボタン ▶▶ [42](#)

準備

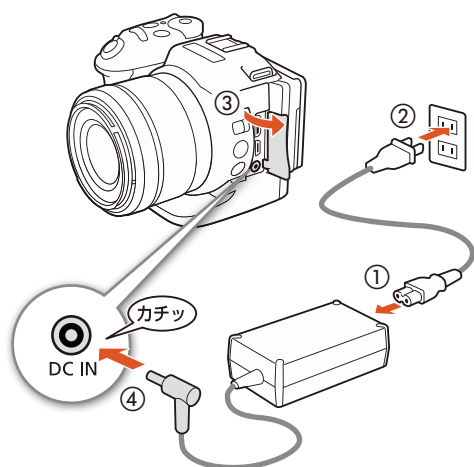
バッテリーを充電する	18
カメラを準備する	21
カメラを操作する	27
日時を設定する	31
[FUNC.] メニュー／メニューの 設定を変える	32
記録メディアを準備する	36
リモート撮影の準備をする	42

バッテリーを充電する

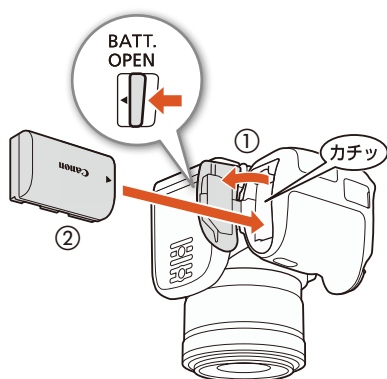
本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないで使用できます。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

■ バッテリーを充電する

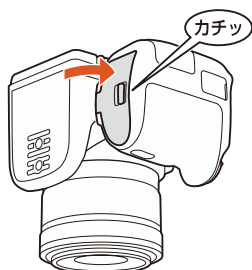
- 1 イラストの手順に従って、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をコンセントにつなぐ

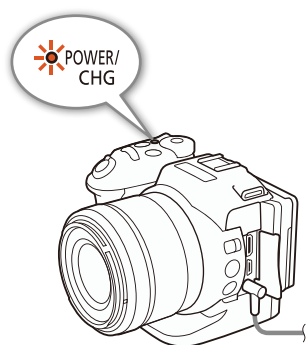


- 2 BATT.OPEN (バッテリーカバー開く) レバーを矢印の方向に押し、バッテリーカバーを開け (①)、電池接点の方からバッテリーを入れる (②)
●「カチッ」と音がするまでしっかりと入れる。



- 3 「カチッ」と音がするまでバッテリーカバーを押して閉じる

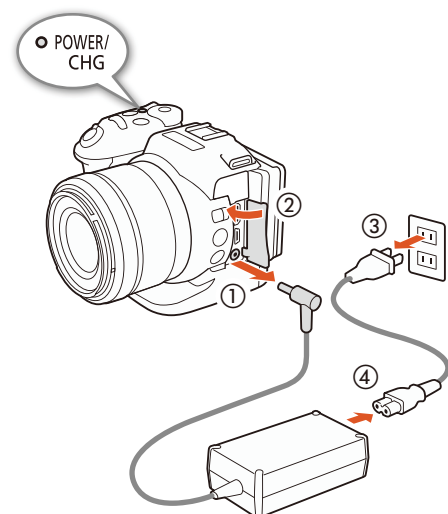




4 電源OFFで充電開始

赤く点灯

- 点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」([182](#))をご覧ください。

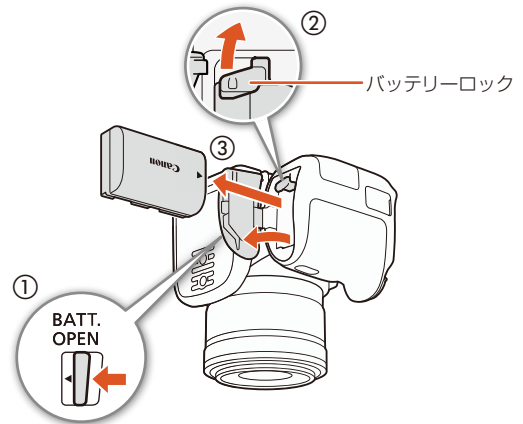


5 点灯 ▶ 消灯で充電終わり

6 イラストの手順に従って、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) をはさず

バッテリーを取り外すとき

BATT.OPEN (バッテリーカバー開く) レバーを矢印の方向に押し、バッテリーカバーを開け (①)、バッテリーロックを押して (②) バッテリーを取り出す (③)。



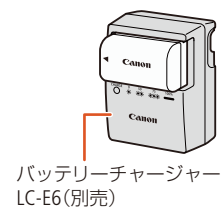
ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。



MEMO

- 別売のバッテリーパックLP-E6は本機では充電できません。バッテリーパックの底面に記載されている型番を確認して、LP-E6Nを使用してください。
- 10 °C ~ 30 °C の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約 0 °C ~ 40 °C (使用温度) の範囲外の場合は、充電に時間がかかることや、充電ができないことがあります。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG(充電) ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は[204](#)ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 付属バッテリー LP-E6Nの充電時間は約240分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャー LC-E6を使うと約150分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、[196](#)ページをご覧ください。

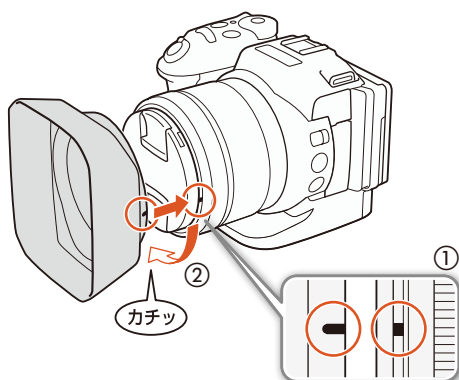


カメラを準備する

ここではレンズフードの取り付け、ファインダーユニットや液晶画面、グリップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。



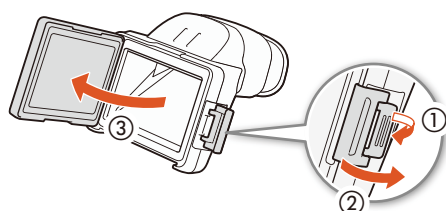
- 1 レンズ先端部にフードをはめ込み、目印が真下に来るように取り付け (①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す (②)

- フードの先端を軽く持って取り付ける。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなる。
- レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付ける。

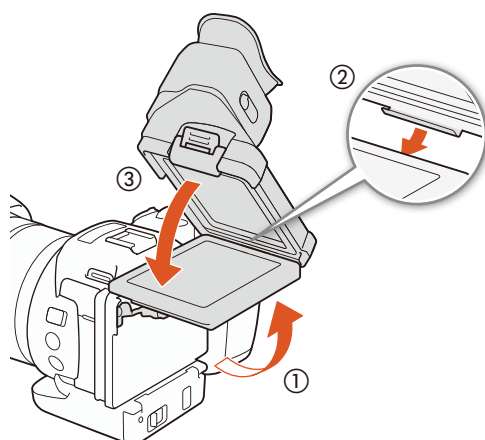
レンズフードを取り外す
フードを反時計回りに回す。

■ ファインダーユニットを使う

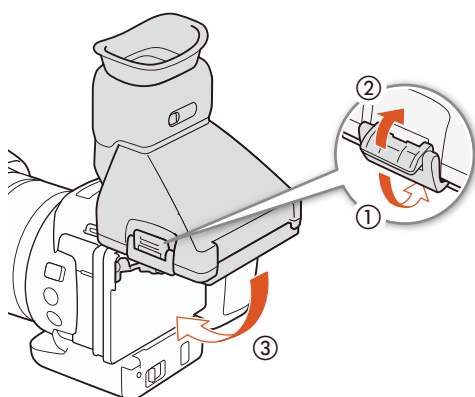
ファインダーユニットを取り付ける



- 1 バックルを外して (①、②)、ファインダーユニットカバーを外す (③)



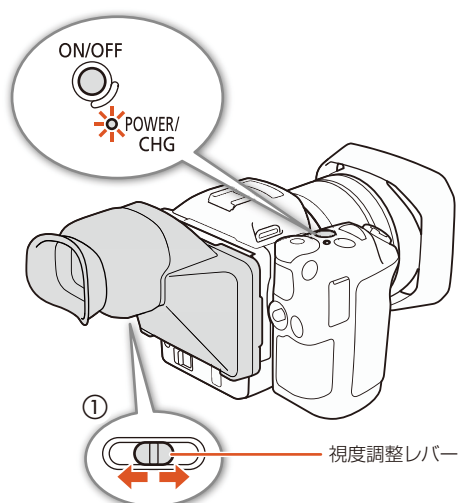
- 2 液晶画面を90°上に開き (①)、ファインダーユニットのツメを液晶画面の下に引っ掛けて倒す (②、③)



- 3 バックルを液晶画面の下に引っ掛けて固定し (①、②)、液晶画面を元の位置に戻す (③)

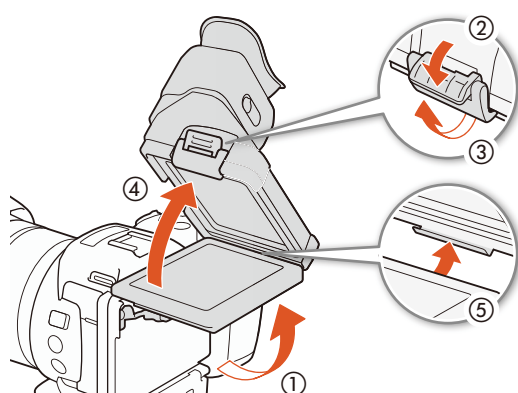
ファインダーユニットの視度を調整する

映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。

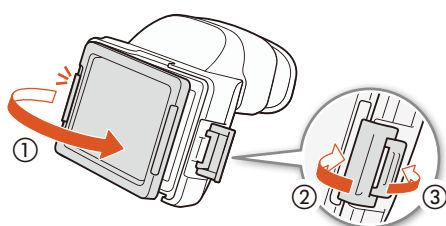


- 1 本機の電源を入れる (46)
- 2 視度調整レバーを左右に動かして調整する (①)
 明るさを調整するとき
 ファインダーユニットで見やすいように「液晶
 明るさ調整」、「液晶バックライト」を調整する
 (171)。

ファインダーユニットを取り外す



- 1 液晶画面を90°上に開き (①)、バックルを外して (②、③) 本体から取り外す (④、⑤)
 ● バックルを完全に起こしてから取り外す。

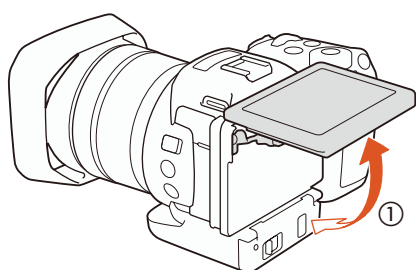


- 2 ファインダーユニットカバーを取り付けて (①)、
バックルを締める (②、③)

MEMO

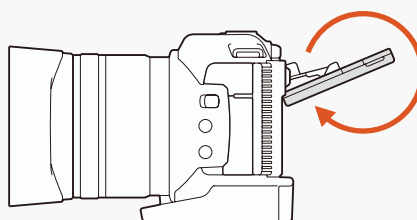
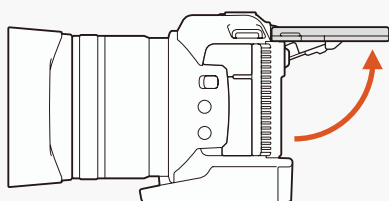
- ファインダーユニットを使わないときはファインダーユニットカバーをつけて保管してください。

液晶画面



- 1 液晶画面を手前に引き出し、見やすい角度に調整する (①)

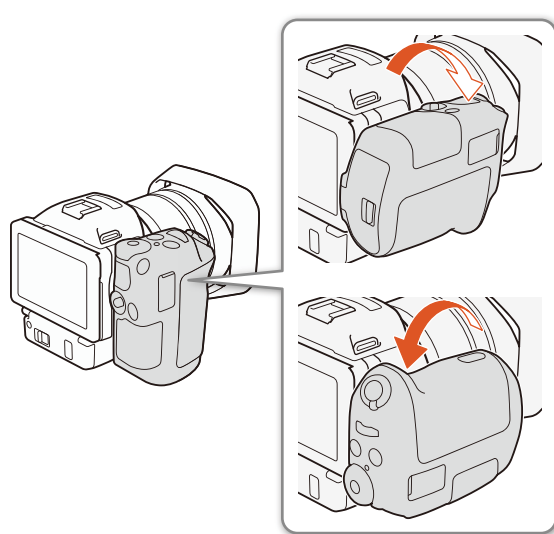
液晶画面はお好みの位置に調整でき、ハイアングルやローアングルの撮影も可能です。



■ グリップを使う

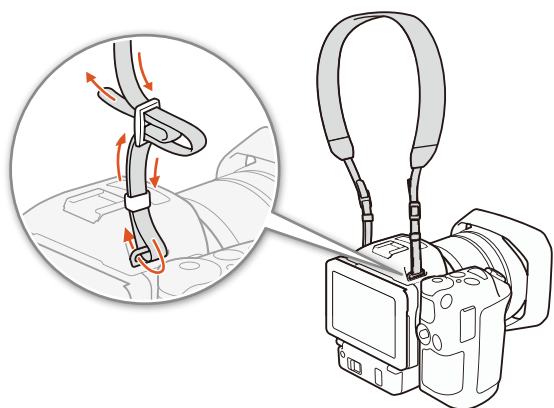
グリップの角度を調整する（回転グリップ）

グリップは前後に最大90°、撮影の状況に応じて好みの角度に調整して使用できます。



1 グリップを好みの角度に合わせる

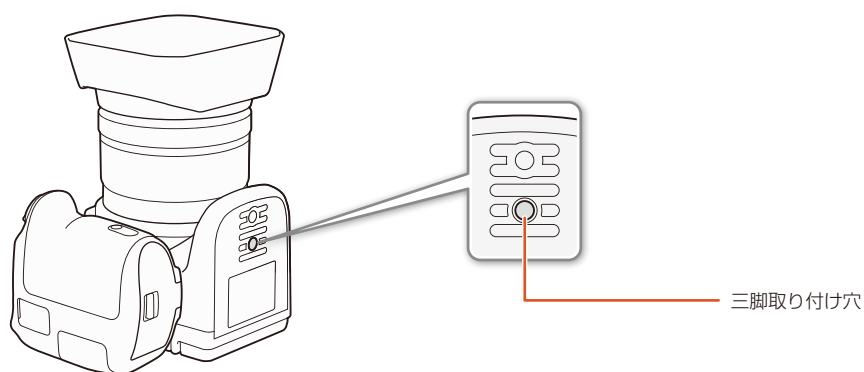
■ ショルダーストラップを取り付ける



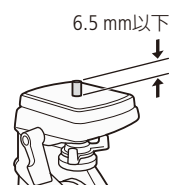
- **ご注意**
- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を取り付けることができます。



- **ご注意**
- ネジの長さが6.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

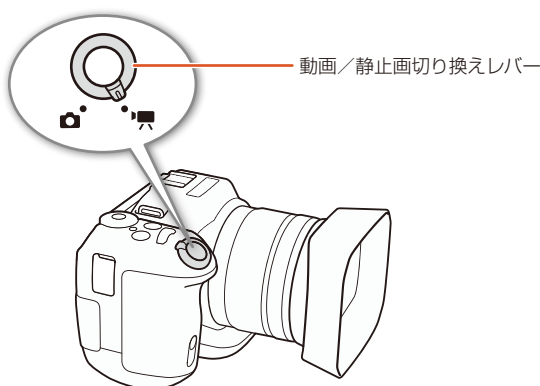


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

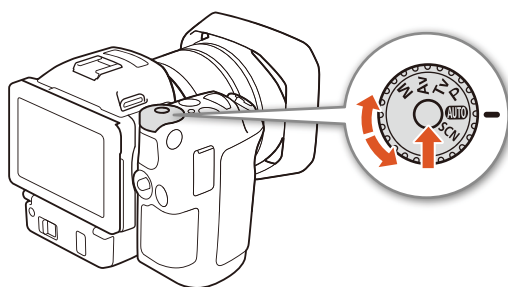
■ 動画撮影または静止画撮影を切り換える

動画を撮影するときは動画／静止画切り換えレバーを  (動画カメラモード) に、静止画を撮影するときは動画／静止画切り換えレバーを  (静止画カメラモード) に合わせます。



■ 撮影モードを切り換える

モードダイヤルで撮影時のモードを切り換えます。切り換えるときは、ダイヤルの中央のモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回します。



- M** マニュアル露出：絞り、シャッタースピード、ISO/ゲインの3種類を自由に設定できます ([□ 56](#))。
- Av** 絞り優先AE：絞りを設定します ([□ 58](#))。
- Tv** シャッター優先AE：シャッタースピードを設定します ([□ 59](#))。
- P** プログラムAE：シャッタースピード、絞り、ISO/ゲインを自動で設定します ([□ 60](#))。
- AUTO** オートモード：ビデオカメラにおまかせで撮影できます ([□ 60](#))。

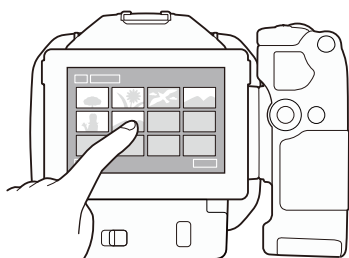
SCN シーンモード：場所や被写体に合わせて撮影できます（[61](#)）。

	ポートレート		スポーツ
	夜景		スノー
	ビーチ		夕焼け
	ローライト		スポットライト
	打上げ花火		

■ タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。

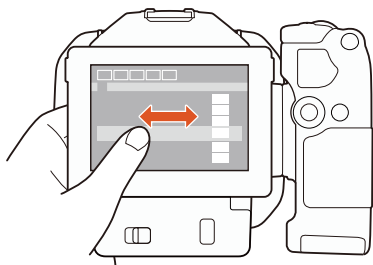
タッチ



画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- クリップ（動画）の再生、項目の選択などに使います。

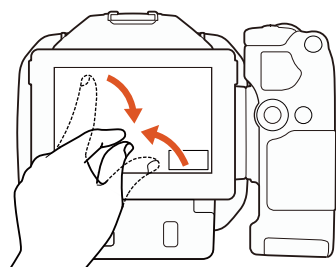
ドラッグ



画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

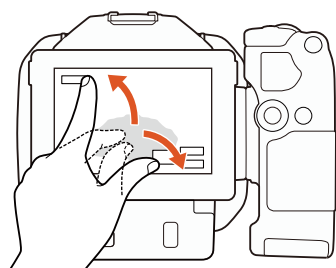
ピンチイン



2本の指で画面を押さえ、指の間隔を狭めます。

- 動画／静止画再生中(📖 119)に、ピンチインすると、再生インデックス画面に戻ります。

ピンチアウト



2本の指で画面を押え、指の間隔を広げます。

- 再生インデックス画面(📖 118)でピンチアウトすると、動画／静止画の再生を開始します。
- 再生中の静止画を拡大します。ピンチインで縮小します。

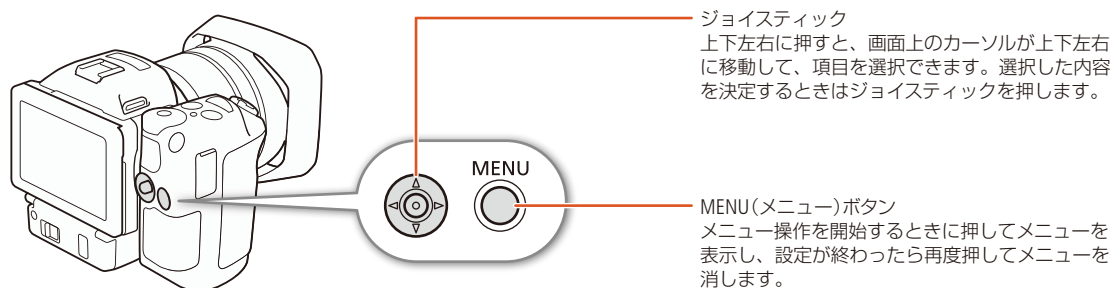


ご注意

- タッチパネルは静電容量方式です。次の場合はタッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 爪先やボールペンなどがかったもので操作をしたとき。
 - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
 - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
 - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

■ MENU(メニュー)ボタン／ジョイスティックで操作する

ファインダーユニット装着時などタッチパネルを使わず、MENU(メニュー)ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作できます。



日時を設定する

カメラ

再生

🗨️

📷

MXF

MP4

4K

HD

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます(📖 171)。

準備

ON/OFF

POWER/
CHG

1 ON/OFF(電源)ボタンを押す

- 電源ランプが緑色に点灯。
- はじめて電源を入ると「日付/時刻」設定画面が出る。



2 日時を設定する

タッチパネルで操作するとき

- ① 項目(年月日時分)をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。
 - ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。
 - ジョイスティックを上下左右に押して「OK」を選びジョイスティックを押す。



MEMO

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます(📖 170)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください(📖 197)。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すれば、GPSから得られる時刻情報を本機に自動設定することもできます(📖 100)。

FUNC. メニュー／メニューの設定を 変える

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD

本機のさまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されている「FUNC.」メニューやメニュー設定を操作するときの参考にしてください。次ページ以降、本書では主にタッチパネルでの操作を説明しています。「FUNC.」メニューやメニューの種類については「「FUNC.」メニュー一覧」(163)や「メニュー一覧」(166)をご覧ください。

■ 「FUNC.」メニューの設定を変える

撮影時の調整項目を「FUNC.」メニューで変更できます。「FUNC.」メニューは画面の左右に配置されています。撮影前に設定する項目が左に(左「FUNC.」メニュー)、撮影中に設定できる項目が右に配置されています(右「FUNC.」メニュー)。右「FUNC.」メニューは、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズできます(113)。



左「FUNC.」メニュー

右「FUNC.」メニュー

例 「プレREC」(104)を「入」にする

「FUNC.」

1 「FUNC.」メニューを表示させる

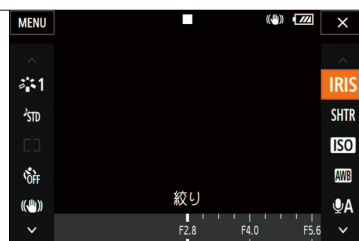
タッチパネルで操作するとき

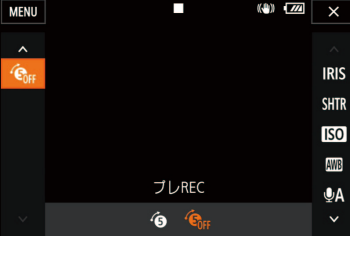
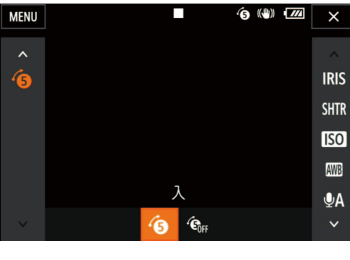
「FUNC.」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して「FUNC.」を選んでジョイスティックを押す。

- 画面に「FUNC.」メニューが表示される。



	2 項目を選ぶ タッチパネルで操作するとき 上にドラッグして  (プレREC) をタッチする。 ジョイスティックで操作するとき ジョイスティックを下に押して、 (プレREC) を選んでジョイスティックを押す。	
	3 設定内容を選ぶ タッチパネルで操作するとき 「 入」をタッチする。 ジョイスティックで操作するとき ジョイスティックを左に押して「 入」を選んでジョイスティックを押す。	
× 	4 [FUNC.]メニューを終了する タッチパネルで操作するとき × をタッチする。 ジョイスティックで操作するとき ジョイスティックを上下左右に押して、× を選んでジョイスティックを押す。	

MEMO

- 機能によっては、項目や設定内容を選ぶと、メーターが表示されます。タッチパネルで操作するときは、左右にドラッグして値を調整します。ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整します。

■ メニューの設定を変える

本機のさまざまな機能の設定を、メニューで変更できます。

例 「おしらせ音」を「入」に設定する

 	1 MENU(メニュー)を表示させる MENUボタンを押す。または[FUNC.] * > [MENU]をタッチする。 * カメラモード時のみ ● メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。	
♪) 	2 項目を選ぶ タッチパネルで操作するとき ♪)1 オーディオ設定メニュー > 「おしらせ音」をタッチする。 例：本文中の♪)1は、♪) (オーディオ設定) タブの「1」(1番目)を選んでいきます。 同じ機能でも、動画カメラモード、静止画カメラモード、再生によって機能が表示されるページが異なることがあります。詳しくは「メニュー一覧」(P.166)をご覧ください。 ジョイスティックで操作するとき ① ジョイスティックを左右に押して♪)を選ぶ。 ② ジョイスティックを上下に押して「1」のタブ > 「おしらせ音」を選んでジョイスティックを押す。	
「大」 「小」	3 設定内容を選ぶ 「大」または「小」を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴る。 タッチパネルで操作するとき 「大」または「小」をタッチする。 ジョイスティックで操作するとき ジョイスティックを上下に押して、「大」または「小」を選んでジョイスティックを押す。	



4 メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき
✕をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき
ジョイスティックを上下左右に押して、✕を選んでジョイスティックを押す。



- ✕をタッチしたり、MENUボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

記録メディアを準備する

本機では、4K動画をCFastカードに、HD動画と静止画をSDメモリーカード（）／SDHCメモリーカード（）／SDXCメモリーカード（）に記録します。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してください（[40](#)）。

■ 使用可能なメモリーカード

動作確認済みカードなどの詳細情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

CFastカード

CFast 2.0に準拠したCFastカードを使用可能。

SDカード

メモリーカードの タイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS⑥ CLASS⑩*2

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2 「59.94P / 50 Mbps」でHD動画を記録するときや、Slow & Fastモーション記録を行うときはClass 10のカードを推奨します。

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、HD動画記録時の動作を確認しています（2016年6月現在）。

• Panasonic • TOSHIBA • SanDisk



ご注意

- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してください。

SDXCメモリーカードまたはCFastカードを使用するとき

これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**



MEMO

- すべてのカードの動作を保証するものではありません。

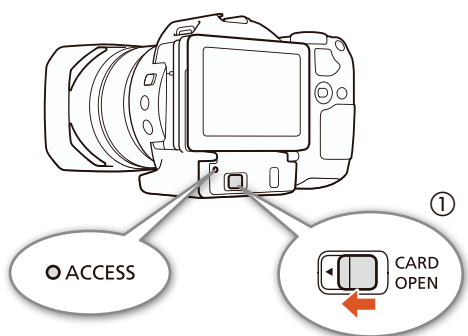
■ CFastカードを入れる

カメラ 再生

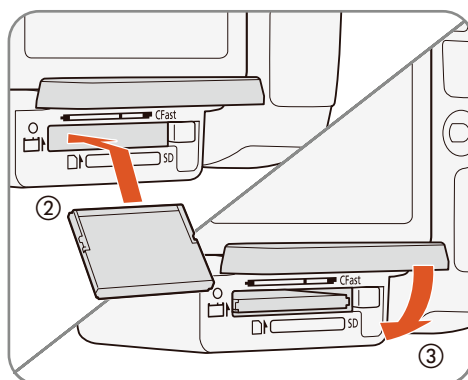
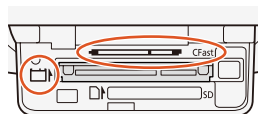


MXF MP4

4K HD



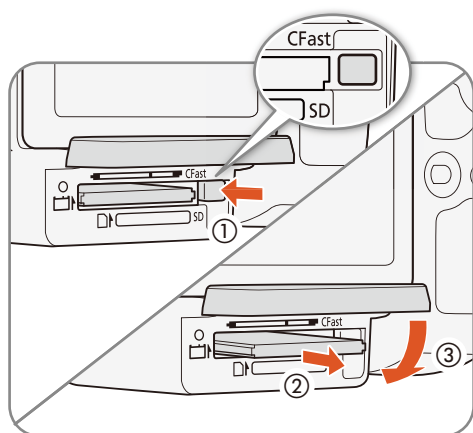
- 1 ACCESS (アクセス) ランプが消えていることを確認する
- 2 CARD OPEN (カードカバー開く) レバーを◀方向にスライドさせる (①)
 - カードカバーが上に開く。
- 3 CFastカードスロットに印刷されているCFastカードコネクタの形状に合わせてカードを奥までしっかり入れる (②)



- 4 カードカバーを閉じる (③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

■ CFastカードを取り出す

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD



- 1 ACCESS (アクセス) ランプが消えていることを確認する
- 2 CARD OPEN (カードカバー開く) レバーを◀方向にスライドさせる。
 - カードカバーが上に開く。
- 3 CFastカード取り出しボタンを押し込む (①)
 - CFastカードが出てくる。
- 4 CFastカードを取り出す (②)
- 5 カードカバーを閉じる (③)



● ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。本体の電源を入れたままカードの出し入れをすると、故障の原因となることがあります。
- ACCESS(アクセス) ランプが赤色に点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。



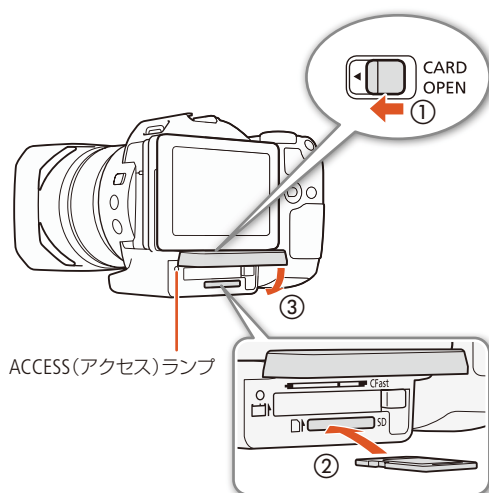
MEMO

ACCESS(アクセス)ランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

■ SDカードを入れる／出す

カメラ 再生 MXF MP4 4K HD



- 1 ACCESS (アクセス) ランプが消えていることを確認する
- 2 CARD OPEN (カードカバー開く) レバーを◀方向にスライドさせる。(①)
● カードカバーが上に開く。
- 3 カードのラベル面を上側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる(②)
SDカードを出すとき
カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。
- 4 カードカバーを閉じる(③)
● カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



● ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。本体の電源を入れたままカードの出し入れをすると、故障の原因となることがあります。
- ACCESS (アクセス) ランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。



MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にする、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

ACCESS (アクセス) ランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

■ 初期化する

カメラ 再生 初期化 設定 MXF MP4 4K HD

メモリーカードをはじめて使用するときや、メモリーカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するとき、メモリーカードを初期化します。SDカードの初期化には「初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。



1 初期化する記録メディアを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 2* 記録設定 > 「初期化 [CFast] / [SD]」をタッチする。
- ③ 「[CFast] カード」または「[SD] カード」をタッチする。

* 静止画の場合は、 1 記録設定。



2 初期化を選ぶ

- ① 「初期化する」をタッチする。

「SDカード」を選んだとき 初期化の方法を選ぶ

- データを完全に消去するときは、「完全初期化」をタッチする。
- ② 「はい」をタッチする。
 - 完全初期化を中止するときは、「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。
 - ③ 「OK」をタッチする。

3 ×をタッチする



！ ご注意

- 初期化すると、CFastカード／SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

■ クリップを修復する カメラ 再生

動画を記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、クリップを修復することによってカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。修復が必要なメモリーカードを入れたときに「SD (L-Card) 修復が必要なクリップがあります」が4秒間表示されます。このときは、再生インデックス画面（[118](#)）でクリップを選択して修復します。

▶	1 インデックス画面を表示する（ 118 ）
	2 修復するクリップを選択する サムネイルに ? が表示されているクリップをタッチする。 
OK	3 クリップを修復する 「データの修復を試みますか？時間がかかる場合があります」が表示される。 「はい」をタッチする。 - クリップの修復が行われる。 - 修復が終了すると、「データの修復を終了しました クリップを確認してください」が表示される。 - OK をタッチする。

MEMO

記録中に修復が必要な状態になったカードを修復した場合

- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- クリップの末尾のデータが最大約0.5秒間消去されることがある。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはメモリーカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- MP4クリップや静止画を修復することはできません。
- 本機で撮影したクリップのみ修復できます。

リモート撮影の準備をする

本機には、2種類のリモート撮影機能があります。

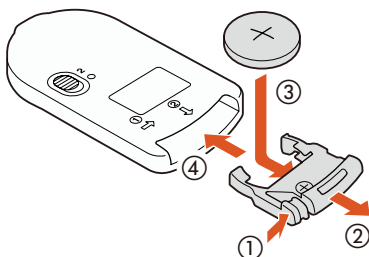
- ① 付属のリモコン（リモートコントローラー RC-6）。
- ② パソコンや携帯端末などのWebブラウザーからのブラウザーリモート。ブラウザーリモートについては「Wi-Fi(無線接続)」の章（[153](#)）をご覧ください。

■ リモコン（付属）を使う

カメラ 再生 人 撮影 MXF MP4 4K HD

付属のリモコン（リモートコントローラー RC-6）を使うと、撮影時にワイヤレスで操作できます。

電池を入れる



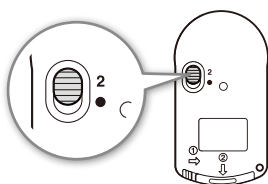
- 1 ツマミを押して (1)引き抜く (2)
- 2 +側を上にして付属の電池を入れる (3)
- 3 リモコンに取り付ける (4)

リモコン（付属）を有効にする



- ① MENUボタンを押す。
- ② システム設定* > 「リモコンセンサー」をタッチする。
* 静止画の場合は、 システム設定。
- ③ **ON** (入)をタッチする。

リリースモード切り換えスイッチについて

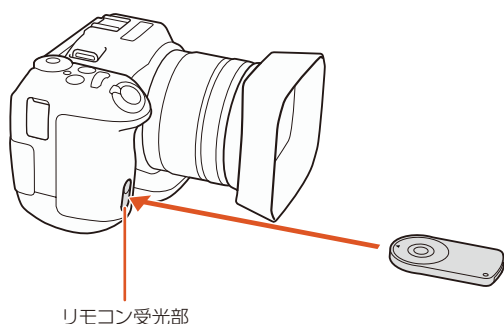


リモコン（付属）の送信ボタンの機能を裏面のリリースモードスイッチで切り換えます。

リリースモード切り換え スイッチの位置	動画カメラモード時	静止画カメラモード時
2	動画の撮影／撮影停止を行う (START/STOPボタンの操作)	2秒後に静止画を記録
●	静止画を記録	すぐに静止画を記録

リモコン（付属）を使って操作する

1 リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す



MEMO

- 蛍光灯やLED電球などが近くにあると、光源の影響で本機が正常に動作しないことがあります。できるだけ本機を光源から離してください。
- テレビ用のリモコンなどをカメラに向けて操作すると、本機が誤動作することがあります。
- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- ストロボの発光で、本機が正常に動作しないことがあります。周囲にストロボ光源があるときは、システム設定メニューの「リモコンセンサー」を **OFF** 切 にしてください。

撮 影

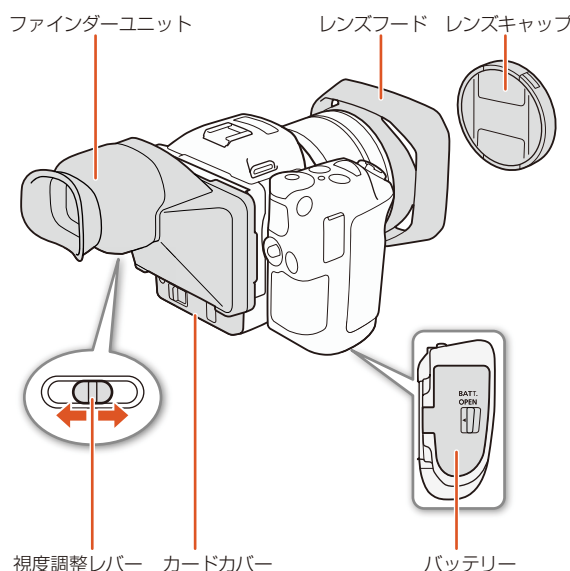
動画や静止画を撮影する	45	タイムコードを設定する	86
映像の信号形式を選ぶ	54	ユーザービットを設定する	88
撮影モードを切り換える	56	音声を記録する	89
ISO感度やゲインのリミットを設定する (オートISOリミット／AGCリミット)	63	カラーバー／テストトーンを 記録する	99
明るさを調整する	65	GPS情報を記録する	100
明るさの調整のしかたを選ぶ (測光方式)	68	スロー&ファストモーション 記録を行う	102
ホワイトバランスを調整する	69	プレ記録を行う	104
好みの画質にする (ルック)	72	インターバル記録を行う	105
ズームを操作する	74	セルフタイマー	106
フォーカスを調整する	75	ポジション検出	107
手ブレ補正を使う	83	ストロボを使用する	109
マーカー／ゼブラパターンを 表示する	84		

動画や静止画を撮影する

ここでは、動画や静止画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については[89ページ](#)をご覧ください。

■ 準備する

カメラ 再生 映像 撮影 MXF MP4 4K HD

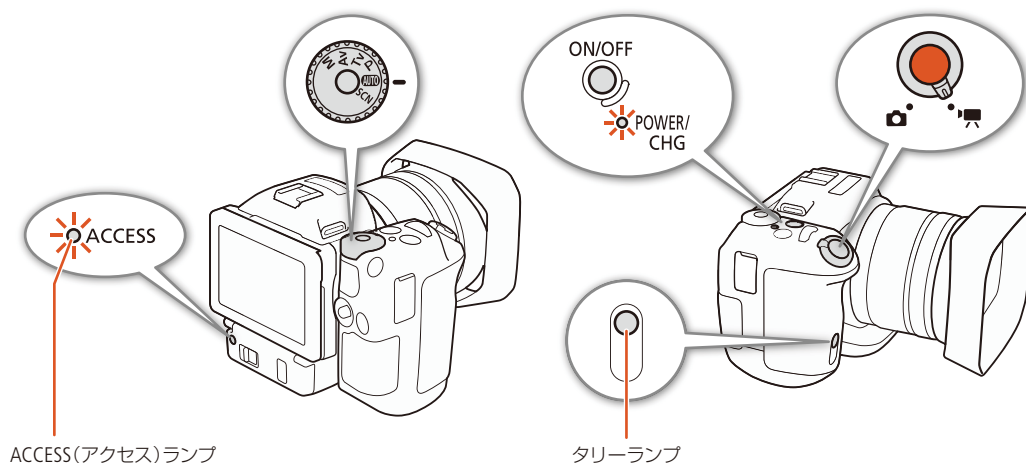


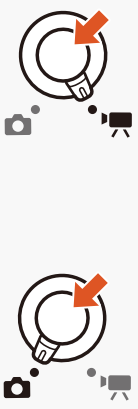
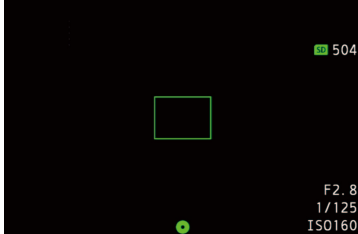
- 1 レンズキャップを外す
- 2 レンズフードや、ファインダーユニットを取り付ける ([21](#))
- 3 充電したバッテリーパックを取り付ける ([18](#))
- 4 記録メディア (CFastカード、SDカード) を入れる ([37](#)、[39](#))
 - 4K動画 (MXF) を記録するときはCFastカードを、HD動画 (MXF、MP4) や静止画を記録するときはSDカードを、各スロットに入れる。
- 5 ファインダーユニットを使用するときは、視度を調整する ([23](#))

撮影

■ 撮影の基本操作

カメラ 再生 映像 撮影 MXF MP4 4K HD



	1 動画または静止画を選ぶ ① 動画／静止画切り換えレバーを、動画のときは「▶」、静止画のときは「📷」に切り換える。
	2 モードダイヤルで撮影モードを切り換える (46)
	3 ON/OFF(電源)ボタンを押す ● 電源ランプが緑色に点灯する。
	4 動画を撮影するとき START/STOPボタンを押す ● 撮影が始まる。タリールンプが点灯し、画面の■が●に変わる。 ● リモコン (付属) で操作するときは、送信ボタンを押す (43)。 ● 動画撮影中でも静止画を記録できる (47)。 静止画を撮影するとき PHOTOボタンを押す ● AF時、PHOTOボタンを浅く押すと、ピント合わせが行われ、「フォーカス優先」(76)の設定に応じてAF枠が表示される。ピントを確認して、PHOTOボタンを深く押す。 ● 「SD」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。 ● リモコン (付属) で操作するときは、送信ボタンを押す (43)。  

5 動画の撮影を停止するとき もう一度START/STOP (スタート/ストップ) ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がメモリーカードに記録される。
- * 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。また、MXF形式のクリップを「MXFクリップ」、MP4形式のクリップを「MP4クリップ」と呼びます。

6 ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源をOFFにする

- ACCESSランプが消えていることを確認する。
- 電源を切るときは、電源ランプが消えるまで、ON/OFF(電源)ボタンを押し続ける。



● ご注意

- ACCESS(アクセス) ランプが赤色に点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - カードカバーを開けて、メモリーカードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。



MEMO

- カメラに内蔵されたマイクにより、撮影中の操作音やカメラの作動音なども一緒に録音されることがあります。なお、市販の外部マイクを使用すると、これらの音を録音しないように(低減)することができます。

■ 動画カメラモード撮影中に静止画を記録する

カメラ 再生 MXF MP4 4K HD

アサインボタンに「[PHOTO] Photo」を割り当てると(114)、動画のカメラモードで撮影中または撮影停止中に、静止画を記録できます。割り当てたアサインボタンを押して静止画を記録すると、画面右上にが表示されます。記録される静止画サイズは以下のとおりです。また、クリップの再生一時停止中に、クリップから静止画を切り取ることもできます(4Kフレームキャプチャー/あとからフォト)(125)。

4K動画 (MXF)撮影時 : 3840 x 2160

HD動画 (MXF、MP4)撮影時 : 1920 x 1080



MEMO

- HDMI接続中、x1/4、x1/2のスロー記録設定中は静止画を記録することはできません。

■ 静止画のサイズを選ぶ

カメラ 再生 静止画撮影 動画撮影 MXF MP4 4K HD

記録する静止画のサイズを選びます。



- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 ▶ 「静止画サイズ」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。
- ④ ✕ をタッチする。

MEMO

- 静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を設定できます(174)。

■ ドライブモードを選択する

カメラ 再生 静止画撮影 動画撮影 MXF MP4 4K HD

静止画カメラモード時のドライブモードを選びます。

- 1枚撮影 : 1回PHOTOボタンを押すと1枚静止画を撮影する。
- 📷 連続撮影 : PHOTOボタンを押しているあいだ、連続して静止画を撮影する。1枚目の静止画でピントが固定される。1秒間に約3.8枚の連続撮影を行うことができる。
- 📷 AF連続撮影 : PHOTOボタンを押しているあいだ、ピントを合わせながら連続して静止画を撮影する。



- ① [FUNC.] ▶ □ (ドライブモード) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
- ③ ✕ をタッチする。

MEMO

- AF連続撮影に設定している場合、撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置などによっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなったりすることがあります。
- PHOTOボタンから指を離れた時に、連続撮影は終了します。

■ ブラウザーリモートで撮影する

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで撮影できます。また、ライブビューを使えば、ネットワークに接続した機器の画面で画角を確認することもできます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいください（[143](#)）。画面の詳細については[157](#)ページをご覧ください。



1 ライブビュー映像を表示する

- ① LIVE VIEW ON/OFF（ライブビュー）ボタンを押す
 - ライブビュー映像が表示される。



例：動画撮影の場合

2 撮影を行う

動画を撮影するとき

- ① START/STOP（スタートストップ）ボタンを押す。
 - 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わり、START/STOP（スタートストップ）ボタン中央の●が赤色に変わる。
 - タイムコードはビデオカメラ本体と同様に表示される。
- ② 再度、START/STOP（スタートストップ）ボタンを押して撮影を終える。
 - 撮影状態表示が「STBY」に変わる。

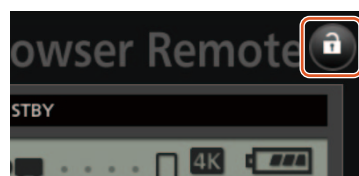
静止画を撮影するとき

PHOTOボタンを押すと、静止画が撮影される。

操作をロックする

ブラウザーリモート画面右上の  ボタンを押すとブラウザーリモートのすべての操作をロックすることができます*。  を押すと、ロックは解除されます。

* このとき、本体側の操作はロックされません。



■ 撮影時の画面表示

カメラ 再生 FUNC. MP4 4K HD

カメラモード時に表示される情報です。[FUNC.]メニュー（[113](#)、[163](#)）やメニュー（[166](#)）、撮影モード（[56](#)）の設定状態によって表示が異なります。

動画カメラモードと静止画カメラモードで共通するアイコンについては、動画カメラモード時の画面表示で説明します。

動画カメラモード時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明	📖
M Av Tv P AUTO 1/75 F2.8 ISO160 MF ND 20x STBY	撮影モード	56
0:00:00.00	タイムコード	86
● ■	撮影状況 ●：撮影中 ■：撮影停止中	45
🕒 0 1/2	セルフタイマー 撮影一時停止中の静止画記録のときは📷が表示される。	47 、 106
📷	プレREC	104
👉👉👉	手ブレ補正	83
[FUNC.]	[FUNC.]メニュー	113 、 163

画面左

アイコン／表示	説明	📖
F0.0	絞り	56 、 58
1/0000	シャッタースピード	56 、 59

アイコン／表示	説明	📖
±0/0	AEシフト	67
*	EXPロック	65
ISO00000 00dB	ISO/ゲイン	56
[ISO] [GAIN]	オートISOリミット／AGCリミット	63
[AF] MF 00m	フォーカス	75
👤	フェイスキャッチ&追尾	81
☀️ 🌧️ 🌫️ 🌫️	ホワイトバランス	69
🌸🌸🌸🌸 🌸🌸🌸🌸	ルック	72
PEAK PEAK	ピーキング	79
ND	NDフィルター	166
☐ [A] ☐	測光方式	68
70 100	ゼブラ	84
20x	デジタルテレコン	74
📷	ローリングシャッターひずみ軽減	167
STBY➡️ REC➡️	記録コマンド	172

アイコン／表示	説明	📖
	GPS信号の受信状態GPSレシーバー GP-E2接続中、衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。	100
	ブラウザーリモートアクセスポイントとして動作中は、画面に が白色で表示され、ブラウザーリモート起動中、終了中はアイコンが黄色になる。	153
	露出バー	57

画面中央

アイコン／表示	説明	📖
	リモコンセンサー 切	42
	マーカー表示	84
	顔検出枠	81
	タッチ追尾枠	81

画面右

アイコン／表示	説明	📖
	バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安。（赤色）は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。	—
	静止画記録。カードエラーのときは （赤色）が出る。	47
	動画の記録先、記録可能時間（時、分）。メモリーカードに空きがなくなると、「 END」（赤色）または「 END」（赤色）が出て、記録を停止する。	—
	ズームバー	74
	録画モード	54

アイコン／表示	説明	📖
	ファイルフォーマット	—
	オーディオシーン	89
	内蔵マイクウィンドカット	92
	内蔵マイクアッテネーター、MICアッテネーター	93, 95
	音声リミッター	97
	音声コンプレッサー	98
	レベルメーター	91

画面下部

アイコン／表示	説明	📖
	動画形式	54
	高温警告内部温度が上昇すると（黄色）が、本機を使い続けてさらに上昇すると（赤色）が表示される。	183
	ファン	53
	スロー&ファストモーション記録	102

静止画カメラモード時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明	
	セルフタイマー	106

画面左

アイコン／表示	説明	
	ホワイトバランス	69
	ルック	72
	測光方式	68
	ドライブモード	48
	ポジション検出	107

画面右

アイコン／表示	説明	
	静止画記録先、記録可能枚数	46
	ストロボ ストロボ設定 ▶ 「調光補正」で補正量を調整したときは、補正量の値が表示される。	109
	手ブレ警告 画面にが出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。	—

画面下部

アイコン／表示	説明	
	静止画サイズ	48
	インターバル記録	105
	PHOTOボタンを半押しした時に、動作によって●の点灯/点滅、色が変わる。 緑色：点灯 ● AF時：ピント、露出をロックしている ● MF時：露出をロックしている 黄色：点滅 ● ピントが合っていない AF時にピントが合った状態でズーム操作をすると、緑色点灯から黄色点滅に変わる。 白色：点滅 ● ピントを合わせている動作中。	—
	拡大表示	80

MEMO

- DISP.(ディスプレイ)ボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。

全表示 ▶ マーカーのみ表示* ▶ 全消去

* マーカー表示 (84) を有効にしているときのみ。

冷却ファンの動作方法を選ぶ

カメラ 再生 再生 再生 MXF MP4 4K HD

本機内部の熱を排出する冷却ファンの動作方法を選びます。初期設定では、「ON 入」に設定されています。

- A オート**：冷却ファンは、撮影停止中に回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面にFANが出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

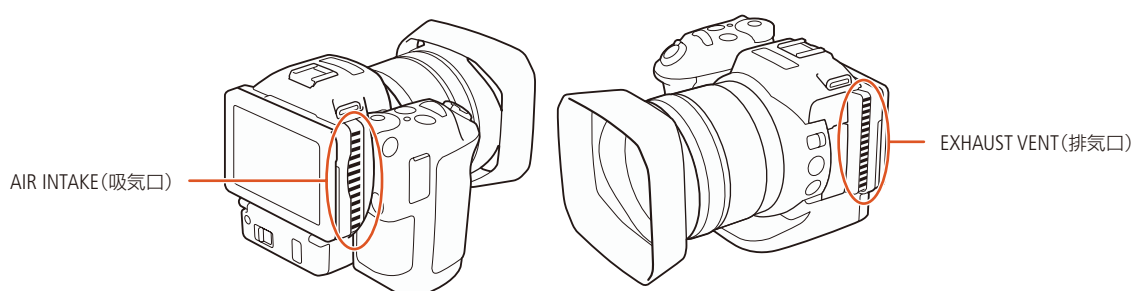
ON 入：冷却ファンは常に回転する。通常はこの設定を使用する。



- ① MENUボタンを押す。
- ② **F1** システム設定 ▶ 「ファン」をタッチする。
- ③ 「**A** オート」または「**ON** 入」▶ **X**をタッチする。

！ ご注意

- 冷却ファンが回転しているとき、EXHAUST VENT (排気口) から暖かい空気が排出されます。
- 内蔵冷却ファンの吸排気口をテープなどで塞がないでください。



映像の信号形式を選ぶ

カメラ 再生 映像 画像 MXF MP4 4K HD

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、ビットレート、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。

記録信号形式一覧

動画形式	録画モード（フレームレート／ビットレート）	解像度
MXF 4K動画	29.97P 29.97P / 305 Mbps	3840×2160
	29.97P 29.97P / 205 Mbps	
	23.98P 23.98P / 305 Mbps	
	23.98P 23.98P / 205 Mbps	
MXF HD動画	59.94P 59.94P / 50 Mbps	1920×1080
	59.94i 59.94i / 35 Mbps	
	29.97P 29.97P / 35 Mbps	
	23.98P 23.98P / 35 Mbps	
MP4 HD動画	59.94P 59.94P / 35 Mbps	
	29.97P 29.97P / 35 Mbps	
	23.98P 23.98P / 35 Mbps	

動画形式を設定する



1 「動画形式」を選ぶ

- ① 画面の **MXF 4K**、**MXF HD**または**MP4 HD**をタッチする。
 - MENU ▶ 1 記録設定 ▶ 「動画形式」でも設定できる。
- ② 4K動画 (MXF) を撮影するときは「**MXF 4K動画**」を、HD動画 (MXF) を撮影するときは「**MXF HD動画**」、HD動画 (MP4) を撮影するときは「**MP4 HD動画**」をタッチする。
- ③ ◀または✕をタッチする。

録画モードを設定する



1 「録画モード」を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 記録設定 ▶ 「**MXF 4K録画モード**」、「**MXF HD録画モード**」または「**MP4 HD録画モード**」で録画モードをタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。
- ④ ✕をタッチする。

MEMO

- HDMI OUT端子からの信号については、「出力信号形式」(132) をご覧ください。
- 「**MXF 4K動画**」設定時、カメラ設定 ▶ 「Rolling Shutterひずみ軽減」で「入」を選ぶと、ローリングシャッターひずみを軽減できます(167)。

MP4クリップについて

記録されるMP4クリップには、「100-0001」のような番号（ファイル番号）を含むクリップ名（上4文字：MVI_、下4桁：MP4動画固有の番号）が自動的に付けられます。番号の付けかたを選ぶこともできます（[📖 169](#)）。

- MP4クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は、次のいずれかの条件に達すると分割して記録されます（本機で再生したときは、連続して再生されます）。分割されたファイルは、Data Import Utilityを使ってパソコンに取り込むと、結合できます（[📖 139](#)）。
 - ファイルサイズが約4 GB。
 - フレームレートが59.94Pで、記録時間が約29分50秒。
 - フレームレートが59.94P以外で、記録時間が約59分50秒。
- 1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に停止します。

撮影モードを切り換える

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD

撮影モードを切り換えることで、絞りやシャッタースピード、ISO/ゲインの数値を好みに合わせて設定したり、撮影シーンに合わせて設定を変えたりするなど、さまざまな撮影ができます。

各撮影モードで使える機能については「[FUNC.メニュー一覧](#)」([163](#))をご覧ください。

M(マニュアル露出)

絞り、シャッタースピード、ISO /ゲインを自由に設定できます*。

* 静止画カメラモード時はISO固定となります。



1 モードダイヤルをMにする ([163](#))

静止画カメラモード時は、操作3に進む。

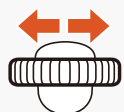
2 動画カメラモード時 ISOまたはゲインを設定する

- ① MENUボタンを押す。
- ②  2 カメラ設定 ▶ 「ISO / ゲイン」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。
- ④  をタッチ ▶ 操作3の②に進む。



3 設定する項目を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ②  3 システム設定* ▶ 「電子ダイヤル」をタッチして、電子ダイヤルで設定する項目を選ぶ。
* 静止画カメラモード時は、 2 システム設定。
- ③  をタッチする。
● 選んだ項目はオレンジ色で表示される。



4 電子ダイヤルを回して、絞り、シャッタースピード、ISO /ゲインの数値を設定する

設定可能な値

	刻み幅	動画	静止画
絞り	動画：1/4段 静止画：1/3段	F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、 F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、 F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11	F2.8、F3.2、F3.5、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、 F6.3、F7.1、F8.0、F9.0、F10、F11

	刻み幅	動画	静止画
シャッター スピード	動画：1/4段 静止画：1/3段	1/2、1/3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/9、1/10、1/12、 1/15、1/17、1/20、1/24、1/25、1/30、1/34、 1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、 1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、 1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、 1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000	0*5* ¹ 、0*4* ¹ 、0*3* ¹ 、1/4、1/5、1/6、1/8、 1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、 1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、 1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、 1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、 1/1600、1/2000
ISO* ²	1/3段	ISO160、ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、 ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500、ISO3200、ISO4000、ISO5000、ISO6400、 ISO8000、ISO10000、ISO12800、ISO16000、ISO20000	
ゲイン* ²	ノーマル* ³ 1.5 dB	0.0dB、1.5dB、3.0dB、4.5dB、6.0dB、 7.5dB、9.0dB、10.5dB、12.0dB、13.5dB、 15.0dB、16.5dB、18.0dB、19.5dB、 21.0dB、22.5dB、24.0dB、25.5dB、 27.0dB、28.5dB、30.0dB、31.5dB、 33.0dB、34.5dB、36.0dB、37.5dB、 39.0dB、40.5dB、42.0dB	—
	ファイン* ³ 0.5 dB	0.0 ～ 42.0dB	—

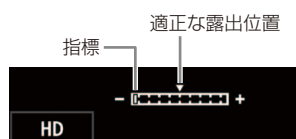
*¹ 0*5は0.5秒、0*4は0.4秒、0*3は0.3秒を表しています。

*² Slow & Fastモーションで「x1/4」(スロー記録)([□ 102](#))を設定しているときや、ルック([□ 72](#))で「Wide DR」または「Canon Log」を設定しているときは、下限値が9.0dB(ファイン時8.5dB)またはISO500に設定されます。

Slow & Fastモーションで「x1/4」(スロー記録)かつ、ルックで「Wide DR」または「Canon Log」を設定しているときは、下限値が18.0dB(ファイン時17.0dB)またはISO1250に設定されます。

*³ [■ 2](#) カメラ設定 ▶ 「ゲインステップ」で設定できます。

露出バー



撮影モードが**M**のときは、画面に露出バー*が表示され、現在の露出位置を指標で確認できます。

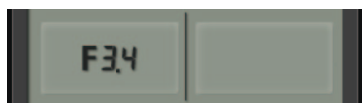
* 1/2段の刻み幅で-2段～+2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行ってください([□ 153](#))。

F値を選んで調整する

例：絞り



- ① 設定したい項目のボタンをタッチする
 - 選択可能な値が表示される。
- ② いずれかを選ぶ
 - 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

IRISボタンで調整する



- ① IRISの－ボタンまたは＋ボタンを押して調整する。
動画
IRIS－ボタンを押すと、絞りを約1/4段刻みで絞る。
IRIS＋ボタンを押すと、絞りを約1/4段刻みで開く。
静止画
IRIS－ボタンを押すと、絞りを約1/3段刻みで絞る。
IRIS＋ボタンを押すと、絞りを約1/3段刻みで開く。

ISO/ゲイン切り換えボタンで調整する



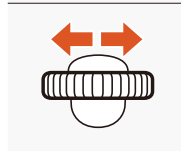
- ① ISO/ゲイン切り換えボタンをタッチする。
- ② ISOまたはGain(ゲイン)をタッチする。
- ③ ISO/ゲイン値ボタンをタッチする。
 - 選択可能な値が表示される。
- ④ いずれかを選ぶ。
 - 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

■ Av (絞り優先AE)

被写体の明るさに応じて絞りを調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。



1 モードダイヤルをAvにする (27)



2 電子ダイヤルを回して、絞りの数値を設定する

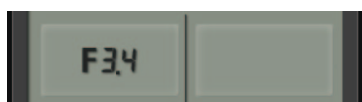
- [FUNC.]で項目を選んで (113)、メーターを左右にドラッグしても設定できる。
- 設定可能な値 参考 ▶▶ (56)

MEMO

- 被写体の明るさによっては適正露出に制御できず、絞り値が点滅します。そのときは絞り値を調整してください。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行ってください（[153](#)）。



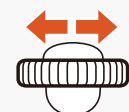
- ① F値ボタンを押す
 - 選択可能な値が表示される。
- ② いずれかを選ぶ
 - 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

■ Tv（シャッター優先AE）

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。



1 モードダイヤルをTvにする（[27](#)）



2 電子ダイヤルを回して、シャッタースピードの数値を設定する

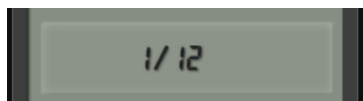
- [FUNC.]で項目を選んで（[113](#)）、メーターを左右にドラッグしても設定できる。
- 設定可能な値 [参考](#) ▶（[56](#)）

MEMO

- 被写体の明るさによっては適正露出に制御できず、シャッタースピードが点滅します。そのときはシャッタースピードを調整してください。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行ってください（[153](#)）。



- ① シャッタースピードボタンを押す
 - 選択可能な値が表示される。
- ② いずれかを選ぶ
 - 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

■ P（プログラムAE）

絞り、シャッタースピード、ISO/ゲインを自動で設定します



- 1 モードダイヤルをPにする（[27](#)）

■ AUTO（オートモード）

ビデオカメラにおまかせで撮影できます。



- 1 モードダイヤルをAUTOにする（[27](#)）

■ SCN(シーンモード)

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

	1 モードダイヤルをSCNにする (27)
	2 シーンモードを選ぶ ① FUNC. >  (シーンモード) > をタッチする。 ② いずれかをタッチする。 
	3 Xをタッチする

シーンモードで選べる項目

 ポートレート 背景をぼかして、被写体を引き立たせる。		 スポーツ 動きの速い被写体を撮る。	
 夜景 夜景をきれいに撮る。		 スノー 照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。	
 ビーチ 照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。		 夕焼け 夕焼けを色鮮やかに撮る。	
 ローライト 暗い場所で被写体を明るく撮る。		 スポットライト スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。	
 打上げ花火 打上げ花火をきれいに撮る。			

MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
 - 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
 - 画面に白い点などが出る場合があります。
 - 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください( 75)。
- 「ローライト」や「打上げ花火」を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

ISO感度やゲインのリミットを設定する (オートISOリミット／AGCリミット)

カメラ 再生 静止画撮影 MXF MP4 4K HD

被写体の明るさに応じて映像アンプのISO感度やゲインの上限を設定できます。上限を設定することにより、ノイズの上昇を抑えた撮影ができたり、暗い雰囲気を残したままの撮影ができたりします。撮影モードが、**P**、**Tv**、**Av**のときに使用できます。

	1 MENUボタンを押す。 静止画カメラモードのときは、操作4に進む。	
	2 2 カメラ設定 ▶ 「ISO / ゲイン」で「ISO」または「ゲイン」を選ぶ	
	3 3 をタッチする	
 	4 「ISO」を選んだとき 1 カメラ設定 ▶ 「オートISOリミット」をタッチする 「ゲイン」を選んだとき 1 カメラ設定 ▶ 「AGCリミット」をタッチする 静止画カメラモード時 1 カメラ設定 ▶ 「オートISOリミット」をタッチする	 




5 上限を設定するとき ISO または GAIN をタッチする

- メーターが表示される。



6 上限を選ぶ

- メーターを左右にドラッグして上限を選ぶ。ジョイスティックで操作するときは、操作5のあと、ジョイスティックを下に押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。

上限を解除するとき
A（オート）をタッチする。

7 **×**をタッチする

- 上限を設定しているときはISOまたはGAINが画面に表示される。

設定可能な値

	ISO/dB*1	設定範囲	刻み幅
動画	ISO	ISO160、ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500*2、ISO3200*2、ISO4000*2	1/3段
	dB	0.0dB、1.5dB、3.0dB、4.5dB、6.0dB、7.5dB、9.0dB、10.5dB、12.0dB、13.5dB、15.0dB、16.5dB、18.0dB、19.5dB、21.0dB、22.5dB、24.0dB、25.5dB、27.0dB、28.5dB	1.5 dB
静止画	ISO	ISO160、ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000	1/3段

*1 Slow & Fastモーションで「x1/4」（スロー記録）（[102](#)）を設定しているときや、ルックで「Wide DR」または「Canon Log」を設定しているときは、下限値が9.0dBまたはISO500に設定されます。

Slow & Fastモーションで「x1/4」（スロー記録）かつ、ルックで「Wide DR」または「Canon Log」を設定しているときは、下限値が18.0dBまたはISO1250に設定されます。

*2 動画カメラモード時、ISO2500、ISO3200、ISO4000に設定して静止画カメラモードに切り換えると、設定値はISO2000に変わります。

明るさを調整する

カメラ 再生



MXF MP4

4K

HD

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。撮影モードを**AUTO**（オートモード）や**M**（マニュアル露出）、**SCN***に設定しているときは使用できません。

* EXPロックとタッチ露出は**SCN**の「打上げ花火」以外で使用できます。

■ 露出を固定する（EXPロック）

現在の露出で固定します。

FUNC. ✱	1 FUNC. ▶ ✱ (EXPロック)をタッチする	
M	2 露出を調整する ① M をタッチする。 ● メーターが表示される。 ② メーターを左右にドラッグして選ぶ。 ● ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを下に押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。 ● 調整後の明るさで固定される。 ● 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。 自動の露出調整に戻すとき M をタッチする。	
✕	3 ✕をタッチする ● 露出固定中は、✱が、露出を調整したときは✱、  、露出の調整値が画面に出る。	

ブラウザーリモートで調整する



- ① 「★」を押す
 - ボタン上の「★」の下にバーがオレンジになる。
- ② 露出調整値ボタンを押す
 - 選択可能な値が表示される。
- ③ いずれかを選ぶ
 - 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

■ タッチした被写体に自動的に露出を合わせる（タッチ露出）

タッチした部分を重点的に測光し、露出調整を行い固定します。「ハイライト」を選択すると、タッチした部分が明るくなりすぎないように補正するので、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影できます。

FUNC. ★	1 FUNC. ▶ ★ (EXPロック)をタッチする	
	2 露出を調整する 画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。 ● タッチした場所に★が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。 ● MボタンがONになりメーターが表示される。 ● メーターを左右にドラッグしてさらに調整することもできる。ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを下に押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。	

✕

3

ハイトライトAEを使うとき
 ▶ 「ハイトライト」をタッチする。



✕

3

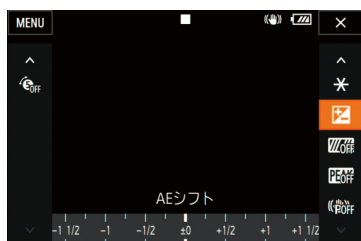
 ▶ ✕をタッチする

- 露出固定中は、✱が、露出を調整したときは✱、、露出の調整値が画面に出る。

■ 露出を調整する (AEシフト)

AEによって自動的に決められる露出を意図的に補正して、明るめや暗めに撮影できます。補正量は-2段～+2段までの範囲で、設定できる値は以下の通りです。

動画： -2、-1 3/4、-1 1/2、-1 1/4、-1、-3/4、-1/2、-1/4、±0、+1/4、+1/2、+3/4、+1、+1 1/4、+1 1/2、+1 3/4、+2
 静止画： -2、-1 2/3、-1 1/3、-1、-2/3、-1/3、±0、+1/3、+2/3、+1、+1 1/3、+1 2/3、+2



- ① **[FUNC.]** ▶  (AEシフト)をタッチする。
- ② メーターを左右にドラッグして値を選ぶ。
- ③ ✕をタッチする
 - 画面にと補正値が表示される。

MEMO

- EXPロックまたはタッチ露出が**M**のときは、AEシフトを設定できません。

明るさの調整のしかたを選ぶ（測光方式）

カメラ 再生 音声 映像 MXF MP4 4K HD

撮影シーンに合わせて測光方式を選びます。撮影モードが、**P**、**Tv**、**Av**のときに使用できます。

動画カメラモード時

- [] スタンダード : 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
- [A] スポットライト : スポットの明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。
- [☞] バックライト : 逆光時の暗部をより明るく制御する。

静止画カメラモード時

- [E] 評価 : 普段の撮影に適している。
- [] 中央部重点平均 : 中央の被写体を適正露出に制御する。
- [] スポット : 範囲の狭い、中央の被写体を適正露出に制御する。

FUNC. [] [E]	1 測光方式を選ぶ 動画カメラモード時 FUNC. > [] (測光方式) をタッチする。 静止画カメラモード時 FUNC. > [E] (測光方式) をタッチする。	
×	2 ×をタッチする	

ホワイトバランスを調整する

カメラ 再生 撮影 4K HD

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。動画カメラモード時「ショックレスWB」(167)を「ON」に入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します。

AWB オート	通常は AWB （オート）*1を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
ストロボ	ストロボを使用するときに選択*2。
K 色温度	2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
セット1 セット2	実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

*1 AWBはオート ホワイト バランス

*2 静止画カメラモード時

ホワイトバランスを選ぶ

FUNC.

1 ホワイトバランスを選ぶ

- ① **FUNC.** ▶ **AWB**（ホワイトバランス）をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
 - 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

K（色温度）を選んだとき

- ③ ▶ メーターを左右にドラッグして色温度を調整する。



-  (セット1) または  (セット2) を選んだとき
- ③ グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写す。
- ④  > 「白取り込み」をタッチする。
-  (セット) が点滅 > 消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。



2 Xをタッチする

MEMO

-  (セット1) または  (セット2) を選んで調整するとき
 - 場所や明るさが変わったときや、「NDフィルター」([166](#))の設定を切り換えたときは再調整してください。
 - 光によっては、ごくまれに  (セット) が点滅 > 消灯に変わらないことがあります。自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

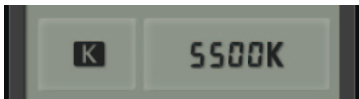
AWB (オート) でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば  (セット1) または  (セット2) で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。
- 蛍光灯の種類によっては、 (蛍光灯) や  (蛍光灯H) を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB (オート) または  (セット1) または  (セット2) を選んでください。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（[153](#)）。



1 ホワイトバランスの調整方法を選ぶ

- ① ホワイトバランスの調整方法を押す。
- ② いずれかを選ぶ。

「K (色温度)」を選んだとき 色温度を設定する

- ① 色温度の値を押す。
 - 選択可能な色温度が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。
 - 選んだ色温度が決定され、ブラウザーリモートの画面に表示される。

「1 (セット1)または2 (セット2)」を選んだとき 基準白色を取り込んで、登録する

- ① グレーカードや白い無地の被写体をビデオカメラの画面いっぱいにし、「1」を押す。
 - 「1」または「2」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

好みの画質にする（ルック）

カメラ 再生 設定 撮影 モード 設定 設定 設定 設定 設定

シャープネス、コントラスト、色の濃さを調整して撮影することができます。撮影モードが**AUTO**と**SCN**以外のときに設定できます。あらかじめ動画に5個、静止画に6個のルックがプリセットされています。プリセットのルックをベースにして、好みに合わせて調整することもできます。

選択可能なルック

動画	🌟1スタンダード	動画の基準画質設定です
	🌟2EOS Std.	EOSのピクチャースタイル「スタンダード」の鮮やかでくっきりとした画質を再現
	🌟3Wide DR	広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現に
	🌟4Cinema EOS Std.	Cinema EOS に似た映像表現
	🌟5Canon Log	ダイナミックレンジが広く、ポスト処理に適した色調の映像に
	🌟ユーザー設定1、🌟ユーザー設定2	ベースのルックを登録し好みにあわせて調整できます
静止画	🌟Sスタンダード	静止画の基準画質設定です
	🌟Pポートレート	人物の肌の色を、透明感ある健康的な表現に
	🌟L風景	空の青や木々の緑などを鮮烈な印象で再現
	🌟Nニュートラル	被写体のディテールを豊かに残し、画像加工にも適した画質
	🌟Seセピア	セピアになります
	🌟Mモノクロ	白黒になります
	🌟ユーザー設定1、🌟ユーザー設定2	ベースのルックを登録し好みにあわせて調整できます

撮影

ルックを設定する

1 ルックを選んで調整する

- ① **[FUNC.]** ➤ 🌟1（ルック）*をタッチする。
* 静止画カメラモード時は🌟S（ルック）
- ② いずれかのルックをタッチする。
- ③ 「Canon Log」以外を設定したときは、**[設定]**をタッチして詳細設定が可能。
- ④ **[X]**をタッチする



設定項目	設定値	内容
シャープネス	0 ～ 7	輪郭強調の強さを調整する。0：控えめ 7：強め
コントラスト*1	-4 ～ +4	明暗差を調整する。-4：明暗差・弱 +4：明暗差・強
色の濃さ*2	-4 ～ +4	色の濃さを調整する。-4：薄い +4：濃い

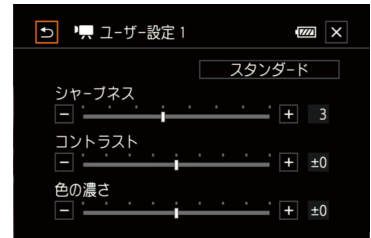
*1 Wide DR以外で設定可能。

*2 セピア、モノクロ以外で設定可能。

「ユーザー設定」のとき

プリセットされたルックをベースとして登録し、好みに合わせて調整する。

- ①  ▶ 「スタンダード」をタッチする。登録するルックを選ぶ。
 - 「ユーザー設定」の「テンプレート選択」で「Canon Log」を選択したときは、シャープネス、コントラスト、色の濃さの詳細設定を変更することはできない。
- ② 「はい」 ▶  をタッチする。
 - 詳細設定画面が表示されるので好みに合わせて調整する。



ズームを操作する

カメラ

再生

📺

📷

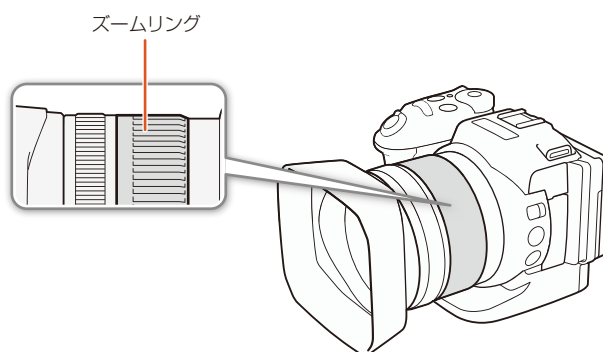
MXF

MP4

4K

HD

ズームリングを操作して、光学で10倍までズームできます。



■ ズームリングで操作する



ズームリングを回してズームを調整します。

MEMO

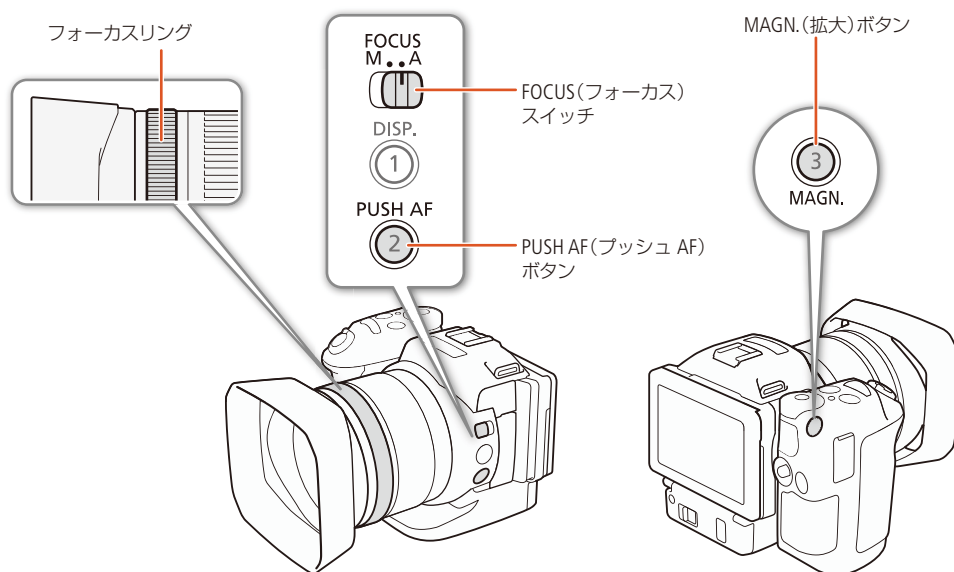
- ズームリングをすばやく操作すると、フォーカスの調整が追いつかなくなることがあります。このとき、ズームリングの操作終了より遅れてピントが合います。
- アサインボタンに「 デジタルテレコン」を割り当てたり(📖 114)、システム設定 ▶ 「 [FUNC.] カスタマイズ」で「デジタルテレコン」(📖 163)を割り当てたりすると、焦点距離を2倍にして撮影できます*。

* 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。

フォーカスを調整する

フォーカス調整のしかたには、次の3種類があります。マニュアルフォーカスで調整中は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。

- オートフォーカス (AF) : 常にフォーカスを自動調整する。フォーカスリング操作（回転端なし）も有効。
- マニュアルフォーカス (MF) : フォーカスリングを回すか、**[FUNC.]** でフォーカスを調整する。ブラウザーリモートでもフォーカスを調整できる。
- PUSH AF (プッシュ AF) : マニュアルフォーカス使用時に、PUSH AFボタンを押している間だけフォーカスを自動調整する。



■ オートフォーカス (AF) で調整する

カメラ 再生 再生 再生 MXF MP4 4K HD

TTL方式のオートフォーカスとなり、ファインダーの中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。8cm（ワイド端のとき、レンズ先端から）～∞（無限遠）まで自動的にピント合わせが可能です。オートフォーカス中でもフォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。



1 FOCUSスイッチをAにする

- 画面に **[AF]** が表示される。

静止画カメラモード時のフォーカスの調整方法を選ぶ

カメラ 再生 設定 撮影 [FUNC.] [MXF] [MP4] [4K] [HD]

静止画カメラモード時、PHOTOボタンを浅く押したときに行われるピント合わせの方式を[FUNC.]メニューで選べます。また、設定に応じて、ピントを合わせるときに表示されるAF枠の表示のしかたが変わります。

1 「フォーカス優先」を選ぶ

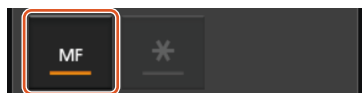
- ① [FUNC.] > 「[AF] フォーカス優先」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする
 - [OFF] 切： PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。AF枠は表示されない。
 - [AIAF] AiAF： 撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせるAF枠を選ぶ。
 - [AF] 中央固定： 画面中央にAF枠が1つ表示され、枠内の被写体にピントを合わせる。ねらった被写体にピントを合わせたまま構図を変えることができる。



2 ×をタッチする

ブラウザーリモートで操作する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行ってください（[153](#)）。ブラウザーリモートでは、本体の設定に関係なく、オートフォーカス（AF）とマニュアルフォーカス（MF）を切り換えられます。



- ① 「MF」を押して、オートフォーカス（AF）とマニュアルフォーカス（MF）を切り換える。
 - オートフォーカスにすると、ボタン上の「MF」の下バーが灰色になる。

MEMO

- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます（被写体が小さく撮影されるため）。このときは、カメラ設定の「NDフィルター」（[166](#)）を「ON」にしてください。
- 録画モードを29.97Pまたは23.98Pに設定していると、59.94Pまたは59.94iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- カメラ設定の「AFスピード」で、オートフォーカス（AF）時のピントの合わせの速度を変更できます（[167](#)）。ただし、シャッタースピードが遅くなるほど、「AFスピード」の設定によるピント合わせの速度の違いは小さくなります。

「フォーカス優先」について

- [FUNC.]の「ドライブモード」で「[AF] AF連続撮影」に設定しているときは、「[AF] 中央固定」となります。
- 撮影モードのSCNで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。

- 撮影モードが**AUTO**のときは、自動的に「AiAF」になります。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているときは検出した顔にピントを合わせます。
- シャッタースピードが1/8未満のときは、PHOTOボタンを浅く押してもオートフォーカスでピント合わせを行わず、AF枠や●は黄色で表示されます。

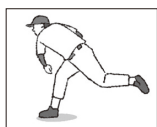
オートフォーカス／ブッシュ AFでピントが合いにくいとき



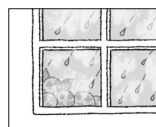
強い光が反射



画面中央に
明暗差がない



動きが速い



水滴が付いた
ガラス越しの撮影



夜景

マニュアルフォーカスで調整する

カメラ 再生 再生 再生 MXF MP4 4K HD

フォーカスリングで調整する

フォーカスリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。



1 FOCUSスイッチをMにする

- 画面にMFが表示される。



2 フォーカスリングを回してピントを合わせる

MEMO

- フォーカスリングの操作方向と感度を、カメラ設定の「フォーカスリング操作方向」および「フォーカスリング感度」でそれぞれ設定できます(167)。

FUNC. で操作する



1 FUNC. に「フォーカス」を割り当てる

- ① MENUボタンを押す。
 - ② システム設定 > 「 FUNC. カスタマイズ」 * > 「 フォーカス」をタッチする。
- * 静止画カメラモード時は「 FUNC. カスタマイズ」



2 ピントを合わせる

- ① FUNC. > (フォーカス) をタッチする。
- ② 液晶画面上の、ピントを合わせたい被写体をタッチすると、タッチした場所にピントが点滅する。ピントが自動で調整された後にマニュアルフォーカスになる。

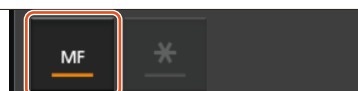
ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいください(153)。



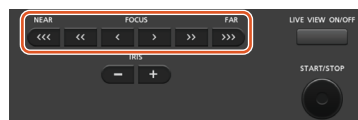
1 「MF」を押して、フォーカスモードをマニュアル (MF) にする

- マニュアルにすると、ボタン上の「MF」の下の子がオレンジ色になる。



2 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる

- NEARのボタン (< , << , <<<) を押すと至近方向に調整し、FARのボタン (> , >> , >>>) を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、 < / > は小、 << / >> は中、 <<< / >>> は大です。



被写体との距離情報について

数値：有限距離
∞：無限

フォーカスリング操作中は、被写体との距離情報が画面に数秒間表示されますので、目安として使用できます。距離の単位 (m / ft) は、**4** システム設定* > 「距離単位」で設定できます ([173](#))。

* 静止画カメラモード時は **3** システム設定

MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、ピーキング (輪郭強調) 表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。また、画面を白黒に変えて輪郭につける色 (ピーキング色) をさらに強調することもできます。なお、色は「レッド」、「ブルー」、「イエロー」の3色から選ぶことができます。

ピーキング

FUNC.	1 ピーキングを選ぶ FUNC. > PEAKING (ピーキング) をタッチする。	
PEAK	2 ピーキング色を表示する PEAK をタッチする。 ● ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。 ピーキングを使わないとき PEAKING をタッチする。	

	3 ピーキング色を選ぶ  ▶ いずれかをタッチする。 ● 「ピーキング時白黒」を「入」にしたとき画面が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。	
	4 ✕をタッチする	

拡大表示

	1 MAGN.(拡大)ボタンを押す [FUNC.] ▶ MAGN.「拡大表示」▶「実行」でも設定できる。 ● 画面に MAGN.が表示され、画面の中心部が約2倍*に拡大される。 * 倍率は記録信号形式の解像度によって異なる。 ● 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。	
	2 必要に応じて拡大位置を移動させる 画面をドラッグ、またはジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。 ● もう一度MAGN.ボタンを押すか、✕をタッチすると拡大表示が解除される。	

MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- カラーバー表示中は拡大表示できません。

2 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき
特定の人物をタッチする。

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき
「解除」をタッチする。



MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「フェイスキャッチ&追尾」を「切」にしてください。
- 撮影モードが **AUTO** のときは、自動的に「フェイスキャッチ&追尾」が「入」になります。
- 被写体の特徴的な部分(色など)をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾が使用できない場合

- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（「**MXF** 4K録画モード」、「**MXF** HD録画モード」または「**MP4** HD録画モード」が23.98Pのときは、1/24秒未満）。
- 撮影モードの**SCN**で「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」を設定しているとき。
- 「Slow & Fastモーション」で「x1/4」を設定しているとき。
- 静止画カメラモード時、「ドライブモード」で「AF連続撮影」を設定しているとき。
- 「Rolling Shutterひずみ軽減」で「入」を設定しているとき。

手ブレ補正を使う

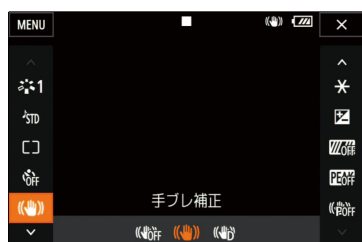
手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の2種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときは、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

- 《標準》スタンダード： 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
- 《ダイナミック》ダイナミック*： 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど補正効果が大きい。
- 《切》切： 三脚などを使って撮影するとき。

* 4K動画撮影、Slow & Fastモーション撮影、静止画カメラモード時のときは設定できません。

手ブレ補正を設定する

カメラ 再生 MXF MP4 4K HD



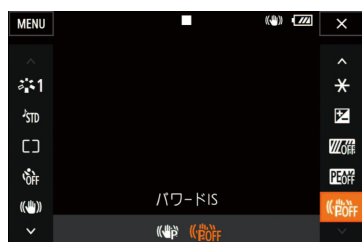
1 手ブレ補正を有効にする

- ① [FUNC.] > 《標準》 (手ブレ補正) をタッチする。
- ② いずれかの補正方式をタッチする。静止画カメラモード時は「入」と「切」になる。
 - 画面に《標準》または《ダイナミック》が表示される。
 - 手ブレ補正を使用しないときは《切》をタッチする。
- ③ X をタッチする。

望遠撮影時の大きな手ブレを抑える (パワードIS)

カメラ 再生 MXF MP4 4K HD

パワードISを使うと、補正方式がパワードISになり、静止して望遠撮影するときの大きな手ブレを抑えることができます。補正効果はズームを望遠側にするほど大きくなります。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向きません。



- ① [FUNC.] > 《標準》 (パワードIS) をタッチする。
- ② 《標準》 をタッチする。
 - 画面に《標準》が表示される。
 - 《標準》 をタッチすると、元の手ブレ補正方式に戻る。
- ③ X をタッチする。



MEMO

- アサインボタンに「パワードIS」を割り当てると、アサインボタンを押して、パワードISの入／切を切り換えることができます(114)。
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ダイナミックIS使用時、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化(ゴースト、ひずみ、暗くなるなど) することがあります。
- 「ダイナミック」設定時と「スタンダード」「切」設定時とでは、撮影画角が変わります。

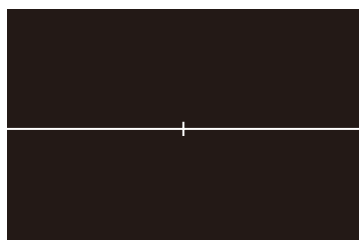
マーカー／ゼブラパターンを表示する

カメラ 再生 音声 撮影 MXF MP4 4K HD

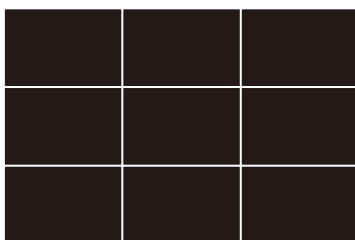
撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

■ マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の2種類のマーカーを表示することができます。表示する色を「白」または「グレー」から選べます。



水平マーカー



グリッド



- ① MENUボタンを押す。
- ② 2 カメラ設定* > 「マーカー表示」をタッチする。
* 静止画カメラモード時は 1 カメラ設定
- ③ いずれかのマーカー表示をタッチする。
- ④ をタッチする。

MEMO

- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます(53)。

■ ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。

ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



- ① [FUNC.] ▶ [70%] (ゼブラ) をタッチする。
- ② 「[70%]」または「[100%]」をタッチする。

ゼブラパターンを表示しないとき
[70%] をタッチする。

- ③ [X] をタッチする。

MEMO

- ゼブラパターンはHDMI OUT端子からは出力されません。

タイムコードを設定する

カメラ 再生 映像 画像 MXF MP4 4K HD

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも重畳されます。タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。また、「録画モード」が「23.98P」以外のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

Rec Run (レックラン)： タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録中、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

Free Run (フリーラン)： タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen. (リジェネ)： タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録中、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

■ カウントアップ方式を選ぶ

カウントアップ方式は、歩進モード(タイムコードモード)で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法(タイムコードラン)で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。



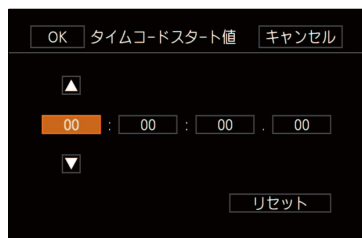
1 歩進モードを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 記録設定 ▶ 「タイムコードモード」をタッチする。
- ③ 「Preset」または「Regen.」をタッチする。
Preset Preset：「タイムコードスタート値」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen. Regen.：記録メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
 ● 「Regen.」を選んだときは、操作4へ進む。
- ④ 戻るボタンをタッチする。



2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① 「タイムコードラン」をタッチする。
- ② 「Rec Run」または「Free Run」 ▶ 戻るボタンをタッチする



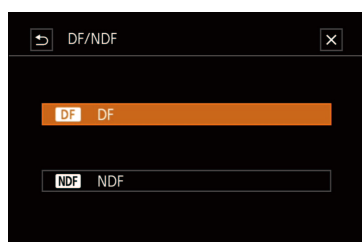
3 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① 「タイムコードスタート値」をタッチする。
 - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
 - 「リセット」をタッチすると、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「FREE RUN Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ② ▲ / ▼ をタッチして数値を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「OK」をタッチする。
 - 「FREE RUN Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

4 ✕ をタッチする

■ ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えることができます。なお、「録画モード」が「23.98P」のときはNDFに固定されます。



- ① MENUボタンを押す。
- ② 記録設定 ▶ 「DF/NDF」を順に選ぶ。
- ③ 「DF DF」または「NDF NDF」を選ぶ ▶ SETを押す。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
 DFのとき 00 : 00 : 00. 00
 NDFのとき 00 : 00 : 00 : 00

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98Pのときは0～23、それ以外は0～29となります。「録画モード」が23.98Pで、HDMI出力が59.94i (P)時、HDMI端子から出力されるタイムコードは0～29に振り直されます。
- 「Slow & Fastモーション」記録のときは、「FREE RUN Free Run」は使用できません。また、プレRECのときは「FREE RUN Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ユーザービットを設定する

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD

8桁の16進数（0～9、A～Fの英数字）をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録メディアに記録されるほか、HDMI OUT端子にも出力できます。ユーザービットには、撮影情報や撮影した映像の管理情報など、記録／出力した映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付（年月日）をユーザービットとして記録／出力することもできます。

■ 任意の16進数を設定する



1 「設定」を選ぶ

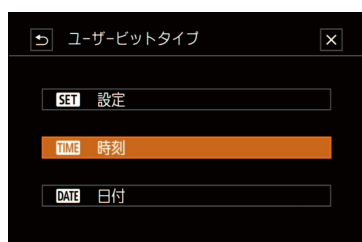
- ① MENUボタンを押す。
- ②  2 記録設定 ▶ 「ユーザービットタイプ」をタッチする。
- ③ 「SET 設定」をタッチする。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」を押す。



2 8桁の任意の16進数を入力する

- ① ▲ / ▼ をタッチして数値を選ぶ。
- ② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ▶ 「OK」をタッチする。
- ③ ✕ をタッチする

■ 時刻または日付を設定する



- ① MENUボタンを押す。
- ②  2 記録設定 ▶ 「ユーザービットタイプ」をタッチする。
- ③ 「TIME 時刻」または「DATE 日付」をタッチする。
- ④ ✕ をタッチする

■ ユーザービットを出力する

設定したユーザービットをHDMI OUT端子から出力します。「録画モード」が23.98Pで撮影する場合、MENU ▶  2 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービット出力モード」を「 プルダウン」にすると、ユーザービットが2：3プルダウン情報になります。

音声を記録する

カメラ

再生

マイク

カメラ

MXF

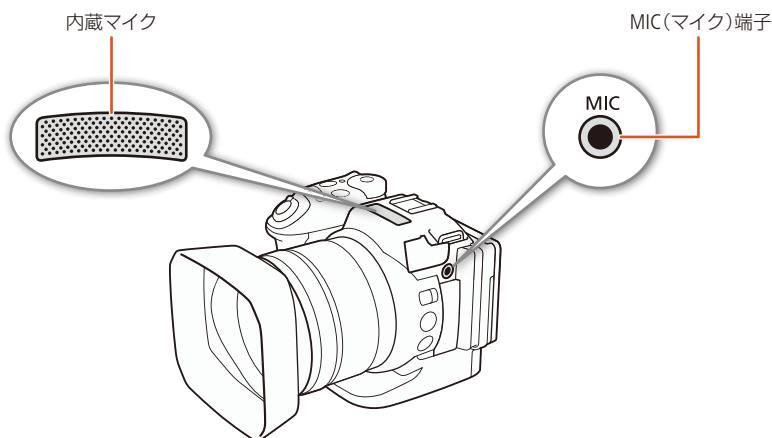
MP4

4K

HD

本機では、2チャンネルのリニアPCM記録方式で、それぞれ音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。収録する音声は、内蔵マイクおよび外部マイク（MIC端子）から選びます。

「Slow & Fastモーション」記録時、音声は記録されません。



撮
影

市販のマイクを使う

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、多くが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。

1 市販のマイクをMIC端子につなぐ



MEMO

- 外部マイクを取り付けているとき、Wi-Fi機能使用時に音にノイズが出ることがあります。なるべく本機から外部マイクを離して使用してください。

場面に合わせて音の設定を選択する（オーディオシーン）

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれる動画を簡単に撮影できます。

1 オーディオシーンを選ぶ

- ① [FUNC.] > (オーディオシーン) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
 - 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。



🎵 スタンダード	カメラまかせの標準的な設定。
🎵 音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
🎵 フェスティバル	屋外での音楽をより自然に録音。屋外での音楽イベントを撮影するとき。
🗣️ スピーチ	声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。
🗣️ ミーティング	複数の声を聴き取りやすく臨場感豊かに録音。会議の様子を撮影するとき。
🌳 森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。
🌬️ ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
🎵 カスタム*	音質を自由に設定するとき。

* MENU ▶ 🎵1 オーディオ設定 ▶ 「内蔵マイクウィンドカット」(📖 92)、「内蔵マイクアッテネーター」(📖 93)、「内蔵マイク周波数特性」(📖 94)、「内蔵マイク指向性」(📖 94)、MENU ▶ 🎵2 オーディオ設定 ▶ 「音声リミッター」(📖 97)、「音声コンプレッサー」(📖 98)で音質を細かく設定できます。

オーディオシーンの各設定一覧

	🎵 スタンダード	🎵 音楽	🎵 フェスティバル	🗣️ スピーチ
マイクレベル	🔊 M マニュアル 70	🔊 M マニュアル 70	🔊 M マニュアル 70	🔊 M マニュアル 86
内蔵マイク ウィンドカット	H オートハイ	L オートロー 🌬️🔊	L オートロー 🌬️🔊	H オートハイ
内蔵マイク アッテネーター	A オート	A オート	A オート	A オート
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル	LHB 低高域強調	NORM ノーマル	MB 中域強調
内蔵マイク指向性	NORM ノーマル	2ch wide ワイド	2ch wide ワイド	2ch mono モノラル
音声リミッター	ON 入	ON 入	ON 入	ON 入
音声コンプレッサー	L ロー	L ロー	L ロー	OFF 切

	🗣️ ミーティング	🌳 森と野鳥	🌬️ ノイズカット	🎵 カスタム
マイクレベル	🔊 M マニュアル 94	🔊 M マニュアル 80	🔊 M マニュアル 70	🔊 A オート/ 🔊 M マニュアル
内蔵マイク ウィンドカット	H オートハイ	H オートハイ	H オートハイ	H オートハイ/ L オートロー 🌬️🔊/ OFF 切 🌬️🔊
内蔵マイク アッテネーター	A オート	A オート	A オート	A オート/ ON 入/ OFF 切

	ミーティング	森と野鳥	ノイズカット	カスタム
内蔵マイク周波数特性	MB 中域強調	LC 低域カット	LC 低域カット	NORM ノーマル/ LB 低域強調/ LC 低域カット/ MB 中域強調/ LHB 低高域強調
内蔵マイク指向性	2ch WIDE ワイド	2ch WIDE ワイド	2ch MONO モノラル	2ch MONO モノラル/ NORM ノーマル/ 2ch WIDE ワイド
音声リミッター	ON 入	ON 入	ON 入	ON 入 / OFF 切
音声コンプレッサー	Hハイ	Lロー	OFF 切	ハイ/ ロー/ OFF 切

MEMO

- 「カスタム」は撮影モードが「**AUTO**」のときは設定できません。「カスタム」に設定したあと撮影モードを「**AUTO**」に切り換えると、オーディオシーンは「**標準**」に戻ります。
- 「音楽」の音の抑揚(大きい音は大きく、小さい音は小さく)をより忠実に記録したいとき、マイクレベルを調整することをおすすめします。
- リニアリティをさらに忠実に再現したいときは、オーディオシーンの「カスタム」で「音楽」と同じ設定にして、「音声コンプレッサー」のみを「切」に設定することをおすすめします。

マイクレベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク (Φ3.5mm)の録音時の音量 (マイクレベル)を手動で調整できます。

1 マニュアル設定にする

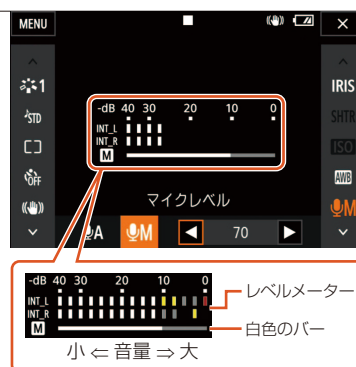
- ① **[FUNC.]** ▶ **MA** (マイクレベル)をタッチする。
- ② **MA**をタッチする。
 - レベルメーターと調整用の◀ / ▶が表示される。



2 マイクレベルを調整する

- ◀または▶をタッチして調整する。
- レベルメーターの表示が-10dBよりも右が時々点灯する状態を目安に調整する。

自動調整に戻すとき
Aをタッチする。



3 Xをタッチする

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、「内蔵マイクアッテネーター」を「入」にしたりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(98)。

■ 内蔵マイクウィンドカットを使う

屋外で撮影するとき、風の影響を受けて発生する、「ポコポコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときには、「切」を選びます。

1 「オーディオシーン」で「カスタム」を選ぶ (89)

2 内蔵マイクウィンドカットを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 オーディオ設定 ▶ 「内蔵マイクウィンドカット」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



Hオートハイ	風の音の低減効果が大きい。低音も軽減する。
Lオートロー 	風の音の低減効果が小さい。低音はほとんど軽減しない。
OFF 切 	風の音や低音を低減しない。

3 Xをタッチする

■ 内蔵マイクのアッテネーターを使う

大音量の音声がひずまないように、内蔵マイクの信号に対しアッテネーター（20 dB）を使用します。

1 「オーディオシーン」で「 カスタム」を選ぶ（[89](#)）

2 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
-  1 オーディオ設定 ▶ 「内蔵マイクアッテネーター」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



A オート	カメラがマイクの音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。
ON 入	常にアッテネーターが働き、音の強弱をより忠実に記録できる。「入」にすると画面に ATT が出る。
OFF 切	常にアッテネーターは働かない。「切」にすると画面に AOFF が出る。

3 Xをタッチする

■ 内蔵マイクの周波数特性を選ぶ

収録する音に合わせて最適特性で音声を記録できます。

1 「オーディオシーン」で「🎵 カスタム」を選ぶ (📖 89)

2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 🎵1 オーディオ設定 ▶ 「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



NORM ノーマル	最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。
LB 低域強調	低域を強調し、迫力ある録音ができる。
LC 低域カット	風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。
MB 中域強調	人の声を中心に録音する。
LHB 低高域強調	コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。

3 ✕をタッチする

■ 内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。

1 「オーディオシーン」で「🎵 カスタム」を選ぶ (📖 89)

2 内蔵マイク指向性を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 オーディオ設定 ▶ 「内蔵マイク指向性」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



 モノラル

マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。

 ノーマル

ワイドとモノラルの中間。標準的なステレオ録音。

 ワイド

音の広がりを強調したステレオ録音。臨場感を出したいときに。

3 Xをタッチする

■ 外部マイクにアッテネーターを使う

外部マイク使用時、MIC端子の信号に対し大音量の音声はひずまないように、アッテネーター（20 dB）を使用します。

1 「MIC端子入力選択」で「マイク」を選ぶ（[96](#)）

2 MICアッテネーターを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 2 オーディオ設定 ▶ 「MICアッテネーター」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



 オート

カメラがマイクの音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。

 入

アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できる。「入」にすると画面に **ATT** が出る。

 切

アッテネーターは常に働かない。「切」にすると画面に **AOFF** が出る。

3 Xをタッチする

MICローカットを使う

外部マイク使用時、屋外で撮影するときには発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

1 「MIC端子入力選択」で「マイク」を選ぶ (96)

2 MICローカットを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 2 オーディオ設定 ▶ 「MICローカット」をタッチする。
- ③ **ON** (入) をタッチする。



3 Xをタッチする

MIC端子の入力信号を選ぶ

MIC端子に入力する信号を選択します。オーディオプレーヤーなどの外部機器か市販の外部マイクかを選択します。

1 MIC端子入力選択を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 2 オーディオ設定 ▶ 「MIC端子入力選択」をタッチする。
- ③ 接続した機器に応じて、いずれかをタッチする。



LINE 外部音源

オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。

MIC マイク

市販の外部マイクを使用するとき。

2 ✕をタッチする

■ 音声リミッター

急に大音量の入力があったときに、音がひずまないように入力レベルを下げる機能です。マイクレベルがマニュアル (📖 91) のときに使用できます。内蔵マイクを使用するときは操作1から、MIC端子を使用しているときは操作2から行います。

1 「オーディオシーン」で「🎵 カスタム」を選ぶ (📖 89)

2 「マイクレベル」で🔊を選ぶ (📖 91)

3 音声リミッターを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 🎵2 オーディオ設定 ▶ 「音声リミッター」をタッチする。
- ③ **ON** (入) をタッチする。



4 ✕をタッチする

■ 音声コンプレッサー

音の強弱を補正することで、大きめの音でも強弱を残しながら、聴き取り易くする機能です。内蔵マイクを使用するときは操作1から、MIC端子を使用しているときは操作2から行います。

1 「オーディオシーン」で「♪ カスタム」を選ぶ (89)

2 音声コンプレッサーを選ぶ

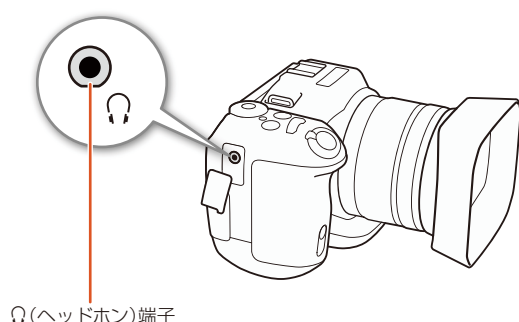
- ① MENUボタンを押す。
- ② ♪2 オーディオ設定 ▶ 「音声コンプレッサー」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



Hハイ	音の強弱をより平坦にして録音。会議など、声の大きさが異なる複数の人を撮影するときに効果的。
Lロー	音の強弱を明瞭に録音。音量が大きめの演奏などを撮影するとき。レベルメーターが一番右端を表示し続けるようなときに効果的。
OFF切	会議や演奏の撮影以外では「切」にする。

3 ✕をタッチする

■ ヘッドホンでモニターする



Φ3.5mmステレオミニプラグのヘッドホンをΩ (ヘッドホン) 端子に接続して、収録される音声をモニターできます。

- ① MENUボタンを押す。
- ② ♪1 オーディオ設定 ▶ 「ヘッドホン音量」をタッチする。
- ③ ΩまたはΩをタッチして音量を調整する。
 - メーターを左右にドラッグしても調整できる。
- ④ ✕をタッチする。
 - 調整した位置で音量が固定される。

カラーバー／テストトーンを記録する

カメラ 再生 記録設定 4K HD MXF MP4

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	HDMI OUT端子*	Ω(ヘッドホン)端子
カラーバー	●	—
テストトーン	●	●

* **MXF** 4K録画モード時、記録されるカラーバーは4K解像度(3840x2160)ですが、HDMI端子から出力されるカラーバーはHD解像度(1920x1080)になります。

カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーのタイプを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 記録設定 ▶ 「カラーバー」をタッチする。
- ③ 「SMPTE」、「ARIB」のいずれかをタッチする。
 - 画面にカラーバーが表示される。

2 Xをタッチする

- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
- 電源を切るか再生モードに切り換えると、自動的に「切」になる。

テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて-12 dB、-18 dB、-20 dBから選ぶことができます。



- ① MENUボタンを押す。
- ② 記録設定 ▶ 「1 kHz トーン」をタッチする。
- ③ 「-12 dB」、「-18 dB」、「-20 dB」、「切」のいずれかをタッチする。
- ④ Xをタッチする。
 - 選択したレベルのテストトーンが出力される。
 - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

GPS情報を記録する

カメラ

再生

📺

📷

MXF

MP4

4K

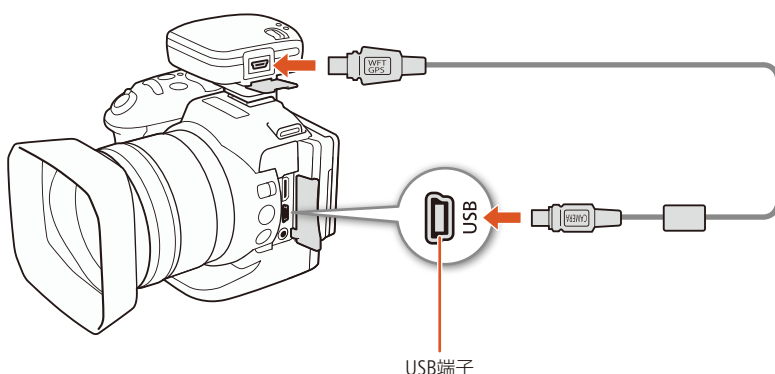
HD

本機のUSB端子(🔌 11)にGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続して撮影すると、クリップまたは静止画にGPSから取得した経度、緯度、標高、協定世界時(UTC)など(以下「GPS情報」)を記録できます*。GPS情報はクリップのメタデータに記録され、Canon XF Utility(🔌 135)で検索に使用することもできます。

* 協定世界時(UTC)はMP4クリップと静止画のみ。

■ GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、GP-E2付属の接続ケーブルを使って本機のUSB端子に接続します。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。



1 GP-E2の電源を切り、本機に接続する

2 GP-E2 電源を入れる

- GPS機能が有効になる。画面に📶が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると📶が点灯し、以降に記録するクリップ/静止画にGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



① MENUボタンを押す。

② 📶 システム設定* ➤ 「GPS自動時刻設定」をタッチする。

* 静止画の場合は📶 システム設定

③ A (自動更新) ➤ Xをタッチする。

- 以降、GP-E2を接続後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- 「GPS自動時刻設定」が「自動更新」の場合、📶 システム設定 ➤ 「日付/時刻」は使用できません。
- ブラウザーリモートを使用中、自動時刻設定は働きません。

GPS情報を表示する

クリップや静止画のGPS情報を表示します。



- ① MENUボタンを押す。
- ② 4 システム設定* > 「GPS情報表示」をタッチする。
* 静止画の場合は3 システム設定
● GPS情報が表示される。
- ③ をタッチする。



- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。



- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を長時間切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
 - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
 - 「位置情報の更新間隔」
 - 「電子コンパス」(方位情報)
- 動画から切り取った静止画(125)には、GPS情報は記録されません。

スロー&ファストモーション記録を行う

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD

再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションやファストモーションの効果を得ることができます。記録中、音声は記録されません。

■ 設定する

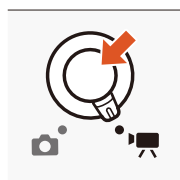


1 スロー&ファストモーション記録を設定する

- ① 「Slow & Fastモーション」アイコンをタッチする。
MENU >  1 記録設定 > 「Slow & Fastモーション」でも設定できる。
- ② いずれかの倍速設定をタッチする。

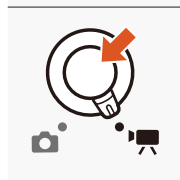
解除するとき OFF 通常記録をタッチする。
- ③  または  をタッチする。

■ スロー&ファストモーション記録モードで撮影する



1 START/STOPボタンを押す

- 設定した倍速設定で記録される。
- 画面に、設定した倍速が表示され、タリーランプが点灯する。



2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。タリーランプは消灯する。

MEMO

- プレ記録と同時に使用することはできません。
- スロー & ファストモーション記録モードで撮影中に、倍速設定を変更することはできません。
- 4K撮影時、x1/4、x1/2のスロー記録は設定できません。
- スロー&ファストモーション記録設定時、フレームレートは自動的に29.97Piに変更して記録されます。
- x1/4のスロー記録設定時、「フェイスキャッチ&追尾」は設定できません。
- 録画モードを変更すると、Slow & Fastモーション記録は解除されます。
- HD (MXF) 動画のx1/4設定時は、1280x720 (29.97p) 18Mbpsのクリップとして記録されます。
- HD (MP4) 動画のx1/4設定時は、1280x720 (29.97p) 4Mbpsのクリップとして記録されます。

タイムコードについて

カウントアップ方式と歩進

Slow & Fastモーション記録中のタイムコードは、Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。Free Run（フリーラン）設定している状態でSlow & Fastモーション記録モードにすると、強制的にRec Run（レックラン）に設定され、Slow & Fastモーション記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

プレ記録を行う

カメラ

再生

🗣️

📷

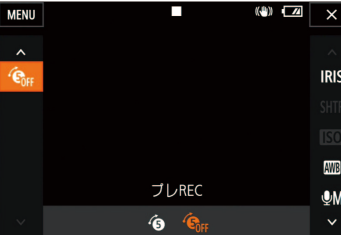
MXF

MP4

4K

HD

プレ記録モード（プレREC）では、START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押して撮影を開始する約5秒前からの映像と音声を記録することができます。HD動画撮影時のみ設定できます。

	1 プレRECを設定する ① FUNC. ▶ （プレREC）をタッチする。 ②  をタッチする。 ● 画面に  が表示され、プレRECモードになる。 解除するとき  をタッチする。	
	2 START/STOPボタンを押す ● 撮影が開始され、タリールンプが点灯する。 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す。 ● 撮影開始5秒前からの映像が記録される。タリールンプは消灯する。	

MEMO

プレRECのタイムコードについて

プレREC中のタイムコードは、Free Run（フリーラン）で記録されます。タイムコードの記録は、撮影開始操作の約5秒前から行われます。Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）に設定しているときにプレRECモードにすると、強制的にFree Run（フリーラン）に設定されます。プレRECを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

- Slow & Fastモーション記録と同時に使用することはできません。
- MENUを表示したときや、ルック（📖 [72](#)）の設定を変更すると、プレRECモードは解除されます。

インターバル記録を行う

カメラ 再生 音声 動画 MXF MP4 4K HD

間隔を空けて自動的に静止画を連続して記録して、時間の経過に伴う変化を表現できます。

	1 インターバル記録を選ぶ ① 「インターバル記録」アイコンをタッチする。 1 記録設定 ▶ 「インターバル記録」でも設定できる。 ② いずれかの記録間隔をタッチする。 解除するとき OFF (切) をタッチする。 ③ 戻るまたはXをタッチする。	
	2 撮影する PHOTOボタンを押す。 ● 記録が始まる。 ● 次の撮影までの時間がカウントダウンされる。静止画が記録されると、記録した静止画の枚数が表示される。	
	3 撮影を終える PHOTOボタンを押す。	

MEMO

- インターバル記録中は、フェイスキャッチ&追尾、タッチフォーカス、EXPロック、タッチ露出、AEシフトは使用できません。
- ピントはインターバル撮影を開始すると固定されます(撮影中はオートフォーカスは停止します)。
- カードによっては書き込みに時間がかかり、設定した間隔以上でのインターバル記録になる場合があります。

セルフタイマー

カメラ

再生

🗨

📷

MXF

MP4

4K

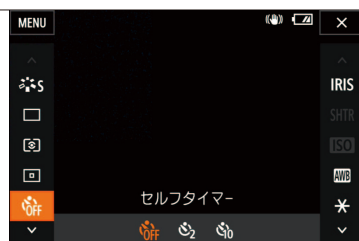
HD

セルフタイマーを「🕒2秒」または「🕒10秒」にして、START/STOP (PHOTO) ボタンを押すと、約2秒または10秒後に撮影が始まります。

FUNC.

1 セルフタイマーを選ぶ

- ① FUNC. ▶ 🕒 (セルフタイマー) をタッチする。
- ② 「🕒2秒」または「🕒10秒」をタッチする。



2 撮影する

- ① START/STOP (PHOTO) ボタンを押す。
 - 撮影開始までの時間がカウントダウンされる。カウントダウン中にSTART/STOP (PHOTO) ボタンを押すと、カウントダウンが解除される。

MEMO

- リモコン(付属) で操作するときは、リモコンのリリースモードを設定していても、「セルフタイマー」で設定した時間で撮影が開始されます。
- 以下の操作を行うと、セルフタイマーが解除されます。
 - 電源を切る。
 - 🔄(再生)ボタンや撮影モードを操作する。

撮影

ポジションを検出する

カメラ 再生 設定 撮影 MXF MP4 4K HD

ポジション検出を「入」にして静止画を撮影すると、撮影時の回転情報をExif情報に記録します。

MENU



1 ポジション検出を選ぶ

- MENUボタンを押す。
-  1 記録設定 ▶ 「ポジション検出」をタッチする。
- 「ON 入」をタッチする。





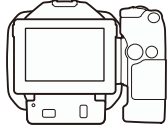
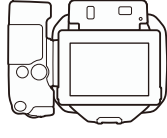
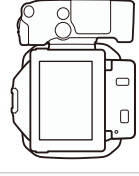
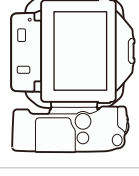



2 × をタッチする

記録設定

静止画サイズ	L 4:3
インターバル記録	OFF
静止画確認時間	4sec
ポジション検出	ON
メモリ-残量表示	
初期化	 

ポジション検出を「ON 入」にしたときの撮影例

撮影時		再生時
向き*	画面のマーク	
		
		
		
		

* レンズを奥側に向けた場合の本機の向きを表しています。

MEMO

- ポジション検出を「ON 入」にして静止画を撮影しても、「縦横自動回転」を「OFF 切」にしている場合は、正しい向きで再生されません(108)。

■ 縦横自動回転 カメラ 再生

ポジション検出を「ON 入」にして静止画を撮影した静止画を、再生時に自動的に回転して正しく表示します。



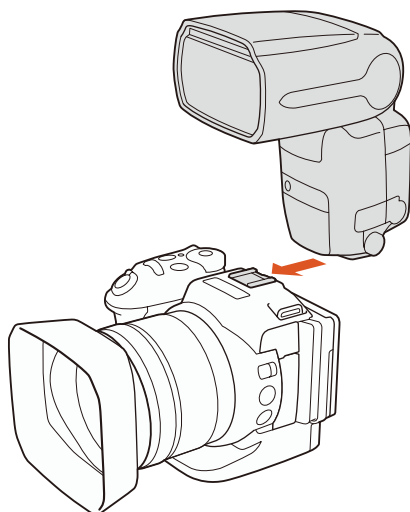
- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 再生設定 ▶ 「縦横自動回転」をタッチする。
- ③ 「ON 入」をタッチする。
- ④ をタッチする。

ストロボを使用する

別売のEOS用EXシリーズスピードライト（270EX II、320EX、430EX II、580EX II、600EX-RT）を使用すると、簡単にストロボ撮影を行う事ができます。動画時は、320EXのLEDライトを使った動画撮影のみ可能です。操作方法については、お使いのEXスピードライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

■ ストロボを取り付ける

アクセサリシューにストロボを取り付けます。



■ ストロボ設定を行う

カメラ 再生 設定 設定項目

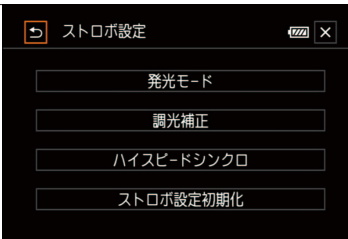
ストロボ設定では以下の項目を設定できます。

設定項目	選択項目
発光モード	A オート、 M マニュアル
調光補正*1	-3 ~ +3 (1/3段刻み)
発光量*2	1/128*3 ~ 1/1 (1/3段刻み)
ハイスピードシンクロ	ON 入、 OFF 切
ストロボ設定初期化	いいえ、はい 設定初期化すると次の初期設定値に戻る。 発光モード：オート、調光補正：±0、ハイスピードシンクロ：切

*1 発光モードが「オート」のとき。

*2 発光モードが「マニュアル」のとき。

*3 スピードライト270EX II、320EX、430EX IIでは1/64。

	1 MENUボタンを押す
	2 2 カメラ設定メニュー ▶ 「ストロボ設定」をタッチする
	3 設定項目を選んでストロボ設定を行う 発光モード 「A オート」または「M マニュアル」をタッチする。 調光補正 ① 「発光モード」 ▶ 「A オート」 ▶  をタッチする。 ② 「調光補正」をタッチするして。 ③  をタッチして補正量の値を調整する。 発光量 ① 「発光モード」 ▶ 「M マニュアル」 ▶  をタッチする。 ② 「発光量」をタッチする。 ③ メーターを左右にドラッグして、発光量の値を調整する。 ハイスピードシンクロ ① 「ハイスピードシンクロ」 ▶ いずれかをタッチする。 ON 入：すべてのシャッタースピードでストロボ撮影を行う。 OFF 切：1/250以下のシャッタースピードでストロボ撮影を行う。 ストロボ設定初期化 すべての設定を初期状態に戻すときは「ストロボ設定初期化」 ▶ 「はい」をタッチする。 
	4  をタッチする

MEMO

- お使いのEXシリーズスピードライトの機能の一部は、本機では使用できないことがあります(📖 [181](#))。
- EXシリーズスピードライト(270EX II、320EX、430EX II、580EX II、600EX-RT) 以外のキヤノン製ストロボでは、発光しなかったり、フル発光したりするなど、正しく発光しないことがあります(📖 [181](#))。
- 他社製のストロボ(特に高圧タイプのストロボ) やストロボ用付属品を使うと、ビデオカメラ本体が正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因になったりすることがあります。
- 以下の操作を行うと、ストロボ設定が初期化されます
 - ストロボの取り付けや取り外しを行う
 - 本機にストロボを取り付けたまま本機やストロボの電源の入／切を行う

4 カスタマイズ

FUNC. メニューをカスタマイズする... [113](#)

アサインボタンの機能を変更する [114](#)

設定データの保存と読み出し..... [116](#)

FUNC. メニューをカスタマイズする

カメラ 再生 動画撮影 静止画撮影 MXF MP4 4K HD

[FUNC.]メニューに、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

カスタマイズ可能な[FUNC.]メニュー。初期設定で、以下の機能が割り当てられています。



動画カメラモード時

IRIS : 絞り
SHTR : シャッタースピード
ISO / GAIN : ISO/ゲイン
AWB : ホワイトバランス
MIC : マイクレベル
* : EXPロック
AE : AEシフト
ZEBRA : ゼブラ
PEAKING : ピーキング
POWER : パワードIS

静止画カメラモード時

IRIS : 絞り
SHTR : シャッタースピード
ISO : ISO
AWB : ホワイトバランス
* : EXPロック
AE : AEシフト
ZEBRA : ゼブラ
PEAKING : ピーキング
FOCUS : フォーカス
MAGN : 拡大表示

カスタマイズ



1 MENUボタンを押す



2 ③ システム設定 > 「FUNC. カスタマイズ」または「FUNC. カスタマイズ」をタッチする



3 変更したい項目をタッチする

- 機能一覧が表示される。



4 変更したい機能をタッチする

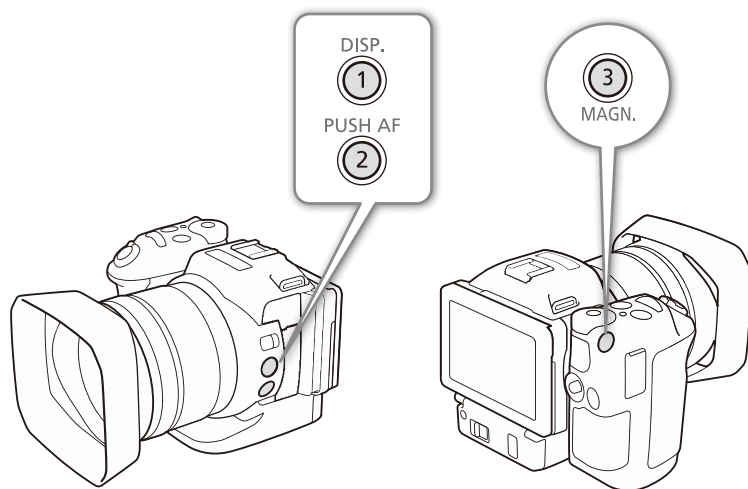


5 Xをタッチする

アサインボタンの機能を変更する

カメラ 再生 設定 撮影 4K HD

本機には3個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



カスタマイズ

アサインボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードと再生モードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	カメラモード		再生モード
		撮影	再生	
DISP 表示切り換え	画面表示を切り換える。長押しすると、「液晶バックライト」の「高輝度」と「通常」を切り換える。「低輝度」を設定中に長押しすると、「通常」に戻る。	○	○	○
PUSH AF プッシュ AF	マニュアルフォーカス時、アサインボタンを押している間だけ、フォーカスの自動調整ができる。	○	○	
MAGN 拡大表示	拡大表示の入／切を切り換える。	○	○	
ZE ゼブラ	ゼブラパターン表示の「切」、「70%」、「100%」を切り換える。	○	○	
PEAK ピーキング	ピーキングの入／切を切り換える。	○	○	
20x デジタルテレコン	デジタルテレコンの入／切を切り換える。	○		
IS パワーDIS	パワードISの入／切を切り換える。	○		
ND NDフィルター	NDフィルターの入／切を切り換える。	○	○	
START STOP Start / Stop	動画の撮影／撮影停止操作（START/STOPボタンの操作）を行う。	○		
PHOTO Photo	動画撮影中に静止画を記録する。	○		

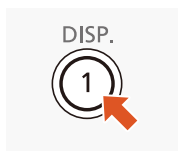
機能を変更する

例：アサインボタン1に「Start / Stop」を割り当てる場合



- ① MENUボタンを押す。
- ② システム設定 ▶ 「アサインボタン1」をタッチする。
- ③ 上下にドラッグして「 Start / Stop」をタッチする。
- ④ をタッチする。

アサインボタンに割り当てた機能を使う



必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。

設定データの保存と読み出し

カメラ 再生 設定 撮影 MXF MP4 4K HD

[FUNC.]メニュー、メニューで行った各種の設定情報を設定データとしてSDカードに保存することができます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするとときに便利です。

■ 設定データをSDカードに保存する

メニュー設定を設定データとしてSDカードに保存します。



- ① MENUボタンを押す。
- ② **F4** システム設定* > 「メニュー設定保存[Sd]」をタッチする。
* 動画再生、静止画カメラモード/再生の場合は、**F3** システム設定。
- ③ 「保存」> 「はい」をタッチする。
 - 現在のメニュー設定が、設定データとしてSDカードに保存される。
- ④ 「OK」をタッチする。
- ⑤ **X**をタッチする。

■ 設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① MENUボタンを押す。
- ② **F4** システム設定* > 「メニュー設定保存[Sd]」をタッチする。
* 動画再生、静止画カメラモード/再生の場合は、**F3** システム設定。
- ③ 「読み込み」> 「はい」をタッチする。
 - メニューの設定が、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は消える）。

MEMO

- XC10の設定データのみ読み込み可能です。
- 以下の項目はSDカードに保存できません。
 - [FUNC.]メニュー
 - ・ プレREC
 - ・ セルフタイマー
 - ・ EXPロックのオート/マニュアル
 - ・ パワーDIS
 - ・ 拡大表示
 - メニュー
 - ・ ストロボ設定
 - ・ インターバル記録
 - ・ カラーバー
 - ・ スマートフォン接続設定
 - ・ 日付/時刻
- 本機のメニューデータを、ファームウェアのバージョンが本機よりも前の製品で読み込んだとき、「動画形式」(P. 54)、
「データコード表示」(P. 178)の設定内容が初期化されます。ファームウェアのバージョンをご確認ください。

再生

クリップや静止画を再生する..... [118](#)

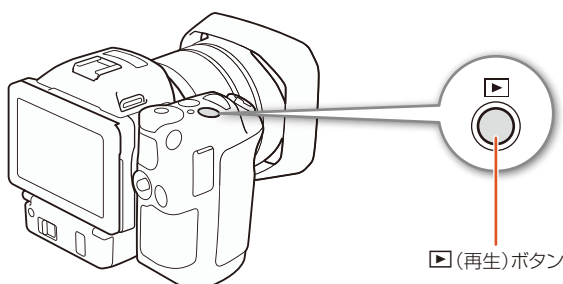
クリップや静止画を再生する

カメラ 再生

撮影した映像（クリップ）や静止画の再生について説明します。外部モニターに接続して再生するときは、「接続」（[134](#)）をご覧ください。

再生インデックス画面

電源OFF時に▶（再生）ボタンを長押しすると、本機が再生モードで起動し、メモリーカードに記録されているクリップや静止画のサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。

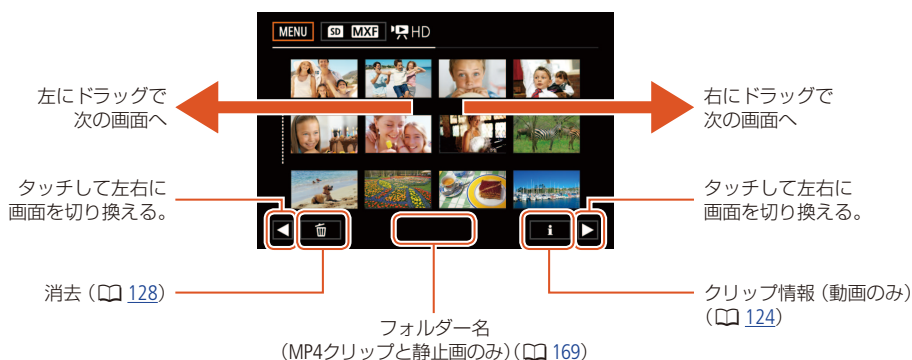


1 ▶（再生）ボタンを長押しする

- インデックス画面が表示される。
- もう一度▶（再生）ボタンを長押しすると、カメラモードに切り換わる。

2 インデックス画面を切り換える

- ① **[SD]** **[MXF]** をタッチする。
 - ② 切り換えたいインデックス画面をタッチする。
 - 選んだインデックス画面に切り換わる。
- [C/F4K]** **[MXF]** 4K動画：4K撮影したクリップのサムネイル（縮小画）を表示する。
 - [SD]** **[MXF]** HD動画：HD（MXF）撮影したクリップのサムネイル（縮小画）を表示する。
 - [SD]** **[MP4]** HD動画：HD（MP4）撮影したクリップのサムネイル（縮小画）を表示する。
 - [SD]** 静止画：静止画のサムネイル（縮小画）を表示する。



■ 再生する

インデックス画面で選んだクリップや静止画を、各種操作ボタンを使って再生します。ジョイスティックで操作することもできます。

動画を再生する

1 クリップをタッチする

- 再生が始まる。
- タッチしたクリップの再生が終わると、インデックス画面の最後のクリップまで自動的に再生される。
- 画面をタッチしたり、DISP.ボタンを押したりすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。

再生を終えるとき

画面をタッチして、■（停止）ボタンを押す。

- インデックス画面が表示される

静止画を再生する

1 静止画をタッチする

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 左右にドラッグすると次または前の静止画に切り換わる。ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。
- 画面をタッチしたり、DISP.ボタンを押したりすると、操作ボタンや撮影情報が出る。このとき、ジョイスティックの操作は、操作ボタンの移動となる。

■ カメラモードと再生モードの切り換えについて

カメラモードのときに▶(再生) ボタンを長押しすると、本機が再生モードに切り換わり、最後に記録したクリップまたは静止画が表示されます。このとき動画／静止画切り換えレバーが動画のときはクリップが、静止画のときは静止画が表示されます。クリップが表示されたときは、画面の▶をタッチすると、再生が始まります。

再生中の操作は、再生インデックス画面からの再生操作時と同じです(📖 [119](#))。



● ご注意

- ACCESS(アクセス)ランプが点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。



MEMO

- クリップが切り換わるときに映像と音声途切れることがあります。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

再生時の画面表示

動画再生時の画面表示



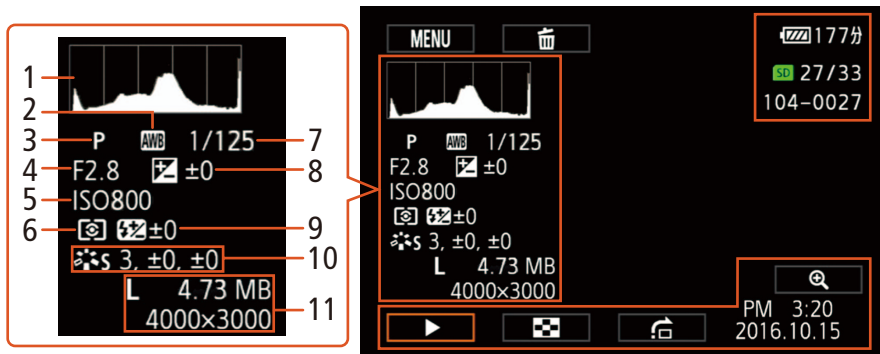
画面上部

アイコン／表示	説明	📖
MENU	メニュー	166
🗑️	消去	128
▶, , ◀/▶, ▶▶, ◀◀, ◀◀/▶▶	再生状況 ▶: 再生, : 再生一時停止, ◀/▶: 逆スロー再生/スロー再生, ▶▶: 早送り, ◀◀: 早戻し, ◀◀/▶▶: コマ戻し/コマ送り	—
CFast SD / 0:00:00.00	再生中のメモリーカード/タイムコード	—
MXF MP4	ファイルフォーマット	—
000Mbps	ビットレート	54
000	再生クリップ番号	—
100-0001	ファイル番号	—
📺 x1/4 x1/2 📺 x2 x4 x10 📺 x20 x60 x120 x1200	スロー&ファストモーション記録	102

画面下部

アイコン／表示	説明	📖
⏮, ⏭, ⏪, ⏩, ⏹, ⏮, ⏭, ⏪, ⏩, ⏮, ⏭, ⏪, ⏩	操作ボタン ⏮: 前へスキップ, ⏭: 次へスキップ, ▶: 再生, : 再生一時停止, ■: 再生停止, ◀◀: 早戻し, ▶▶: 早送り, ◀/▶: 逆スロー再生, ▶: スロー再生, ◀◀: コマ戻し, ⏭: コマ送り	123
📷	4Kフレームキャプチャー、あとからフォト	125
🔊	ヘッドホン音量/スピーカー音量	123
🔍	4KクリップからHDクリップの切り出し再生	125
F0.0 0/000 AM 10:00 2016. 10. 15	データコード表示	176

静止画再生時の画面表示



画面左

アイコン／表示	説明	
	撮影情報	
1	ヒストグラム	
2	ホワイトバランス	
3	撮影モード	
4	絞り	
5	ISO	
6	測光方式	
7	シャッタースピード	
8	露出	
9	ストロボ設定	
10	ルック	
11	静止画サイズ データ量	

画面下部

アイコン／表示	説明	
	拡大表示	
	操作ボタン	
	▶：スライドショー	
	☒：インデックス画面	
	⏏：ジャンプ	
PM 5:30 2016. 10. 15	データコード表示	

再生

画面右

アイコン／表示	説明	
00/00	表示枚数／全枚数	
000-0000	ファイル番号	

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、再生操作ボタンで行います。

機 能	操 作	ボタ ン	説 明
早送り* ¹	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍 ▶ 約15倍 ▶ 約60倍に切り換わる。* ²
早戻し* ¹	再生中に	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	▶▶▶	押すたびに1コマ進む。
コマ戻し* ³	一時停止中に	◀◀◀	押すたびに1コマ戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶▶▶	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	◀◀◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	◀◀◀◀	前のクリップの先頭から再生。
スロー再生	再生中に	▶▶▶▶▶	押すたびに再生速度が1/8倍 ▶ 1/4倍に切り換わる。再生中、音声は出ない。
逆スロー再生* ⁴		◀◀◀◀◀	

*¹ 操作中、画面が乱れることがあります。 *² 画面に出る倍速表示は目安です。

*³ ・4K撮影したMXFクリップ：押すたびに1コマ戻る。

・HD撮影したMXFクリップでフレームレートが59.94Pのとき：押すたびに約0.2秒戻る。

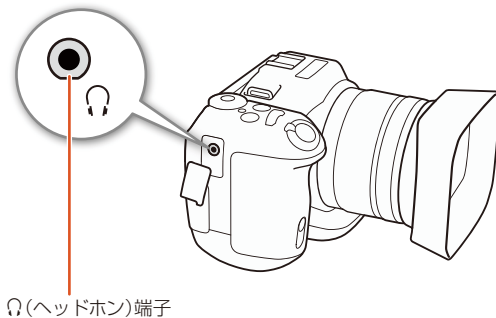
・HD撮影したMXFクリップでフレームレートが59.94P以外のときまたは、MP4クリップのとき：押すたびに約0.5秒戻る

*⁴ 逆スロー再生は、MXFクリップでフレームレートが59.94Pのときは約0.2秒間隔、59.94P以外または、MP4クリップでは約0.5秒間隔の再生になります。

MEMO

- さまざまな再生中は音声は聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶▶ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



φ(ヘッドホン)端子

通常の再生中は、音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー（モノラル）で聞くことができます。φ（ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続したり、HDMI OUT端子で他機と接続したりすると、内蔵スピーカーはOFFになります。音声は、HDMI OUT端子にも出力されます（[134](#)）。

音量を調整する

- ① 再生中に画面をタッチ ▶ 「/▶」をタッチする。
ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
- ② 調整バーの左右のマークをタッチするか、バーの上を左右にドラッグして調整する。
- ③ をタッチする。

静止画再生中の操作

ボタン	内容
▶ (スライドショー)	静止画を順番に再生する
📖 (インデックス画面)	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
⏏ (ジャンプ)	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。👉をタッチして終了。
🔍 (アップ/ワイド)	静止画を拡大して見る (📖 126)

クリップの詳細情報を表示する

クリップのインデックス画面で **i** をタッチするとクリップの詳細情報が表示されます。



- ① **i** をタッチ ▶ 詳細情報を表示したいクリップを選択する。
 - 「クリップ情報」画面が表示される。
 - 画面の ◀ / ▶ をタッチすると、前／次のクリップに移動します。
- ② 👉 を2回タッチする。

■ 4KクリップからHDクリップの切り出し再生を行う

4Kクリップ再生時、をタッチすると、HDクリップへの切り出し再生を行います。このとき、HDMI OUT端子から4K出力していた場合、HD出力へ変わります。



- ① 4Kクリップを再生する ([118](#))。
- ② 4Kクリップ再生中または一時停止中にをタッチする。



- 切り出し画面が表示される。切り出し位置の移動は、画面をドラッグして操作する。
- をタッチすると、切り出し前の再生画面に戻る。

■ 記録したクリップから静止画を切り取る (4Kフレームキャプチャー／あとからフォト)

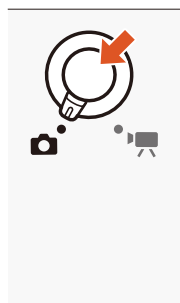
再生モードで、クリップの再生一時停止中に、クリップから静止画を切り取ることができます。静止画を記録するときは、PHOTOボタンを使用します。記録される静止画のサイズは以下のとおりで、静止画はSDカードに保存されます。

4K(MXF)クリップ再生時 (4Kフレームキャプチャー) : 3840 × 2160
 HD(MXF/MP4)クリップ再生時 (あとからフォト) : 1920 × 1080
 1/4スロー記録クリップ再生時 : 1280 × 720



1 クリップを再生する

- ① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
- ②  (再生) ボタンを押して、クリップを再生する。
- ③ 静止画を切り取りたいフレームで、 (一時停止) ボタンを押す。または、クリップ再生途中でPHOTOボタンを浅く押すと、1/8スロー再生となり、そのまま深くPHOTOボタンを押す。
 - 再生一時停止状態になる。



2 静止画を記録する

- ① PHOTOボタンを押す。または画面上的の📷をタッチする。
 - 「📷▶SD」が表示されて、静止画がSDカードに記録される。
 - 記録中はACCESS(アクセス)ランプが点滅する。
- ② ■ボタンを押して、クリップの再生一時停止を解除する(インデックス画面に戻る)。



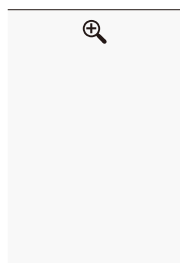
⚠️ ご注意

- ACCESS(アクセス)ランプが点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。

再生

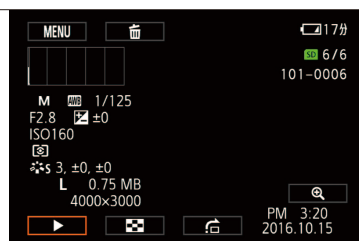
■ 静止画を拡大して見る

静止画は、ピンチアウト(📐 29)や、画面で操作して拡大することができます。



1 静止画再生中 画面をタッチ ▶ 🔍をタッチする

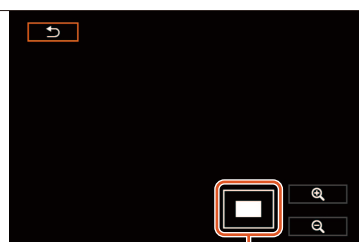
- 中央が約2倍に拡大する。



2 拡大する位置を決める

- ① 拡大する位置にドラッグする。
- ② さらに拡大するときは🔍をタッチする。

縮小するとき
🔍をタッチする。



拡大された位置の目安



3 前の再生画面に戻る

- 拡大前の1枚再生画面に戻る。
- 検索を何度かタッチしても戻る。

クリップや静止画を消去する

カメラ 再生

不要なクリップや静止画を複数選んでまとめて消去できます。表示しているメモリーカード内のすべてのクリップや静止画を消したりすることもできます。

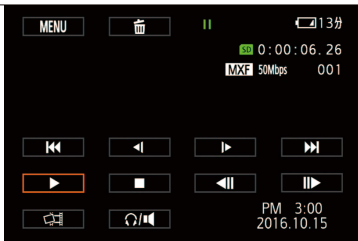
■ クリップや静止画を選んで消す

クリップや静止画を複数選んでまとめて消すことができます。

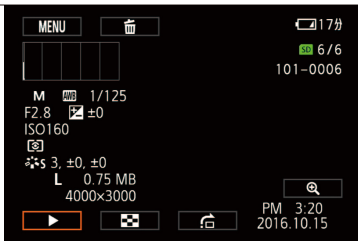
	1 インデックス画面を表示する (📖 118) ● 消去するクリップまたは静止画を含むインデックス画面を表示する。	
🗑️	2 🗑️をタッチする	
	3 いずれかの消去方法をタッチする ● MP4クリップや静止画では、「101_0501」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。特定の日の静止画を消去するときに選ぶ。 「選択」を選んだとき ① 消去するクリップまたは静止画をタッチする。 ● ✓が表示される。もう一度タッチすると選択が解除される。 ● 最大100のクリップまたは静止画を選択できる。 選択をすべて解除するとき 「全解除」▶「はい」をタッチする。 ② [実行] をタッチする。	
	4 消去する ① 「はい」をタッチする。 ● インデックス画面内の消去対象のクリップまたは静止画が消去される。 中止するとき 「中止」をタッチする。一部のクリップまたは静止画は消去される。 ② [OK] をタッチする。	

再生

再生一時停止中のクリップを消去する

⏸	1 クリップ再生中 画面をタッチ ▶ ⏸をタッチする ● 再生が一時停止する。	
🗑	2 消去する 🗑 ▶ 「はい」 ▶ (OK) をタッチする。 ● インデックス画面が表示される。	

再生中の静止画を消す

	1 静止画再生中 画面をタッチする ● 操作ボタンが出る。	
🗑	2 消去する ● 🗑 ▶ 「🗑 実行」 ▶ 「はい」をタッチする。 ● 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。	
✕	3 ✕をタッチする	



- **ご注意**
- 一度消去したクリップや静止画は元に戻りませんので、消去する前にクリップや静止画を確認してください。
 - 大切なデータはあらかじめバックアップしてください。

MEMO

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。
- メモリーカードに記録されているすべてのクリップや静止画を消して容量を元に戻す場合はメモリーカードを初期化します(📖 [40](#))。

接 続

出力信号形式	132
外部モニターを接続する	134
クリップをパソコンに保存する.....	135
静止画をパソコンに保存する	140

出力信号形式

HDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。

* 接続したモニター的能力によって変わります。

■ 動画カメラモード時の記録信号形式と出力信号形式

カメラ 再生   MXF MP4 4K HD

記録信号形式				HDMI OUT端子
	動画形式	録画モード (フレームレート/ビットレート)	解像度	
4K	MXF	29.97P 29.97P / 305 Mbps 29.97P 29.97P / 205 Mbps	3840 × 2160	3840 × 2160 / 29.97P 1920 × 1080 / 59.94P 1920 × 1080 / 59.94i 720 × 480 / 59.94P
		23.98P 23.98P / 305 Mbps 23.98P 23.98P / 205 Mbps		3840 × 2160 / 23.98P 1920 × 1080 / 59.94P 1920 × 1080 / 59.94i 720 × 480 / 59.94P
HD		59.94P 59.94P / 50 Mbps	1920 × 1080	1920 × 1080 / 59.94P 1920 × 1080 / 59.94i 720 × 480 / 59.94P
		59.94i 59.94i / 35 Mbps 29.97P 29.97P / 35 Mbps 23.98P 23.98P / 35 Mbps		
	MP4	59.94P 59.94P / 35 Mbps		
		29.97P 29.97P / 35 Mbps 23.98P 23.98P / 35 Mbps		

接
続

再生モードの出力信号形式

[カメラ](#) [再生](#)

再生信号形式		HDMI OUT端子
	フレームレート	
4K*	29.97P	3840 x 2160 / 29.97P 1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
	23.98P	3840 x 2160 / 23.98P 1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
HD*		1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
静止画		3840 x 2160 / 29.97P 1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P

* 4K動画からHD動画の切り出し再生時は、HD 動画再生と同じ。

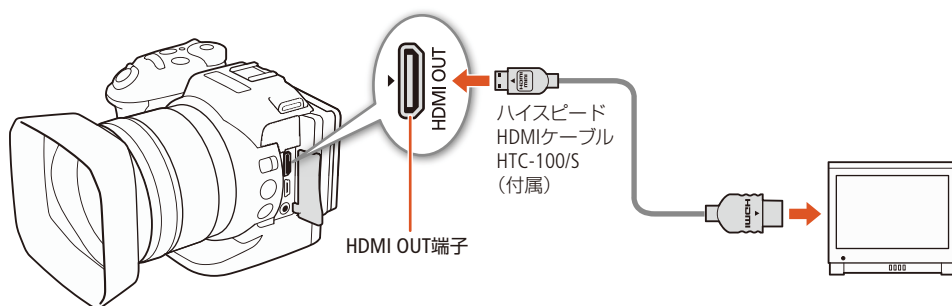
外部モニターを接続する

カメラ 再生 出力アイコン MXF MP4 4K HD

外部モニターを接続します。(参考▶「出力信号形式」(132))。

■ 接続のしかた

本機と外部モニターを接続します。



MEMO

- コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- Wi-Fiによるネットワーク機能(143)使用中は、HDMI OUT端子から映像や音声は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。
- 3 カメラ設定 ▶ 「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にして撮影を開始すると、HDMI出力は停止します(167)。

接
続

クリップをパソコンに保存する

記録したMXFクリップをパソコンに取り込む場合、Canon XF UtilityまたはCanon XF Plugin*を使用します。MP4クリップをパソコンに取り込む場合は、ソフトウェアData Import Utilityを使用します。クリップをパソコンに取り込むときは、カードリーダーを使用します。

* Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。

■ MXFクリップをパソコンに保存する

Canon XF Utilityの概要は次のとおりです。これらのソフトウェアは、以下のキヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、各ソフトウェアの使用説明書（後述）をご覧ください。

canon.jp/prodv

Canon XF Utility

MXFクリップをパソコンへ保存・確認・再生・管理、クリップから静止画の切り出しを行うソフトウェア。

Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access(Windows用／ Mac OS用)

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows / Mac OS) から、記録したMXFクリップを直接読み込むことができる。

Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Final Cut Pro X(Mac OS用)

ノンリニア編集ソフトウェアFinal Cut Pro Xから、記録したMXFクリップを直接読み込むことができる。

インストール／アンインストールのしかた (Windows)

Windowsパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。お使いのパソコンのOSによっては操作が異なることがあります。OSのヘルプなどをご参照ください。

インストールする

1 ダウンロードした「xuw-****.zip」*をダブルクリックしてフォルダーを開く

* 接頭辞「xuw」はCanon XF Utilityの場合です。Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは、「xpmw」となります。以降の操作でも同様に置き換えてお読みください。

- 「xuw-****」フォルダーができ、その中に「xuw***.exe」が見える。

2 「xuw***.exe」をダブルクリックする

- 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

- 3 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする
 - 使用許諾画面が表示される。
- 4 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする
 - インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。
- 5 「次へ」をクリック ▶ 「完了」をクリックする

アンインストールする

- 1 コントロールパネルから、「プログラムのアンインストール」をクリックする
 - インストールされているプログラムが一覧表示される。
- 2 アンインストールするソフトウェア名を選択する
 - Canon XF Utility
 - Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access
 - Canon XF-AVC Decoder*
 - * Canon XF-AVC Decoderは、完全にアンインストールしたい場合以外は、アンインストールしないでください。
- 3 「アンインストールと変更」をクリックする
- 4 画面の指示に従って操作する

インストール／アンインストールのしかた（Mac OS）

Mac OSが搭載されたパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。

インストールする

1 ダウンロードした「xum-****.dmg.gz」をダブルクリックして解凍する

- * 接頭辞「xuw」はCanon XF Utilityの場合です。Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは「xpmw」、Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは「xpfm」となります。以降の操作でも同様に置き換えてお読みください。
- 「xum-****.dmg」ができる。

2 「xum-****.dmg」をダブルクリックする

- デスクトップにディスクアイコン「xum****」が表示される。

3 「xum****」をダブルクリック ▶ 「XUMInstaller」をダブルクリックする

- 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

4 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする

- 使用許諾画面が表示される。

5 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする

- インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。

6 「次へ」をクリック ▶ 「完了」をクリックする

アンインストールする

アンインストールするソフトウェアに対応するファイル／フォルダーをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。

ソフトウェア	対応するファイル／フォルダー
Canon XF Utility	アプリケーションフォルダー / Canon Utilities / Canon XF Utility
Canon XF Plugin for Final Cut Pro X	/ Library / Application Support / ProApps / MIO / RADPlugins / CanonXF64.RADPlug
Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access	/ Library / Application Support / Avid / AVX2_Plug-ins / AMA / MVP_CanonXF64.avx
Canon XF-AVC Decoder	/ Library / Application Support/Canon / XFUtility2 / mc_bc_dec_avc.framework
ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書	アプリケーションフォルダー / Canon Utilities / プラグイン名フォルダー * * Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access、 Canon XF Plugin for Final Cut Pro Xのいずれか。

ソフトウェアの使用説明書を見る

ソフトウェアの詳細な使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書（PDF）をご覧ください。使用説明書はソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。お使いのパソコンのOSによっては操作が異なることがあります。OSのヘルプなどをご参照ください。

Canon XF Utilityの使用説明書を見る

Canon XF Utilityを起動し、ヘルプメニュー ▶ 「使用説明書を見る」を順に選びます。また、次の方法でも使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ▶ すべてのプログラム ▶ Canon Utilities ▶ Canon XF Utility ▶ Canon XF Utility使用説明書を順に選ぶ。

Macの場合

アプリケーションフォルダー / Canon Utilities / Canon XF Utility / Manualフォルダー内のPDFファイルをダブルクリックする。

ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ▶ すべてのプログラム ▶ Canon Utilities ▶ [プラグイン名*] ▶ [プラグイン名*] 使用説明書を順に選ぶ。

* Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access

Macの場合

アプリケーションフォルダー / Canon Utilities / プラグイン名* / Manualフォルダー内のPDFファイルをダブルクリックする。

* Canon XF Plugin for Final Cut Pro X、Canon XF Plugin 64 for Avid Media Accessのいずれか。

■ MP4クリップをパソコンに保存する

ソフトウェアData Import Utilityの概要は次のとおりです。Data Import Utilityは、株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_biz.html

Data Import Utilityの使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- MP4クリップをパソコンに取り込む。
- 分割されたMP4クリップ（ 55）を1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、株式会社ピクセラのウェブサイトで、動作環境などの詳細をご確認ください。

インストールする

1 パソコン ソフトウェアをダウンロードする

Data Import Utilityの圧縮ファイルを株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードする。
http://pixela.jp/jdiu23_dl

2 パソコン 株式会社ピクセラのウェブサイトに記載のインストール方法に従って、Data Import Utilityをインストールする



● ご注意

- ソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー／パソコンのカードスロットを使用してクリップをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでクリップをパソコンに取り込めないことがあります。

静止画をパソコンに保存する

カメラ 再生

記録した静止画をパソコンに取り込む場合、CameraWindowを使用します。
動作環境はキャノンのウェブサイトをご覧ください。

準備する

ソフトウェアCameraWindowをインストール*してください。すでにインストールされているときでも再度インストールしてください。カメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加できることがあります。

* インターネットに接続されているパソコン (WindowsまたはMac OS)にインストールできます。

1 パソコン ソフトウェアをダウンロードする

- ① 下記のウェブサイトから「DIGITAL VIDEO CAMERA Software」をダウンロードする。
www.canon.com/icpd
「Japan」を選んだ後、ダウンロードページへ進んでください。

2 パソコン ソフトウェアをインストールする

- ① 画面の案内に従って操作する。
 - Windowsの場合、ユーザアカウント制御の画面が出たときは、メッセージの案内に従って操作する。
 - 最後のStep(完了)が表示されたら、インストール終了。
- ② 「完了」をクリックする。

パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

2 本機 再生モードにして、静止画のインデックス画面を表示する (118)

3 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

Windowsの場合

パソコンの画面に表示される「自動再生」ダイアログで、「画像をキャノンカメラからダウンロードします」をクリックする。

- CameraWindowのメニュー画面が出る。

Mac OSの場合

- 自動的にCameraWindowが起動して、メニュー画面が出る。自動的に起動しない場合には、手動で起動する。
- 選択画面が出たら、ビデオカメラの型名を選ぶ ▶ 「OK」をクリックする。

4 パソコン 静止画を保存する

- ① 「カメラ内の画像の取り込み」▶「未転送画像を取り込む」を選ぶ。
 - パソコンに保存していない撮影データの転送が始まり、終了すると完了画面が出る。
- 中止するとき 「キャンセル」をクリックする。
- ② 「OK」をクリック ▶ CameraWindowを終了する。



● ご注意

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
 - カードカバーを開けない。
 - カードを抜き差ししない。
 - パソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損するおそれがあります。
 - Windowsのスリープ/休止状態や、Mac OSのスリープ機能を使用しない。
- 大切な元のデータを消さないために、画像は必ずパソコンにコピーし、コピーした画像をパソコンで使用してください。



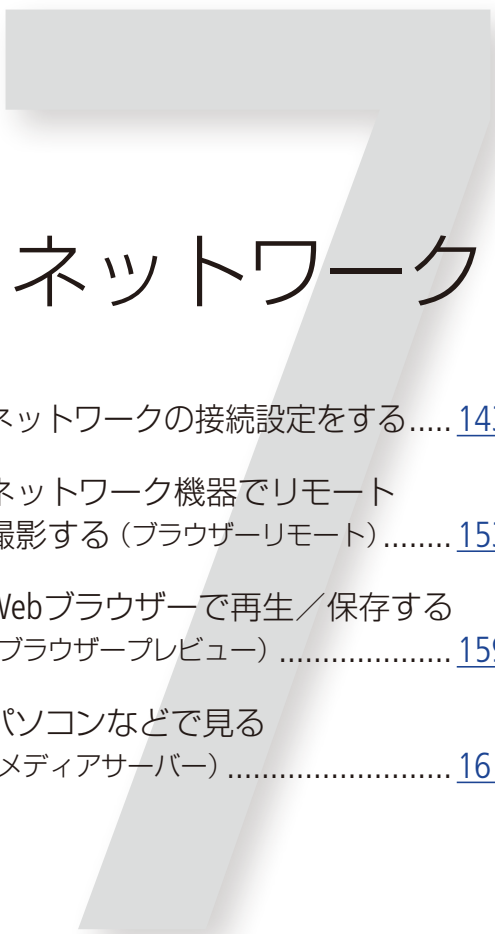
MEMO

CameraWindowをアンインストールするには

Windows：「コントロールパネル」＞「プログラムと機能」＞「Canon Utilities CameraWindow DC 8」＞「アンインストールと変更」をクリック＞「OK」をクリック。

Mac OS：「アプリケーション」＞「Canon Utilities」＞「CameraWindow」をゴミ箱にドラッグ&ドロップ。

- パソコンによっては正しく動作しないことがあります。
- CameraWindowのバッテリー残量*は、実際の残量にかかわらず常に「充分」と表示されます。
 - * コンパクトパワーアダプターを使用しないときに表示される。



ネットワーク

ネットワークの接続設定をする..... [143](#)

ネットワーク機器でリモート
撮影する（ブラウザーリモート）..... [153](#)

Webブラウザーで再生／保存する
（ブラウザープレビュー）..... [159](#)

パソコンなどで見る
（メディアサーバー）..... [161](#)

ネットワークの接続設定をする

カメラ 再生 音声 画像 MXF MP4 4K HD

本機にはインフラストラクチャーとカメラアクセスポイントの2つの接続方式があります。お使いになる機能によってWi-Fi接続方式が異なります。ここでは、接続設定のしかたについて説明します。接続設定の詳細は、「Wi-Fiで接続する」(📖 144)で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	Wi-Fi		📖
		インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器のブラウザーから本機をリモート操作して撮影する。	—	●	153
ブラウザープレビュー	撮影したMP4クリップや静止画を、ネットワーク機器のブラウザーで再生／保存する。	—	●	159
メディアサーバー	撮影したMP4クリップや静止画を、パソコンなどで再生する。	●	—	161

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。

*2 本機がアクセスポイントの働きをして、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方式。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワークおよびWi-Fiの設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

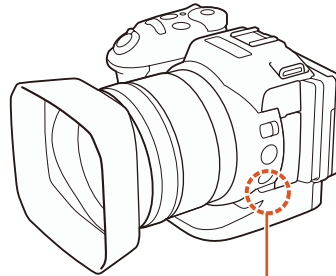


ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- ネットワーク機能を使用中は、カードカバーを開けないでください。



ワイヤレスアンテナ (内蔵)

Wi-Fiで接続する

無線ネットワーク接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け(右のロゴマークがある)、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*¹に接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。Wi-Fiネットワークに接続するには次の5つの方法があります。



WPS(プッシュボタン方式) *² :

パスワードなどの入力が不要な最も簡単な接続方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。

WPS(PINコード方式) *² :

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って接続できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索 :

WPS*²に対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して接続できます。

手動設定 :

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うときに使用します。手動設定には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

カメラアクセスポイント :

屋外などアクセスポイントのない環境で、ビデオカメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。ビデオカメラがアクセスポイントの動き*³をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

*¹ 「無線親機」、「無線LAN親機」、「無線LANルーター」など、メーカーによって名称が異なることがあります。

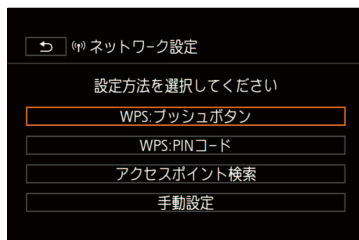
*² WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

*³ ビデオカメラと無線LAN対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

WPSで接続する

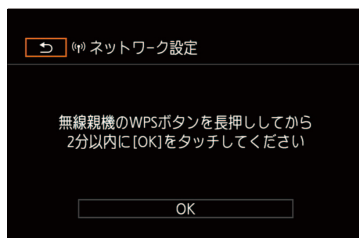
WPSのプッシュボタン方式またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、ビデオカメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、ビデオカメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合



1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ

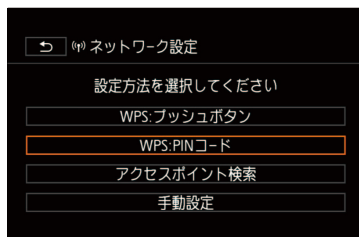
- ① MENUボタンを押す。
- ② ④1 Wi-Fi設定 ▶ 「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
- ③ 「未設定」をタッチする。
- ④ 「WPS：プッシュボタン」をタッチする。



2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

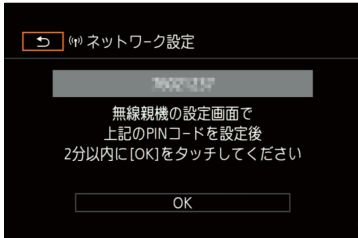
- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧になってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② ④1 Wi-Fi設定 ▶ 「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
- ③ 「未設定」をタッチする。
- ④ 「WPS：PINコード」をタッチする。
 - 7～8秒すると画面にPINコードが表示される。



2 アクセスポイント WPS (PINコード方式) の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

* 多くのアクセスポイントは、Webブラウザから設定します。

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 無線親機へ接続する

接続を中止するとき

「中止」▶ **OK** をタッチする。

① 操作2から2分以内にOKを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。

② **OK** をタッチする。



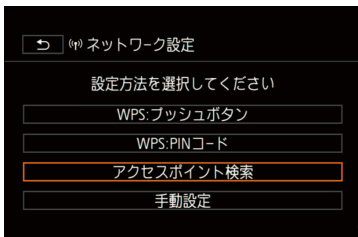
MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS(プッシュボタン方式)でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS(PINコード方式)またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、暗号化キーを入力して接続します。

アクセスポイントを選ぶ



1 アクセスポイント検索を選ぶ

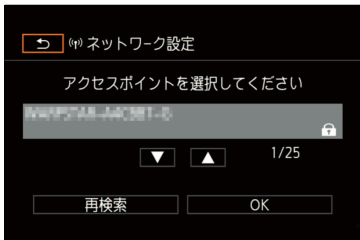
① MENUボタンを押す。

② **Wi-Fi設定** ▶ 「アクセスポイント接続設定」をタッチする。

③ 「未設定」をタッチする。

④ 「アクセスポイント検索」をタッチする。

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSID (Wi-Fiネットワーク名) と暗号化状態などの情報が表示される。

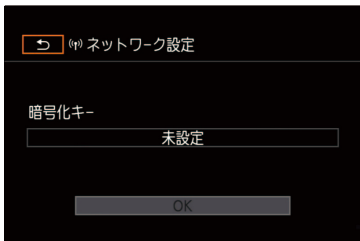


2 アクセスポイントを選ぶ

- ① ▲ / ▼ をタッチして、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ。
- ② **OK** をタッチする。

暗号化キーを入力する

アクセスポイントに設定されている暗号化キーを設定します。設定されている暗号化キーについては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。ネットワークの管理者にお問い合わせください。なお、アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、暗号化キーの入力は不要です。



3 暗号化方式が「WEP」または「WPA」のとき 暗号化キーを入力する

- ① 暗号化キー入力エリアをタッチする
 - 液晶画面にキーボード画面が表示される。
- ② 暗号化キーを入力 ▶ **OK** をタッチする。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」([152](#))
- ③ **OK** をタッチする。



暗号化キーに使用可能な文字と文字数

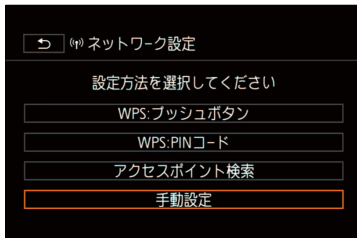
暗号化キー	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z および記号。

*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

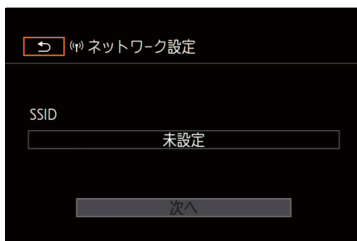
手動設定で接続する

手動設定でアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 手動設定を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② ④1 Wi-Fi設定 ▶ 「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
- ③ 「未設定」をタッチする。
- ④ 「手動設定」をタッチする。



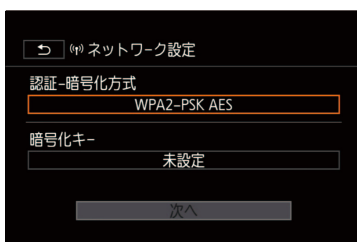
2 SSIDを入力する

- ① SSID入力エリアをタッチする。
- ② SSIDを入力 ▶ **OK** ▶ 「次へ」をタッチする。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(152)



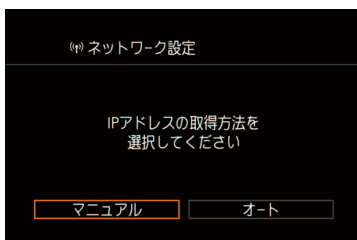
3 認証-暗号化方式を選択する

- ① 「認証-暗号化方式」エリアをタッチする。
- ② いずれかの認証・暗号化方式をタッチする。
 - 「OPEN WEP」選択時、WEPインデックスは1となる。
 - 「OPEN NONE」を選んだときは、「次へ」をタッチして操作5へ進む。



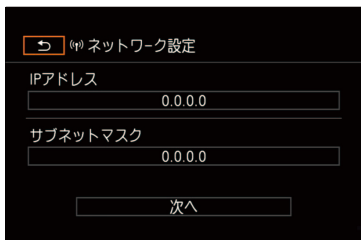
4 暗号化キーを入力する

- ① 暗号化キー入力エリアをタッチする。
- ② 暗号化キーを入力 ▶ **OK** をタッチする。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(152)
- ③ 「次へ」をタッチする



5 IPアドレスの取得方法を選ぶ

- ① 「マニュアル」または「オート」をタッチする。
 - 「オート」を選んだときは、操作7へ進む。



6 IPアドレスなどをマニュアルで設定する

- ① IPアドレスの入力エリアをタッチする。
- ② ▲ / ▼をタッチして、IPアドレスの各値を入力 ▶ **OK** をタッチする。
- ③ ①～②と同じ要領でサブネットマスクを入力 ▶ 「次へ」をタッチする。
- ④ ③と同じ要領で、デフォルトゲートウェイ、各DNSサーバーを入力する。

OK

7 **OK** をタッチする。

- 設定が保存される。

×

8 **×** をタッチする

■ ネットワーク接続設定を表示／変更する

登録された接続設定の内容を変更することができます。設定変更は手動で行いますので、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。ブラウザーリモートが「入」のときは、「切」にしてから操作してください。

1 設定を確認、変更する

- ① MENUボタンを押す。
- ② **Wi-Fi** 設定をタッチする。

「スマートフォン接続設定」の場合

2 「スマートフォン接続設定」をタッチする

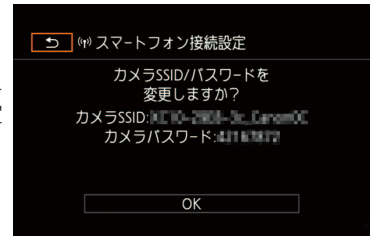
- ビデオカメラの「カメラSSID」、「カメラパスワード」、「周波数」が表示される。



3 カメラSSID、カメラパスワードや周波数を変更する

カメラSSIDやカメラパスワードを変更するとき

- ① 「カメラパスワード」横の  をタッチする。
 - 新しいカメラSSIDとカメラパスワードが表示される。任意のカメラSSIDやカメラパスワードを設定することはできない。
- ②  を2回タッチする。



周波数を変更するとき

- ① 「周波数」横の  をタッチする。
- ② 「2.4 GHz」または「5 GHz」をタッチする。
- ③  を2回タッチする。

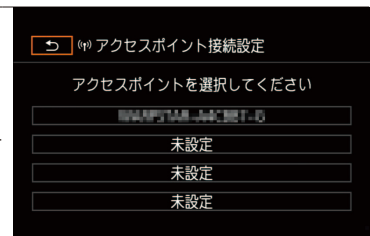


4 をタッチする

「アクセスポイント接続設定」の場合

2 「アクセスポイント接続設定」をタッチする

- 本機に記憶されているSSIDが表示される。
- 「未設定」をタッチすると、「Wi-Fiで接続する」( 144) の操作に進み、接続が終わるとWi-Fi設定メニューに戻る。



3 アクセスポイント接続設定の内容を表示する

- 変更するSSIDをタッチする。
- 設定内容が表示される。
 - ▲ / ▼ で表示内容を切り換えることができる。



アクセスポイントの設定を消去するとき

いずれかの画面で「編集」>「消去」>「はい」をタッチする。

- 設定を変更するとき
いずれかの画面で「編集」＞「手動設定」をタッチする。
●「手動設定で接続する」(📖 147)の操作に進む。

4 🔄を2回タッチ ▶ ✕をタッチする。

「MACアドレス表示」の場合

2 「MACアドレス表示」をタッチする

- 本機のMACアドレスが表示される。MACアドレスを設定したり、編集したりすることはできない。

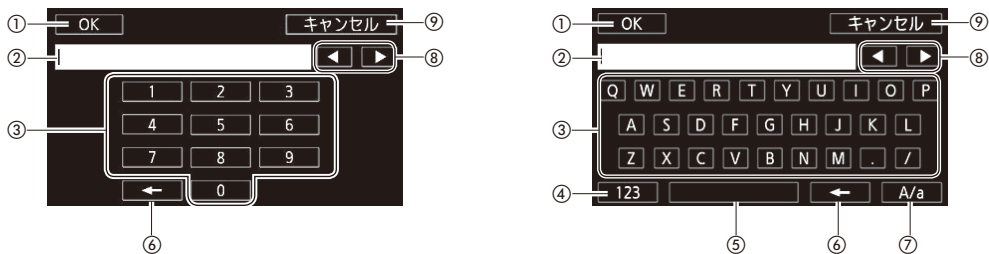
🔄 (📖) MACアドレス表示

カメラMACアドレス:
12:34:56:78:9A:BC

3 🔄 ▶ ✕をタッチする。

■ 文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。キーボードを操作するときは、タッチパネルで操作してください。



①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力エリア
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #%? / *&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀ ▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

ネットワーク機器でリモート撮影する (ブラウザーリモート)

カメラ 再生 再生 再生 MXF MP4 4K HD

本機をアクセスポイントにして、スマートフォンなどを接続することで、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザから本機をリモートで操作して、動画や静止画を撮影することができます(ブラウザーリモート)。

撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Web ブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 ホワイトバランス、ISO / ゲイン、シャッタースピード、F値、フォーカス。

■ リモート設定を行う

ネットワーク機器からブラウザーリモートにアクセスするために必要な設定を行います。

カメラ設定を行う

ネットワークに接続した機器のWebブラウザからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するポート番号とカメラIDを設定します。カメラ設定の設定操作中は、本機にWi-Fiで接続できません。

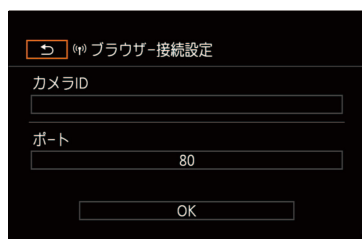
ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。

カメラID：ビデオカメラ固有の文字列を設定しておく、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。



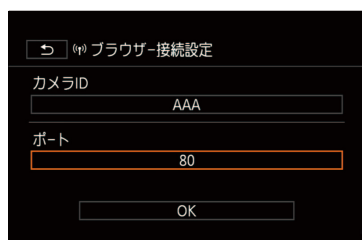
1 「ブラウザー接続設定」を選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 Wi-Fi設定 ▶ 「ブラウザー接続設定」をタッチする。



2 カメラIDを入力する

- ① カメラID入力エリアをタッチして、カメラIDを8文字まで入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(152)
- ② をタッチする。



3 ポート番号を入力する

- ① ポート番号入力エリアをタッチして、ポート番号を入力する。
- ② をタッチする。
- ③ を2回タッチ ➤ をタッチする。

■ ブラウザーリモートを起動する

パソコンや携帯端末などネットワークに接続した機器*¹のWebブラウザー *²からブラウザーリモートを起動します。

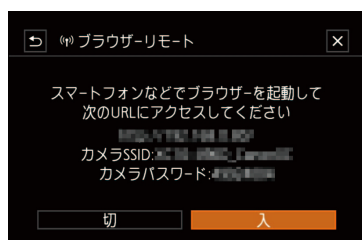
*¹ カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどご確認ください。

*² JavaScript(ジャバスクリプト)に対応し、Cookie(クッキー)が有効になっている必要があります。



1 本機 ブラウザーリモートを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② ➤ 「ブラウザリモート」をタッチする。
- ③ 「入」をタッチする。
 - 画面に、Webブラウザーに入力するURL、カメラSSID、カメラパスワードが表示され、パソコンなどからの接続待ち状態になる。



2 パソコンなど Wi-Fiで本機に接続する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 操作1で本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 本機に表示されたカメラパスワードを入力して接続する。
 - 2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。

3 パソコンなど Webブラウザーを起動する

4 パソコンなど URLを入力する

- ① 本機の画面に表示されているURLをWebブラウザーに入力して、アクセスする。
 - ブラウザーリモートの画面が表示される。
 - ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●が、順に点灯 ▶ 消灯を繰り返す。
 - ポートを変更しない限り、URLは固定のため、Webブラウザーでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。

5 本機 ×をタッチして画面を閉じる

- アクセスポイントとして動作中は、画面に **Remote** が白色で表示され、ブラウザーリモート起動中、終了中はアイコンが黄色になる。



6 パソコンなど カメラIDを確認する

- 画面中央にカメラIDが表示される。
- ① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。



7 パソコンなど 言語を変更する

- ▼を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。

8 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

- ① MENUボタンを押す。
- ② 1 Wi-Fi設定 ▶ 「ブラウザーリモート」をタッチする。
- ③ 「切」をタッチする。
 - 画面のRemoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。
- ④ ✕をタッチする。

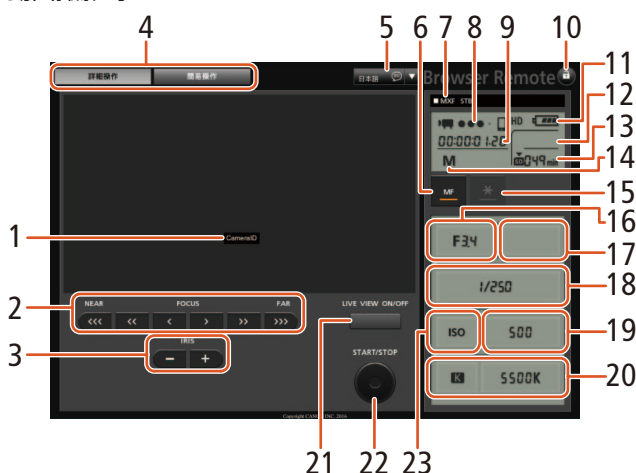
MEMO

- ビデオカメラに「カメラID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- カラーバーの表示中は、ライブビュー表示がOFFになります。

詳細操作画面

パソコンやタブレットなど画面が比較的大きい機器を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能のページも合わせてご覧ください。

動画撮影時



静止画撮影時



- 1 ライブビュー映像表示エリア
- 2 FOCUS(フォーカス調整)ボタン ▶▶ [78](#)
- 3 IRIS(アイリス調整)ボタン ▶▶ [58](#)
- 4 画面切り換えタブ
 - 「詳細操作」、「簡易操作」の各画面を切り換える。
- 5 言語選択
- 6 MF(フォーカスモード切り換え)ボタン ▶▶ [76](#)
- 7 撮影状態 ▶▶ [49](#)
- 8 ブラウザーリモート接続状態表示*
- 9 タイムコード* ▶▶ [86](#)
- 10 (キーロック)ボタン ▶▶ [49](#)
 - ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。
- 11 バッテリー残量の目安*
- 12 CFastカード状態／動画撮影可能時間(分)
- 13 SDカード状態／動画撮影可能時間(分)

- 14 撮影モード* ▶▶ [56](#)
- 15 EXPロック ▶▶ [65](#)
- 16 F値 ▶▶ [57](#)
- 17 EXPロック時の露出調整値 ▶▶ [65](#)
- 18 シャッタースピード ▶▶ [56](#)
- 19 ISO/ゲイン値ボタン ▶▶ [56](#)
- 20 ホワイトバランス ▶▶ [69](#)
- 21 LIVE VIEW ON/OFF(ライブビュー)ボタン
- 22 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ [14](#)
- 23 ISO/ゲイン切り換えボタン
- 24 SDカード状態／静止画撮影可能枚数
- 25 PHOTOボタン ▶▶ [14](#)

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

詳細操作画面

簡易操作画面

スマートフォンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときは、「簡易操作」画面を使用します。簡易操作画面では、フォーカスの調整、START/STOP(スタート/ストップ)、PHOTO(フォト)、LIVE VIEW(ライブビュー)のON/OFF、 (キーロック)のみ行うことができます。



1 「簡易操作」タブを選ぶ

- 簡易操作画面が表示される。

動画撮影時



静止画撮影時



Webブラウザーで再生／保存する (ブラウザープレビュー)

カメラ 再生*

* MP4クリップ／静止画のみ

MP4クリップや静止画を、スマートフォンやタブレット、パソコンなどのWebブラウザーで再生したり保存したりすることができます*。

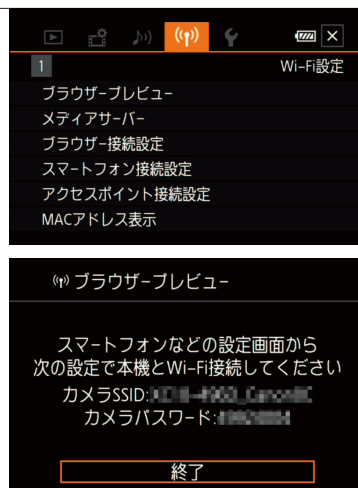
* 動作を確認したOS、ブラウザーなどの詳細情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

1 本機 MP4クリップまたは静止画インデックス画面に切り換える (118)



2 本機 ブラウザープレビューを選ぶ

- ① MENUボタンを押す。
- ② (P) 1 Wi-Fi設定 ▶ 「ブラウザープレビュー」をタッチする。
 - 画面に「カメラSSID」と「カメラパスワード」が表示され、ネットワーク機器からの接続待ち状態になる。



3 ネットワーク機器 Wi-Fiで本機に接続する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ パスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら接続完了。
 - 2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。

4 ネットワーク機器 Webブラウザーを起動し、URLを入力する

- ① 本機の画面に表示されているURLを入力する。
 - 「Browser Preview」の画面が表示される。
 - URLは固定されているため、Webブラウザーでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。

http://192.168.0.80/

5 ネットワーク機器 MP4クリップや静止画を選んで再生する

- ① 一覧から再生する画像をタッチする。
- ② 選択したMP4クリップや静止画が再生される。
- ③ ■■■をタッチすると、一覧画面に戻る。

ネットワーク機器に保存するとき（iOS機器以外）

- ①のあと、●をタッチする。

6 本機 ブラウザープレビューを終了する

- ① 「終了」▶ [OK]をタッチする。
 - ブラウザープレビューモードが終了する。



- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。

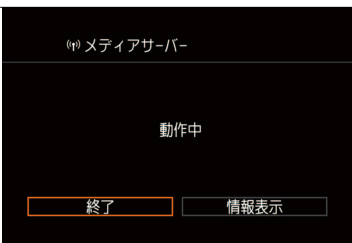
以下のMP4クリップは、他の機器では複数のファイルとして認識されます。

- ファイルサイズが約4 GB。
- フレームレートが59.94Pで、記録時間が約29分50秒。
- フレームレートが59.94P以外で、記録時間が約59分50秒。

パソコンなどで見る（メディアサーバー） カメラ再生*

* MP4クリップ／静止画のみ

本機のメディアサーバー機能を使うと、本機に記録したMP4クリップや静止画を、パソコンなどで再生できます。この機能を使用するには、ネットワークに接続されたアクセスポイント（無線親機）と、メディアサーバーの静止画を再生できるソフトウェアが必要です。

	1	本機	MP4クリップまたは静止画インデックス画面に切り換える（ 118 ）	
	2	本機	メディアサーバーを選ぶ ① MENUボタンを押す。 ②  1 Wi-Fi設定 ▶ 「メディアサーバー」をタッチする。	
	3	本機	アクセスポイントに接続する ● アクセスポイントが登録済のときは、自動的に接続する。 ● アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。 ①  をタッチする。 ② 「Wi-Fiで接続する」（ 144 ）の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。 ● 画面に「動作中」が出たら、接続完了。 ● 「情報表示」をタッチすると、アクセスポイントのSSID、接続規格、本機のIPアドレス、本機のMACアドレスを確認できる。接続先を変更するときは「接続先変更」をタッチする。本機に記憶されているSSIDから、どれを使うかを変更できる。	
	4	パソコンなど	本機のMP4クリップや静止画を再生する ① パソコンでメディア再生ソフトウェアを起動し、サーバーの一覧から本機の名前「Canon XC10」を選ぶ。 ② 表示されるフォルダー内のMP4クリップや静止画を選んで再生する。 参考 ▶ お使いのソフトウェアの説明書	
	5	本機	「終了」▶  をタッチする。 ● メディアサーバーを終了する。	

メニュー

FUNC. メニュー一覧	163
メニュー一覧.....	166

FUNC. メニュー一覧

カメラ 再生 設定 撮影モード MXF MP4 4K HD

カメラモード時の設定に使用する [FUNC.] メニューについて説明します。初期設定は太字で記載しています。
[FUNC.] メニューは、撮影モードやカメラモード、メニュー (166) の設定状態などによって表示が異なります。

■ 各撮影モードで使える機能一覧

左 [FUNC.] メニュー

設定項目	撮影モード													
	M	Av	Tv	P	AUTO	SCN								
						📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷
シーンモード						●	●	●	●	●	●	●	●	●
ルック	●	●	●	●										
オーディオシーン*1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ドライブモード*2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
測光方式		●	●	●										
フォーカス優先*2	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
セルフタイマー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
手ブレ補正	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
プレREC*3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

右 [FUNC.] メニュー

設定項目	撮影モード													
	M	Av	Tv	P	AUTO	SCN								
						📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷
絞り	●	●												
シャッタースピード	●		●											
ISO	●													
ゲイン*1	●													
ホワイトバランス	●	●	●	●										
マイクレベル*1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
EXPロック		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		
AEシフト		●	●	●										
ゼブラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ピーキング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
パワードIS*1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
デジタルテレコン*1*4	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●

設定項目	撮影モード													
	M	Av	Tv	P	AUTO	SCN								
フォーカス*4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
拡大表示*4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

*1 動画カメラモード時のみ

*2 静止画カメラモード時のみ

*3 HD動画撮影のみ

*4 動画カメラモードの初期設定では画面に表示されない。MENU ▶ システム設定 ▶ 「 FUNC. カスタマイズ」で割り当てる (113)。

■ [FUNC.]メニューの設定項目

左 [FUNC.]メニュー

設定項目	設定値	
シーンモード	ポートレート、 スポーツ、 夜景、 スノー、 ビーチ、 夕焼け、 ローライト、 スポットライト、 打上げ花火	61
ルック	動画カメラモード時 1スタンダード、 2EOS Std.、 3Wide DR、 4Cinema EOS Std.、 5Canon Log、 ユーザー設定1、 ユーザー設定2 静止画カメラモード時 Sスタンダード、 Pポートレート、 L風景、 Nニュートラル、 Seセピア、 Mモノクロ、 ユーザー設定1、 ユーザー設定2	72
オーディオシーン*1	STDスタンダード、 音楽、 フェスティバル、 スピーチ、 ミーティング、 森と野鳥、 ノイズカット、 Cカスタム	89
ドライブモード*2	1枚撮影、 連続撮影、 AF連続撮影	48
測光方式	動画カメラモード時 Cスタンダード、 Aスポットライト、 バックライト 静止画カメラモード時 ②評価、 C中央部重点平均、 Sスポット	68
フォーカス優先*2	Off切、 AiAF、 中央固定	76
セルフタイマー	Off切、 2秒、 10秒	106
手ブレ補正	動画カメラモード時 Off切、 Sスタンダード、 Dダイナミック*3 静止画カメラモード時 On入、 Off切	83
プレREC*3	On入、 Off切	104

右 [FUNC.] メニュー

設定項目	設定値	📖
絞り	F2.8 ～ F11	56 58
シャッター スピード	動画カメラモード時 1/2 ～ 1/2000 (1/60) 静止画カメラモード時 0' 5 ～ 1/2000 (1/125)	56 59
ISO	ISO160 ～ ISO20000 (ISO160)	56
ゲイン*1	0.0dB ～ 42.0dB (0.0dB)	56
ホワイト バランス	AWB オート、 太陽光、 日陰、 くもり、 蛍光灯、 蛍光灯H、 電球、 ストロボ*2、 色温度、 セット1、 セット2	69
マイクレベル*1	A オート、 M マニュアル	91
EXPロック	オート/マニュアル (－3 ～ +3) (動画：1/4 段刻み、静止画：1/3 段刻み) タッチ露出 [N] ノーマル、 [H] ハイライト	65
AEシフト	－2 ～ +2 (±0) (動画：1/4 段刻み、静止画：1/3 段刻み)	67
ゼブラ	切、 70%、 100%	84
ピーキング	PEAK 入、 切	79
パワードIS*1	入、 切	83
デジタル テレコン*1*4	入、 切	74
フォーカス*4		78
拡大表示*4	実行	80

*1 動画カメラモード時のみ。

*2 静止画カメラモード時のみ。

*3 HD動画撮影のみ。

*4 動画カメラモードの初期設定では画面に表示されない。🔍3 システム設定 ▶ 「 [FUNC.] カスタマイズ」で割り当てる (📖 [113](#))。

メニュー一覧

カメラ 再生

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「**[FUNC.]**メニュー／メニューの設定を変える」(P.32)をご覧ください。

■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

動画カメラモード時

カメラ 再生

●1 カメラ設定

設定項目	設定値	
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	81
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	—
NDフィルター	ON 入、OFF 切	—
フリッカー低減	A オート、OFF 切	—
オートISOリミット AGCリミット	A 、 [ISO] 、 [GAIN]	63
ショックレスWB	ON 入、OFF 切	—

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。「録画モード」が「29.97P」のときは1/15秒までのスローシャッターに、「23.98P」のときは1/12秒までのスローシャッターに設定されます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 撮影モードが**P**または**AUTO**のときに設定できます。
- 「EXPロック」が「**M**」のときは設定できません。

NDフィルター

NDフィルター制御の切り換えを設定します。**ON** 入にすると、NDフィルターが挿入され、3段分（1/8）の光量となります。

NDフィルターの警告表示について

NDフィルターの警告表示が出たときは、NDフィルターの設定を切り換えてください。

ND(点滅)：露出オーバー。NDフィルターを「入」にする。

ND CLR(点滅)：露出アンダー（露出不足）。NDフィルターを「切」にする。

フリッカー低減

「オート」にすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正します。

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制することがあります。電源周波数が50Hzのときは1/25秒、1/50秒、1/100秒を、60Hzのときは1/30秒、1/60秒、1/120秒を選んでください。

ショックレスWB

「ON 入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させます。

2 カメラ設定

設定項目	設定値	
マーカー表示	OFF 切、 水平 (白)、 水平 (グレー)、 グリッド (白)、 グリッド (グレー)	84
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、REV リバース	—
フォーカスリング敏感度	ハイ、 ミドル、 ロー	—
AFスピード	ハイ、 ミドル、 ロー	76
ISO / ゲイン	ISO ISO、GAIN ゲイン	—
ゲインステップ	NORM ノーマル、FINE ファイン	—

フォーカスリング操作方向

フォーカスリングの操作方向を設定します。

フォーカスリング敏感度

フォーカスリングの敏感度を設定します。

ISO / ゲイン

ISOまたはゲインのどちらかを設定するかを選択します。

ゲインステップ

ゲイン設定時の刻み幅を選びます。

3 カメラ設定

設定項目	設定値	
Rolling Shutterひずみ軽減	ON 入 , OFF 切	—

Rolling shutterひずみ軽減

「入 」にすると、ローリングシャッターひずみを軽減します。「4K動画」時のみ設定できます。

「入 」に設定したとき

- HDMI出力中に、撮影を開始すると、HDMI出力は停止します。
- 静止画同時記録はできません。
- メニューの「フェイスキャッチ&追尾」「フリッカー低減」は設定できません。

🔧 1 記録設定

設定項目	設定値	
動画形式	MXF 4K動画、 MXF HD動画、 MP4 HD動画	54
MXF 4K動画モード	29.97P 29.97P / 305 Mbps 、 29.97P 29.97P / 205 Mbps、 23.98P 23.98P / 305 Mbps、 23.98P 23.98P / 205 Mbps	54
MXF HD動画モード	59.94P 59.94P / 50 Mbps 、 59.94i 59.94i / 35 Mbps、 29.97P 29.97P / 35 Mbps、 23.98P 23.98P / 35 Mbps	54
MP4 HD録画モード	59.94P 59.94P / 35 Mbps 、 29.97P 29.97P / 35 Mbps、 23.98P 23.98P / 35 Mbps	54
Slow & Fastモーション	OFF 通常記録、x1/4、x1/2、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x1200	102
メモリー残量表示		—

メモリー残量表示

カードの総容量/残量、動画の記録可能時間*1、静止画の記録可能枚数*1を確認できます。カードのSDスピードクラスも確認できます。



例：メモリー残量表示／CFastカードを選択した場合を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズなどをもとに算出します。

🔧 2 記録設定

設定項目	設定値	
初期化 CFast /SD	CFast カード、 SD カード	40
タイムコードモード	PRESET Preset、 REGEN Regen.	86
タイムコードラン	REC RUN Rec Run、 FREE RUN Free Run	86
DF/NDF	DF DF、 NDF NDF	87
タイムコードスタート値	00:00:00.00 ~ 23:59:59.29リセット	86
ユーザービット出力モード	FIXED 固定値、 PULLDOWN プルダウン	88

🔧 3 記録設定

設定項目	設定値	
ユーザービットタイプ	SET 設定、 TIME 時刻、 DATE 日付	88
カラーバー	OFF 切、 SMPTE SMPTE、 ARIB ARIB	99

設定項目	設定値	
1 kHz トーン	12 dB、 18 dB、 20 dB、 切	99
ファイル番号	オートリセット、 通し番号	—

ファイル番号

MP4クリップや静止画のファイル番号の付けかたを選びます。MP4クリップや静止画には連続した番号が自動的に付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。

オートリセット：初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでにMP4クリップや静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

通し番号：最後に記録したMP4クリップや静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100～999の番号、“_”以下の下4桁は記録した月日を表します。

ファイル名

ファイル名の上4文字は“MVI_”（MP4クリップ）または“IMG_”（静止画）の固定文字列、下4桁はMP4クリップや静止画固有の番号（0001～9999）になります。

ファイル番号

- ファイル番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100～999）、下4桁はMP4クリップや静止画固有の番号（0001～9999）になります。
- ファイル番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。6月1日に記録したファイル番号が「100-0007」のMP4クリップや静止画は、「DCIM ¥100_0601」というフォルダーの中に「MVI_0007.MP4」、「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示されます。
- ・ 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- ・ 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。「連続撮影」「AF連続撮影」のときは、500ファイルを超えることがあります。

♪1 オーディオ設定

設定項目	設定値	
ヘッドホン音量	、 0～15(8)	98
おしらせ音	大、 小、 切	—
内蔵マイクウィンドカット	H オートハイ、L オートロー 、 切	92
内蔵マイクアッテネーター	オート、 入、 切	93
内蔵マイク周波数特性	ノーマル、 低域強調、 低域カット、 中域強調、 低高域強調	94
内蔵マイク指向性	モノラル、 ノーマル、 ワイド	94

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

- 音を鳴らしたくないときは「切」を選びます。
- プレREC(□ 104)を「入」にしていると、一部のおしらせ音は鳴りません。

♪2 オーディオ設定

設定項目	設定値	📖
MICアッテネーター	A オート、 ON 入、 OFF 切	95
MICローカット	ON 入、 OFF 切	96
MIC端子入力選択	LINE 外部音源、 MIC マイク	96
音声リミッター	ON 入、 OFF 切	97
音声コンプレッサー	H/ハイ、L/ロー、 OFF 切	98

📶1 Wi-Fi設定

設定項目	設定値	📖
ブラウザーリモート	切、入	153
ブラウザー接続設定	—	153
スマートフォン接続設定	—	149
アクセスポイント接続設定	—	150
MACアドレス表示	—	151

🔧1 システム設定

設定項目	設定値	📖
言語 🗣️	日本語、ENGLISH	—
エリア/サマータイム	エリア：🏠 (自宅)、✈️ (旅行先) *サマータイム：ON、OFF	—
日付/時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	31
液晶明るさ調整	* 📊 *	—
液晶バックライト	H 高輝度、M 通常、L 低輝度	—
ファン	A オート、 ON 入	53

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア/サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定して、切り換えて使えます。

- または を選んだあと、 または をタッチして地域を選びます。
- 選んだ地域がサマータイムを導入しているときは (サマータイム) をタッチします。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- または をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト

画面の明るさを3段階で切り換えます。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

🔧 システム設定

設定項目	設定値	
リモコンセンサー	入、 切	42
タリーランプ	入、 切	—
オートパワーオフ	入、 切	—
アサインボタン1～3	表示切り換え、 プッシュ AF、 拡大表示、 ゼブラ、 ピーキング、 デジタルテレコン、 パワードIS、 NDフィルター、 Start / Stop、 Photo 初期設定： アサインボタン1 表示切り換え アサインボタン2 プッシュ AF アサインボタン3 拡大表示	114

タリーランプ

「 入」にすると、以下のときにタリーランプが点灯および点滅します。

点灯：動画撮影時

点滅：セルフタイマー ([106](#)) のカウントダウン中。残り2秒以下になると高速点滅します。

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる30秒前に、「 オートパワーオフ」が表示されます。表示中に何らかの操作をすると解除されます。

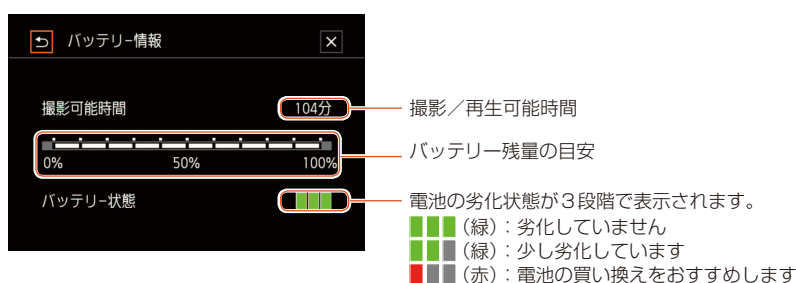
🔧 システム設定

設定項目	設定値	
電子ダイヤル	IRIS絞り、SHTR シャッタースピード、 ISO/GAIN ISO/ゲイン	56
FUNC. カスタマイズ	IRIS絞り、SHTRシャッタースピード、 ISO/ GAIN ゲイン、 ホワイトバランス、 マイクレベル、 EXPロック、 AEシフト、 ゼブラ、 ピーキング、 パワードIS、 デジタルテレコン、 フォーカス、 拡大表示	113

設定項目	設定値	
バッテリー情報	—	—
HDMIタイムコード	ON 入、 OFF 切	—
HDMI記録コマンド	ON 入、 OFF 切	—
HDMI出力状態	—	—

バッテリー情報

バッテリーの残量 (%) と撮影／再生可能時間 (分単位まで) を確認できます。



- バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

HDMIタイムコード

「**ON** 入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します。

HDMI記録コマンド

「**ON** 入」にして、本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作 (START/STOPボタンの操作) と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。「HDMIタイムコード」が「**OFF** 切」のときは設定できません。

HDMI出力状態

現在のHDMI OUT出力端子の出力状態を確認できます。

4 システム設定

設定項目	設定値	
距離単位	m メートル、 ft フィート	—
メニュー設定保存	保存、読み込み	116
GPS自動時刻設定	切、自動更新	100
GPS情報表示	—	100
オンスクリーン表示	ON 入、 OFF 切	—
認証マーク表示	—	—

距離単位

以下のときに表示される単位を選びます。

- マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたときの被写体までの距離。
- GP-E2使用時の標高表示

オンスクリーン表示

画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示します。「4K動画」撮影時は表示されません。

認証マーク表示

本機が対応している認証マークの一部を表示します。

🔧 システム設定

設定項目	設定値	📖
Firmware*	—	—
設定初期化	—	—

* 「4K動画」設定時は、🔧 システム設定

Firmware

ビデオカメラの現在のバージョンを確認できます。

- 通常は灰色で表示されます。

設定初期化

すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

静止画カメラモード時

カメラ 再生

📷 1 カメラ設定

設定項目	設定値	📖
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	81
NDフィルター	ON 入、OFF 切	166
オートISOリミット	A オート、M マニュアル	63
マーカー表示	OFF 切、Ew 水平 (白)、Eg 水平 (グレー)、Ew グリッド (白)、Eg グリッド (グレー)	84
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、REV リバース	167
フォーカスリング敏感度	≫ ハイ、≫ ミドル、> ロー	167

📷 2 カメラ設定

設定項目	設定値	📖
ストロボ設定	発光モード、調光補正、発光量、ハイスピードシンクロ、ストロボ設定初期化	109

📷1 記録設定

設定項目	設定値	📖
静止画サイズ	L 4:3 4000x3000 、 L 3:2 4000x2664 、 L 16:9 3840x2160 、 S 4:3 640x480 、	48
インターバル記録	OFF OFF 、 5sec 5秒、 10sec 10秒、 30sec 30秒、 1min 1分、 10min 10分	105
静止画確認時間	OFF OFF 、 2sec 2秒、 4sec 4秒、 6sec 6秒、 8sec 8秒、 10sec 10秒	—
ポジション検出	ON 入、 OFF 切	107
メモリ残量表示	—	168
初期化 /	カード、 カード	40

静止画確認時間

静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を設定します。

📷2 記録設定

設定項目	設定値	📖
ファイル番号	オートリセット、 通し番号	169

🎧1 オーディオ設定

設定項目	設定値	📖
おしらせ音	大、 小、 OFF 切	170

📶1 Wi-Fi設定

設定項目	設定値	📖
ブラウザーリモート	切、入	153
ブラウザー接続設定	—	153
スマートフォン接続設定	—	149
アクセスポイント接続設定	—	150
MACアドレス表示	—	151

🔧1 システム設定

設定項目	設定値	📖
言語	日本語、ENGLISH	170
エリア／サマータイム	エリア：🏠 (自宅)、✈ (旅行先) * サマータイム：ON、OFF	171
日付／時刻	日付/時刻：— 日時スタイル： Y.M.D. 、M.D.Y.、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	31

設定項目	設定値	📖
液晶明るさ調整	☀  ☀	171
液晶バックライト	H 高輝度、M 通常、L 低輝度	171
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切 	42

🔧2 システム設定

設定項目	設定値	📖
タリーランプ	ON 入、OFF 切	171
オートパワーオフ	ON 入、OFF 切	171
アサインボタン1～3	DISP. 表示切り換え、PUSH AF プッシュ AF、MAGN. 拡大表示、  ゼブラ、PEAK ピーキング、  デジタルテレコン、  パワードIS、ND NDフィルター、  Start / Stop、  Photo 初期設定： アサインボタン1 DISP. 表示切り換え アサインボタン2 PUSH AF プッシュ AF アサインボタン3 MAGN. 拡大表示	114
電子ダイヤル	IRIS 絞り、SHTR シャッタースピード、ISO ISO/ゲイン	56

🔧3 システム設定

設定項目	設定値	📖
 FUNC. カスタマイズ	IRIS 絞り、SHTR シャッタースピード、ISO ISO、AWB ホワイトバランス、* EXP ロック、  AE シフト、  ゼブラ、PEAK ピーキング、  フォーカス、MAGN. 拡大表示	113
バッテリー情報	—	172
距離単位	 メートル、  フィート	173
メニュー設定保存 	保存、読み込み	116
GPS 自動時刻設定	切、自動更新	100
GPS 情報表示	—	100

🔧4 システム設定

設定項目	設定値	📖
認証マーク表示	—	173
設定初期化	—	173

動画再生時 カメラ 再生

▶ 1 再生設定

設定項目	設定値	📖
MXF / MP4 データコード表示	MXFデータコード: OFF 切、 日付 、 時刻 、 日付&時刻 、 カメラデータ MP4データコード: OFF 切、 日付	—

データコード

日付や時刻を表示します。MXFクリップ時に「カメラデータ」を設定すると、クリップ再生時に、絞り値やシャッタースピードを表示します。

📁 1 記録設定

設定項目	設定値	📖
メモリー使用量表示	—	—
初期化 CFast / SD	CFast カード、 SD カード	40
ファイル番号	オートリセット 、 通し番号	169

メモリー使用量表示

動画の記録済み時間、静止画の記録済み枚数などを確認できます。

🎵 1 オーディオ設定

設定項目	設定値	📖
ヘッドホン音量	0 ~ 15(8)	123
スピーカー音量	0 ~ 15(8)	123
おしらせ音	大 、 小 、 OFF 切	170

📶 1 Wi-Fi設定

設定項目	設定値	📖
ブラウザーレビュー	—	159
メディアサーバー	—	161
ブラウザー接続設定	—	153
スマートフォン接続設定	—	149
アクセスポイント接続設定	—	150
MACアドレス表示	—	151

🔧1 システム設定

設定項目	設定値	📖
言語 	日本語、ENGLISH	170
エリア／サマータイム	エリア：🏠 (自宅)、✈️ (旅行先) * サマータイム：ON、OFF	171
日付／時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	31
液晶明るさ調整	☀️  ☀️	171
液晶バックライト	H 高輝度、M 通常、L 低輝度	171
タリーランプ	ON 入、OFF 切	171

🔧2 システム設定

設定項目	設定値	📖
オートパワーオフ	ON 入、OFF 切	171
アサインボタン1～3	DISP 表示切り換え、PUSH AF プッシュ AF、MAGN 拡大表示、ZEBRA ゼブラ、PEAK ピーキング、 20x デジタルテレコン、P/F パワードIS、ND NDフィルター、START/STOP Start / Stop、 PHOTO Photo 初期設定： アサインボタン1 DISP 表示切り換え アサインボタン2 PUSH AF プッシュ AF アサインボタン3 MAGN 拡大表示	114
バッテリー情報	—	172
HDMI出力状態	—	172

🔧3 システム設定

設定項目	設定値	📖
メニュー設定保存 	保存、読み込み	116
認証マーク表示	—	173
設定初期化	—	173

静止画再生時 カメラ 再生

▶1 再生設定

設定項目	設定値	📖
📷 データコード表示	OFF 切、📅 日付、🕒 時刻、📅🕒 日付&時刻	176
縦横自動回転	ON 入、OFF 切	108

📷1 記録設定

設定項目	設定値	📖
メモリー使用量表示	—	176
初期化 [Fast]/[SD]	[Fast] カード、[SD] カード	40
ファイル番号	🔄 オートリセット、➡ 通し番号	169

🎵1 オーディオ設定

設定項目	設定値	📖
ヘッドホン音量	🔊 〰️ 🔊、🔊 Off 0 ~ 15 (8)	123
スピーカー音量	🔊 〰️ 🔊、🔊 0 ~ 15 (8)	123
おしらせ音	🔊 大、🔊 小、OFF 切	170

📶1 Wi-Fi設定

設定項目	設定値	📖
ブラウザープレビュー	—	159
メディアサーバー	—	161
ブラウザー接続設定	—	153
スマートフォン接続設定	—	149
アクセスポイント接続設定	—	150
MACアドレス表示	—	151

🔧1 システム設定

設定項目	設定値	📖
言語 	日本語、ENGLISH	170
エリア／サマータイム	エリア：🏠 (自宅)、✈️ (旅行先) * サマータイム：ON、OFF	171
日付／時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	31
液晶明るさ調整	☀️ — ☀️	171
液晶バックライト	H 高輝度、M 通常、L 低輝度	171
タリーランプ	ON 入、OFF 切	171

🔧2 システム設定

設定項目	設定値	📖
オートパワーオフ	ON 入、OFF 切	171
アサインボタン1～3	DISP 表示切り換え、PUSH AF プッシュ AF、MAGN 拡大表示、ZEBRA ゼブラ、PEAK ピーキング、 2Dx デジタルテレコン、👉 パワードIS、ND NDフィルター、START STOP Start / Stop、 PHOTO Photo 初期設定： アサインボタン1 DISP 表示切り換え アサインボタン2 PUSH AF プッシュ AF アサインボタン3 MAGN 拡大表示	114
バッテリー情報	—	172
HDMI出力状態	—	172

🔧3 システム設定

設定項目	設定値	📖
メニュー設定保存 	保存、読み込み	116
認証マーク表示	—	173
設定初期化	—	173

その他

トラブルシューティング.....	181	アクセサリ紹介.....	200
エラーメッセージ.....	189	主な仕様.....	201
安全上のご注意.....	193	索引.....	206
取り扱い上のご注意.....	195	保証書と修理対応.....	209
日常のお手入れ.....	199	修理について.....	210

こんなときは	どうするの？	📖
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ファインダーユニットの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	75 23 199
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／■撮影停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のメモリーカードと入れ換えるか、クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	36 40 135 140
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）する。	40 135 140
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	210

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてメモリーカードを初期化する。	40 135 140
クリップや静止画が消去できない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	130
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全クリップ」または「すべての静止画」を使う。	—

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で🔋が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18

こんなときは	どうするの？	📖
画面に🔋が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● 🗑️ システム設定 ▶ 「タリーランプ」を「入」にする。	171
タリーランプが早く点滅する。 1秒間に4回の点滅	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● CFastカードまたはSDカードに空き容量がない、別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す	18
🔋や📁が赤く点灯する。	● CFastカードまたはSDカードに空き容量がない。別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。 ● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。クリップと静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してSDカードを初期化するか、クリップと静止画をすべて消す。	36 128 169
🔋や📁が赤く点灯する。	● CFastカードまたはSDカードエラー。電源を切り、メモリーカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、メモリーカードを初期化する。	—
撮影を中断してもACCESSランプが点滅している。	● 撮影したクリップをメモリーカードに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	● バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● バッテリーパックLP-E6は充電できない。バッテリーパックの底面に記載されている型番を確認して、LP-E6Nを使用する。  型番 ● コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	20 210
画面で🔋が点滅し続ける。	● 再生モードでGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する。	100
画面に🟡（黄色）が出る	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に🔴（赤色）が出る	● 画面に🟡（黄色）が出ている状態から、さらに内部温度が高くなった。そのまま使用しても問題ない。	—

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。明るくするときは、🔊 システム設定 ▶ 「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	171
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	20
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	195
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。📷 カメラ設定 ▶ 「フリッカー低減」を「オート」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50Hzのときは1/25秒、1/50秒、1/100秒を、60Hzのときは1/30秒、1/60秒、1/120秒を設定する。	166
ファインダーユニットの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	23
音声記録されない	● MIC端子に接続している外部音源の電源が入っていないか、または電池が切れている。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクレベルを手動で調整する。	91
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ハイスピードHDMIケーブル（付属）やヘッドホンをはずす。	123

アクセサリ

こんなときは	どうするの？	📖
メモリーカードが入らない。	● CFastカードはCFastカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	37 39
CFastカードに4K動画を記録できない。	● 対応しているCFastカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFastカードを本機で初期化する。 ● CFastカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換える。	36 40 128

こんなときは	どうするの？	📖
SDカードにHD動画／静止画を記録できない。	● はじめて使用するとき、SDカードを本機で完全初期化する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● SDカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数(999個)を超えた。SDカードの不要なクリップ/静止画を消すか、別のSDカードと入れ換える。 ● ファイル番号が最大になったため、MP4クリップや静止画をSDカードに記録できない。🔊 記録設定 ▶ 「ファイル番号」を「オートリセット」にして新しいSDカードを入れる。 ● HDMI接続時は、動画撮影中の静止画同時記録はできません。 ● 推奨のSDカードかを確認する。	36 39 40 128 169
リモコンが動作しない。	● 🖱️ システム設定 ▶ 「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	42
ストロボが発光しない	● 本機にストロボがしっかり取り付けられているか確認する。 ● 以下のストロボの設定は、本機では対応していない。対応している設定にする。 ■ 発光モードのMULTI、Ext.A、Ext.M ■ FEB±0以外 ■ 後幕シンクロ ● 撮影モードのSCNが🔊「打上げ花火」のとき、発光モードを「オート」に設定していると、ストロボは発光しない。発光モードを「マニュアル」にする。 ● インターバル記録を設定しているときストロボは発光しない。 ● スピードライト320EX装着時、LEDライトが点灯していると、ストロボは発光しない。ストロボのLEDライトスイッチを「M」にしてLEDライトを消灯する。	109
📷 カメラ設定メニューの「ストロボ設定」で「調光補正量」を設定しても調光補正ができない	● ストロボ本体の調光補正が±0以外に設定されているときは、本機で補正量の設定ができない。ストロボ本体の設定を解除(±0に設定)する。	—
ストロボを取り付けたとき、シャッター速度が変わる	● ハイスピードシンクロが「切」のとき、シャッタースピードが1/250以下に制限される。ハイスピードシンクロを「入」に設定してシャッタースピードを調整する。	109
ストロボ使用時、適切な明るさで撮影できない	● EXシリーズスピードライト(270EX II、320EX、430EX II、580EX II、600EX-RT)以外のストロボを使用すると、正常に制御できないことがある。 ● 「発光モード」が「マニュアル」で「発光量」が1/1(フル発光)になっている。発光量を調整する。 ● ハイスピードシンクロ設定時は、電力の消費が大きいので、被写体距離によっては充電が間に合わず、暗く撮影されることがある。その場合はハイスピードシンクロを「切」にする。	109

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	134
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● カメラ設定 ▶ 「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にして撮影を開始すると、HDMI出力は停止する。	134 167
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。 ● 静止画インデックス画面を表示中にUSB接続を行う。	— 118
静止画をパソコンに取り込めない。	● カードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Mac OS）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。 ● カードリーダーなどを使って取り込む。	—

ネットワーク接続

ネットワーク接続に関するトラブルについては、ここで説明する内容をご確認ください。お使いのネットワーク機器の説明書も合わせてご覧ください。

はじめに確認してください

- ☐ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
- ☐ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
- ☐ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
- ☐ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントに接続できない。	● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	— 143 187

こんなときは	どうするの？	
本機にWi-Fi接続できない。	●  システム設定メニューの「設定初期化」を行うと、本機のSSIDが初期設定になり、パスワードが変更される。Wi-Fi機器で以前のネットワーク設定を削除したあと、本機に接続する。 ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	143 187
ブラウザープレビューが起動できない。	●  Wi-Fi設定 ▶ 「ブラウザープレビュー」でブラウザープレビューを有効にする。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機の画面に表示されているURLを入力する。 ● カードカバーが開いているか、SDカードが入っていない。MP4クリップや静止画が記録されたSDカードを入れ、カバーを閉める。	159
ブラウザーリモートが起動できない。	●  Wi-Fi設定 ▶ 「ブラウザーリモート」でブラウザーリモートを有効にする。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機の画面に表示されているURLを入力する。 ● 撮影中はブラウザーリモートを起動できない。あらかじめブラウザーリモートを起動してから撮影を行う。	154
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートまたはブラウザープレビューの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモート／ブラウザープレビューが対応していないiOSやWebブラウザーを使用した。キャノンのホームページで動作環境を確認する。 ● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。	— —

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機を使用する部屋に設置してください。
- 本機との間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機にできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼働していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにXC10を2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LAN のチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。ネットワーク機能使用時のメッセージについては[191](#)ページをご覧ください。なお、メッセージの冒頭に、「」、「」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	
カードがありません	● メモリーカードを本機に入れる。 ● カチッと音がするまでメモリーカードを入れ直す。	37 39
カードがいっぱいです	● メモリーカードに空き容量がない。別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	37 39 128
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、SDカードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	39
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDカードは、SDスピードクラス10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているメモリーカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でメモリーカードを初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してから使用する。	36 40
カードを確認してください	● メモリーカードにアクセスできない。メモリーカードが正しく入っているか、メモリーカードに不具合がないか確認する。 ● メモリーカードにエラーがあり、記録や再生ができない。メモリーカードを出し入れするか、別のメモリーカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えてまたはが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。またはが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	37 39 — 36 40 128
記録を中止しました	● 管理情報が壊れた*1か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、MXFクリップを記録できない。電源を入れなおしてメモリーカードを出し入れするか、別のメモリーカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	210
クリップ数がいっぱいです	● 記録中のCFastカードまたはSDカードがクリップ数の上限（999個）に達した。別のメモリーカードと入れ換える。	37 38 39
このカードは記録できません	● 256MB未満のSDカードを入れた。256MB以上のSDカードを入れる。 ● 1GB未満のCFastカードを入れた。1GB以上のCFastカードを入れる。 ● 他の機器で初期化されたメモリーカードを入れた。データをバックアップして初期化する。 ● 本機とファームウェアが異なるカメラで初期化されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、本機でこのカードを初期化する。	36
再生できません	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工したりしたクリップは再生できないことがある。 ● メモリーカードに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 210
再生できません カードを確認してください	● メモリーカードに異常があるため、再生できない。 ● SDカードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のSDカードと入れ換える。	— 40

メッセージ	原因と対処	📖
修復が必要なクリップがあります	● 記録中に停電したなどクリップの情報の不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、再生インデックス画面で修復を行う。	41
処理が正常に終了しませんでした	● SDカードの完全初期化中にカードカバーを開けた。 ● CFastカードの初期化中、SDカードの初期化／完全初期化中にメモリーカードにエラーが発生した。メモリーカードを再度初期化する。それでも解決しない場合は、別のメモリーカードと入れ換える。	40
処理中です 電源をはささないでください	● メモリーカードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで待つ。	—
静止画像が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● SDカードに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または静止画が以下になるように消す（Windows：2500未満。Mac：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることもある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	—
データを修復できませんでした	● クリップを修復できなかった。メモリーカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、メモリーカードを初期化する。 ● メモリーカードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	41 128
テレビ方式が異なります 認識できません	● テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない。	—
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	135 140
バックライトが低輝度に設定されています メニューの「液晶バックライト」で変更できます	● 明るくするときは、🔊 システム設定 ▶ 「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	171
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか？	● キヤノンの純正以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン純正のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	210
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	18
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4クリップと静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、MP4クリップと静止画をすべて消す。	169
本機で初期化してお使いください	● メモリーカードに異常があるためアクセスできない。メモリーカードを本機で初期化する。 ● 他の機器で初期化されたカードを入れた。データをバックアップして初期化する。	40

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやクリップを、ソフトウェア（Canon XF Utility）で読み込むことはできません。

Wi-Fi 機能使用時

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	● 本機に記憶されているアクセスポイントが見つからなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDを本機に設定する。 ● MACアドレスでフィルタリングしているときは、同じMACアドレスをアクセスポイントに登録する。	— 195 146 151
カードカバーがあいています	● メモリーカードにアクセス中にカードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。	—
このインデックス画面ではWi-Fi機能が使用できません	● 「 MXF 4K動画」または「 MXF HD動画」インデックス画面でWi-Fi機能を開始しようとした。「 MP4 HD動画」または「 静止画」インデックス画面でWi-Fi機能を開始する。	159 161
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	195
設定情報にアクセスできませんでした	● 本機の電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	—
設定できません	● ブラウザーリモート動作中にWi-Fi設定を変えようとした。ブラウザーリモートを「切」にしてから、設定する。	154
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	145 146
無線機能が正しく動作していません	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、再度、Wi-Fi設定を行う。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	195 210
IPアドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワークにあった。同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないよう、本機または他の機器のIPアドレスを変更する。	147
IPアドレスを取得できませんでした	● DHCPサーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。 ● DHCPサーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ 割り当てられるアドレスに余裕はあるか。 ● DNSサーバーを使用していないときは、DNSアドレスを「0.0.0.0」に設定する。 ● 使用するDNSサーバーと同じIPアドレスを本機に設定する。 ● DNSサーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ IPアドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。 ● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	147 — 147 147 — 149

メッセージ	どうするの？	📖
Wi-Fi の暗号化キーが違います	● アルファベットの太文字／小文字を確認して、正しい暗号化キー（パスワード）を入力する。	147
Wi-Fi の暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式で設定する。 ● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	147 144
Wi-Fi の接続が切れました	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	195 —
Wi-Fi の認証ができませんでした	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。 ● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	147 144
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの設定を確認する。 ● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。 ● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	149 147 144
WPS で接続できませんでした	● 本機と無線親機（アクセスポイント）の電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	146
WPS で接続できませんでした もう一度操作してください	● 無線親機（アクセスポイント）の説明書で指示されている時間、WPS ボタンを押し続ける。 ● 無線親機（アクセスポイント）のWPS ボタンを長押ししてから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 ● 無線親機（アクセスポイント）の設定画面でPIN コードを入力してから2分以内に本機の「OK」をタッチする。	— — —
[Wi-Fi機器の画面] A User is already accessing the server. Try again later. [Retry]	● 複数のWi-Fi機器が本機に接続しようとした。本機に接続するWi-Fi機器を1台だけにして、「Retry」をタッチする。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った



バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（☎ 210）にお問い合わせください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。▶ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。▶ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

▶ 感電

ぬらさない。▶ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

▶ 皮膚の損傷 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

▶ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

▶ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。

▶ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーやボタン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。▶ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

▶ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中、長時間にわたる接触をしない。

▶ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入るおそれあり。



禁止



禁止

その他



禁止

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど
60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密
閉された車中に置かない。

➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂のおそれあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。➤ けが
落下、転倒のおそれあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用
しない。➤ 火災
内部に熱がこもるおそれあり。

病院などの医療機関内、および医療用電気
機器の近くで使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因
となるおそれあり。

ファインダーユニットで強い光源（晴天時
の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

➤ 失明



強制

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期
的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを
持って抜く。➤ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコン
セントから抜く。➤ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意す
る。➤ けが 交通事故

⚠ 注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。



禁止

ボタン型リチウム電池を金属ピンセットな
どでつかまない。➤ やけど
発熱の恐れあり。

使用中に他の機器に電波障害などが発生し
た場合は使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因
となることがある。



強制

コード類は、つまずかないように配置す
る。➤ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する
おそれあり。



強制

バッテリー、ストラップなどは脱落しないよ
うに確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーを取り外すときは、落とさない
ように気をつける。➤ けが

心臓ペースメーカーを装着している場合は、
装着部位より22cm程度以上離して使用す
る。
電波により機器類の動作に影響をあたえるお
それあり。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにカメラ修理受付センター（☎ 210）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が入ったり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーユニットを向けない

ビデオカメラやファインダーユニットを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーユニットの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。ファインダーユニットを使用しないときはファインダーユニットカバーを取り付けてください。

液晶画面を...

つかんでもちあげない → 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

Wi-Fi機能について

電波に関するご注意

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

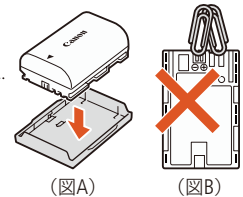
■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは保護カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず保護カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。



正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

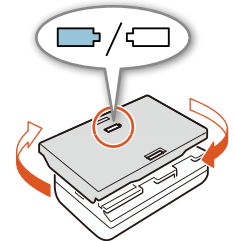
こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを充電してください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

充電済みのバッテリーに付属の保護カバーを取り付けるときは、バッテリーの青いシールに保護カバーの窓が重なるようにします。使用済みのバッテリーのときは、180度回して取り付けます。これを利用して保護カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。



海外で充電するときは

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、めらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② コンパクトパワーアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化（[40](#)）を行った後、本機にレンズキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態を使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ ボタン型リチウム電池（CR2032）

ボタン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

■ ビデオカメラ本体を清掃する

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズにホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

■ ファインダーユニットについて

ほこりが付いたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

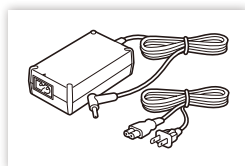
アクセサリ紹介

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

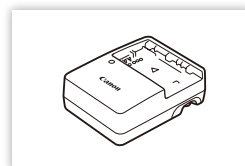
このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



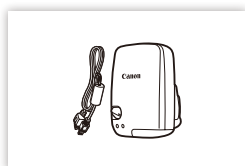
バッテリーパック
LP-E6N



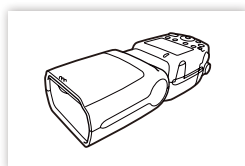
コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-570



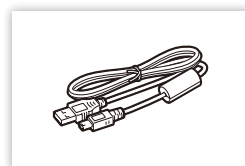
バッテリーチャージャー
LC-E6



GPSレシーバー
GP-E2



スピードライト
270EX II、320EX、430EX II、
580EX II、600EX-RT



USBケーブル (インターフェースケーブル)
IFC-400PCU



PROTECTフィルター 58mm、
ND4L フィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XC10本体

システム	
記録方式	MXF動画：映像圧縮方法：MPEG-4 AVC/H.264 音声記録方式：リニアPCM、16 bit、48kHz、2ch ファイルフォーマット：MXF MP4動画：MP4準拠 映像圧縮方法：MPEG-4 AVC/H.264 音声記録方式：MPEG-4 AAC-LC、16 bit、48kHz、2ch 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	4K動画：3840×2160：305 Mbps (29.97P / 23.98P)、205 Mbps (29.97P / 23.98P) HD動画 (MXF動画)：1920×1080：50 Mbps (59.94P)、35 Mbps (59.94i / 29.97P / 23.98P) HD動画 (MP4)：1920×1080：35 Mbps (59.94P / 29.97P / 23.98P)
記録メディア	4K動画：CFastカード HD動画／静止画：SD / SDHC / SDXCメモリーカード* * 設定データの保存／読み込みにも使用。
記録時間 (連続記録時の目安)	4K動画： 64 GB CFastカード (305 Mbps、205 Mbps)：約25分、約40分 128 GB CFastカード (305 Mbps、205 Mbps)：約55分、約80分 HD動画 (MXF)： 16 GB SDカード (50 Mbps、35 Mbps)：約40分、約60分 32 GB SDカード (50 Mbps、35 Mbps)：約80分、約120分 HD動画 (MP4)： 16 GB SDカード (35 Mbps)：約60分 32 GB SDカード (35 Mbps)：約120分
撮像素子	1.0型CMOSセンサー、有効画素 動画：約829 万画素 (3840×2160) / 静止画：約1200万画素 (4000×3000)、約1066 万画素 (4000 x 2664)、約 829 万画素 (3840 x 2160)
液晶画面	3.0 型、約103 万ドット、視野率100%、静電容量方式タッチパネル
レンズ	F=2.8 - 5.6 光学10倍ズーム 8枚羽根虹彩絞り 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画：27.3 - 273 mm、静止画 (4 : 3)：24.1 - 241 mm
レンズ構成	12 群14 枚、非球面3 面2 枚使用
フィルター径	58 mm
最短撮影距離	レンズ前面より50 cm (ワイド端時は8 cm)
フォーカス (焦点調整)	調整方法：マニュアルフォーカス、オートフォーカス AF方式：TTL自動焦点 (TTL方式)
手ブレ補正	光学式+電子補正 (スタンダードIS、ダイナミックIS、パワードIS)
被写体照度	最低被写体照度：約 0.05 ルクス 被写体照度範囲：約0.05 ～ 10万ルクス (マニュアル露出：ゲイン42dB、シャッタースピード1/2秒)
NDフィルター	内蔵
アイリス	オート、マニュアル
ISO感度/ゲイン	ISO160 - 20000、ゲイン0.0dB - 42.0dB (オートISO リミット/AGC リミット機能あり)

システム	
露出	オート、マニュアル、その他
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、ストロボ*、色温度、セット1 / セット2(白取り込み) * 静止画カメラモード時
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
Wi-Fi	無線LAN規格： IEEE802.11b / g / n (2.4 GHz帯) IEEE802.11a / n (5 GHz帯) 接続方法： WPS(プッシュボタン方式、PINコード方式)、アクセスポイント 検索、手動設定、カメラアクセスポイント 認証方式： オープン、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式： WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
静止画サイズ	4000×3000、4000×2664、3840×2160、640×480、 4K撮影中：3840×2160、HD撮影中：1920×1080（動画カメラモード時のみ） 動画から静止画を切り取ったとき 4Kクリップ再生時（4K フレームキャプチャー）： 3840 × 2160 HDクリップ再生時（あとからフォト）： 1920 × 1080 1/4スロー記録クリップ再生時： 1280 × 720
入・出力端子	
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ。1080 / 59.94P、2160 / 29.97P出力可能。
MIC(マイク)端子	φ3.5mmステレオミニジャック、 −65 dBV(マニュアルボリュームセンター、フルスケール−12 dB) / 5 kΩ以上 Att. : 20 dB
Ω(ヘッドホン)端子	φ3.5 mmステレオミニジャック −29 dBV(16Ω 負荷時、ボリューム最大にて) / 100Ω
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB(出力のみ)
電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.2 V(バッテリーパック)、DC 8.4 V(DC IN)
消費電力	4K録画モード 29.97P / 305 Mbps : 6.2 W HD録画モード (MXF) 59.94P / 50 Mbps : 5.7 W HD録画モード (MP4) 59.94P / 35 Mbps : 5.7 W いずれも液晶画面の明るさ標準
動作温度	0 °C ~ +40 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	本体：約 125×102×122 mm 約 131×115×238 mm (ファインダーユニット、レンズフード含む)
撮影時総重量	約1040 g (レンズフード、LP-E6N、SDカード、CFastカード含む)
本体質量	約930 g

■ 付属品

コンパクトパワーアダプター CA-570

定格入力	AC 100 V – 240 V (50/60 Hz)、29VA(100V) ～ 39VA(240V)
定格出力	公称DC8.4V、1.5A
使用温度	0℃～ +40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90 mm
質量	約135 g

バッテリーパック LP-E6N

使用電池	充電式リチウムイオン電池
使用温度	0℃ ～ +40℃
公称電圧	DC 7.2 V
公称容量	1865 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約38.4×21.0×56.8 mm
質量	約80g（保護カバーを除く）

■ 静止画の記録可能枚数の目安

撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

静止画カメラモード時の静止画記録

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32 GB
L 4 : 3 4000×3000	2150枚	4300枚
L 3 : 2 4000×2664	2450枚	4900枚
L 16 : 9 3840×2160	3150枚	6300枚
S 4 : 3 640×480	75000枚	150000枚

動画カメラモード時の静止画記録

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32 GB
3840×2160	3150枚	6300枚
1920×1080	12000枚	24000枚

4Kフレームキャプチャー／あとからフォト

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32 GB
3840×2160	3150枚	6300枚
1920×1080	12000枚	24000枚
1280×720	25000枚	50000枚

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーの充電時間の目安

付属のバッテリーパックLP-E6Nの充電時間の目安は次のとおりです。

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

	コンパクトパワーアダプター CA-570	バッテリーチャージャー LC-E6
充電時間	約4時間	約2時間30分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

付属のバッテリー LP-E6Nをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

動画形式		録画モード	連続撮影時間	実撮影時間	再生時間
4K	MXF	29.97P / 305 Mbps	約1時間50分	約1時間15分	約2時間30分
		29.97P / 205 Mbps	約1時間50分	約1時間15分	約2時間35分
		23.98P / 305 Mbps	約1時間55分	約1時間20分	約2時間40分
		23.98P / 205 Mbps	約2時間	約1時間20分	約2時間45分
HD		59.94P / 50 Mbps	約2時間	約1時間15分	約3時間5分
		59.94i / 35 Mbps	約2時間5分	約1時間20分	約3時間5分
		29.97P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分
		23.98P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分
	MP4	59.94P / 35 Mbps	約2時間	約1時間15分	約3時間5分
		29.97P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分
		23.98P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。



バッテリーパックは予定撮影時間の2～3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、撮影のしかたによって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

索引

ア

アクセサリ	200
アサインボタン	114
あとからフォト	125
インターバル記録	105
エラーメッセージ	189
オーディオシーン	89
オートISOリミット	63
オートフォーカス	75
音声コンプレッサー	98
音声リミッター	97
音声を記録する	89
音声をモニターする	98

カ

解像度	54
回転グリップ	25
カウントアップ方式	86
拡大表示	80
画面表示	50、121
カラーバー	99
吸気口	53
記録信号形式	54
記録メディア	
：使用可能なメモリーカード	36
：初期化する	40
：CFastカードを入れる	37
：CFastカードを取り出す	38
：SDカードを入れる／出す	39
クリップ	
：消去する	128
グリップ	25
ゲイン	63
結露	198

サ

撮影	
：動画や静止画を撮影する	45
撮影モード	56
三脚に取り付ける	26
シーンモード	61

絞り優先AE	58
シャッター優先AE	59
修理対応	209
修理について	210
出力信号形式	132
ジョイスティック	30
仕様	201
ショルダーストラップ	26
ズーム	
：ズームリングで操作する	74
ストロボ	109
スピーカー	123
スロー&ファストモーション記録	102
接続	
：外部モニターを接続する	134
：パソコンに保存する	135、140
：ヘッドホンでモニターする	98
設定データ	116
ゼブラパターン	85
セルフタイマー	106
測光方式	68

タ

タイムコード	86
タッチ露出	66
縦横自動回転	108
タリーランプ	45
デジタルテレコン	74
テストトーン	99
手ブレ補正	83
動画形式	54
ドロップフレーム	87

ナ

内蔵マイクアッテネーター	93
内蔵マイクウィンドカット	92
内蔵マイク指向性	94
ノンドロップフレーム	87

ハ

排気口	53
-----	----

バッテリー	
：充電時間／使用時間	204
パワードIS	83
ピーキング	79
日付・時刻	31
ビットレート	54
ファイル番号	169
ファインダーユニット	21
フォーカス	
：オートフォーカス	75
：顔検出AF	81
：フォーカスアシスト	79
：プッシュ AF	81
：マニュアルフォーカス	77
フォーカス優先	76
ブラウザープレビュー	159
ブラウザーリモート	153
フリーラン	86
ブレ記録	104
フレームレート	54
プログラムAE	60
ヘッドホン端子	98、123
ポジション検出	107
保存	
：パソコンに保存する	135
ホワイトバランス	69

マ

マーカー	84
マイク	89
マイクレベル	91
マニュアルフォーカス	77
マニュアル露出	56
メッセージ	189
メディアサーバー	161
メニュー	
：メニュー一覧	166
モニター接続	134

ヤ

ユーザービット	88
---------	----

ラ

リモート撮影	42
リモコン	42
ルック	72
冷却ファン	53
レックラン	86
レンズフード	21
ローリングシャッターひずみ軽減	167

数字

4KクリップからHDクリップの切り出し再生	125
4Kフレームキャプチャー	125

その他

AEシフト	67
AFスピード	167
AGCリミット	63
AWB	69
CameraWindow	140
CFastカード	36
Data Import Utility	139
EXPロック	65
[FUNC.]メニュー	163
[FUNC.]メニューカスタマイズ	113
GPS	100
HDMI OUT端子	134
MICアッテネータ	95
MIC端子入力選択	96
MICローカット	96
NDフィルター	166
SDカード	39
XF Utility	135
Ω(ヘッドホン)端子	98、123

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンシーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac OS、Final Cut Pro、App Storeは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Avid、Media Composer、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- 本書で使用している「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味します。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

XC10は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

■ 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（☎ [210](#)）にお問い合わせいただくか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077 (全国共通)

9:00～18:00 (1月1日～1月3日を除く)

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、
043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「XC10」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送／弊社によるお引き取り)やお届けについてご案内いたします。
- ご自宅にしながら修理申込みができる「らくらく修理便(引取修理サービス)」をご利用いただけます。キヤノンサポートページの「修理のお問い合わせ・お申込み」→「キヤノン製品を、快適に、安心してお使いいただくために。」→「らくらく修理便」をご覧ください。

ビデオカメラの使用方法や Data Import Utilityに関する ご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター
050-555-90004 (全国共通)
平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラ ホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開いています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■本書の記載内容は2017年2月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6